



一對の神の顕示者

ルビ・インステイチュート



Book 4

いっつい けんじしゃ
一対の神の顕示者

The Twin Manifestations

Ruhi Institute

Version 2.1.2.PE

2022年12月17日更新

ブック
Book4



ルヒ・インスティテュート

教材のシリーズ

下記は、ルヒ・インスティテュートが開発したシリーズの現在のタイトルです。これらのBookは若者や大人たちが共同体に奉仕する能力を強化するための系統的な取り組みにおいて幹コースとして使うよう計画されています。ルヒ・インスティテュートはまた、子どもクラスの教師を訓練するためのシリーズにBook3から枝として出る一連のコースと、ジュニアユース・グループのアニメーターを育てるコース Book5 から出る一連のコースを開発しております。それらも下記のリストに示しています。このリストは実践の場での経験が進むにつれ変更される可能性があり、また、これらのBookが広く利用される段階に達するにつれて追加されていくでしょう。

Book 1	精神の生命を考える
Book 2	奉仕に立ち上がろう
Book 3	子どもクラスを担当するにあたって 1年生 2年生(枝コース) 3年生(枝コース) 4年生 (枝コース)
Book 4	一対の神の顕示者
Book 5	ジュニアユースの力を放出させる 最初の推進力: Book5 最初の枝コース 拡大する輪: Book5 2番目の枝コース
Book 6	教えを広める
Book 7	奉仕の道を共に歩もう
Book 8	バハオラの聖約
Book 9	歴史的展望を得る
Book 10	活気に満ちた共同体建設
Book11	物質的手段
Book12	家族と共同体
Book13	社会的活動への関わり
Book14	社会的談話への参加

Copyright © 2002, 2022 by the Ruhi Foundation, Colombia
All rights reserved. Edition 2.1.2.PE December 2022
Printed in Japan

Permission for a limited printing of this book in Japanese has been granted to BID by the Ruhi Institute.

Ruhi Institute
Cali, Colombia
Email: instituto@ruhi.org
Website: www.ruhi.org

目次

チューターのためのいくつかの考察.....	v
第1章 この「日」の偉大	1
第2章 バブの生涯	19
第3章 バハオラの生涯.....	81

チューターのためのいくつかの考察

ルビ・インスティテュートが提供する4番目のコースに達する頃には、参加者はこの幹コースによって開かれた奉仕の道を断固として進んでいることでしょう。ブック1の学習に入ったときの背景が何であれ、彼らは今ではバハオラの書に述べられた、個人としての、そして集団としての変革のビジョンの実現に取り組んでいます。そのために、毎日、バハオラの言葉を読む習慣を身につけ始め、祈りの会の中でも、静かな黙想のときでも、バハオラの示されたお祈りや勧告から精神的な栄養を引き出します。彼らは、バハオラが明確に述べられたいろいろな精神的原則について友人や知人たちと話し合うことを学び、バハオラが世界を新しく構築するためにもたらされた教えを話し合うために、自分たちの住む村や近隣の家庭を訪問します。子どもたちの精神的教育のためのクラスを実施する人もいます。そして、奉仕の道のこの時点で、彼らは、自分たちに極めて深く、影響を与える教えをもたらした御方の人生についてもっと十分に知り、「彼」の啓示の誕生とその漸進的展開に伴う歴史的状況についてより深く理解する準備がしっかりとできていることでしょう。ブック4の3つの章は、参加者にその機会を与えるように構成されています。

神の顕示者の人生は、当然、他の人間とは根本的に異なり、「彼」を取り巻く出来事を研究するだけで「彼」の偉大さを十分に理解することはできません。顕示者がこの地上にいる年月、その顕示者の驚くべき力は全宇宙に浸透し、全創造物の実態に深淵な変化をもたらし、人類を新しい発達段階に押し進めます。外面上は「彼」の人生は苦難に満ちたものに見えるかもしれませんが、精神的な目で見れば、それぞれの出来事に「彼」の栄光と威厳のしるしを認めることができます。第2章と3章で話し合うバブとバハオラの人生についての学習に向けて参加者を準備するため、第1章で私たちの生きているこの「時代」、神の二人の顕示者の出現を目撃したこの「日」の重要性について検討するよう求められます。

この章は比較的、短いものです。それは、バハイの書から、この「日」の偉大さについて述べているいくつかの文節といくつかの簡単な演習問題で構成されます。それらは、参加者に、人類の統合がついに可能になる、歴史のこの時点の性質について考えさせるだけでなく、同時に、この知識が私たち一人ひとりに課す責任についても考えさせます。ブック4のチューターとして奉仕する人は次のことを承知しておく必要があります。つまり、この章は、参加者が、以前のコースの学習と共同体生活への関与とから得た、信教の基本となる特定の概念について、既に基本的知識をもっているということが前提となっているということです。すなわち、過去のすべての宗教書は、地上に平和と正義が打ちたてられる、神の約束された「日」について言及していること、バハオラが万国平和の旗を掲げ、人類にその基本的一体性を認めるよう呼びかけられたこと、「彼」が信者の共同体の視線を新しい世界秩序の目標に向けるようになされたこと。—— これらはこの章、「この日の偉大さ」での話し合いの土台となる概念のいくつかです。

続く二つの章は、この信教が、1844年のあの運命の夕暮れ、バブがご自分の使命を宣言されたときから、ほぼ50年後の早朝、つまり、バハオラの精神が、存在の地上における段階から昇天されたときまでに歩んだ出来事を記録しています。この年代順の物語は、殊に、バハオラの生涯についての第3章は、顕示者という人物に関連する特定の精神的テーマを照らす聖なる書からの文節によって補完されます。それらの文節のいくつかには練習問題が続きますが、他のいくつかは単に繰り返し読み、個人的に熟考するよう求めています。チューターは、参加者がこの章を学ぶなかで、バブとバハオラの生涯について、完璧で体系的な知識を習得するのを確認したいですが、記述されているエピソードから得られる深遠な精神的な真理こそが最も重要なのです。

グループを第2章と3章の学びに向けて準備するうえで、チューターは、扱われる精神的テーマを注意深く考えるべきです。それらは、例えば、聖なる「発光体」の一人ひとは、彼自身の選択ではなく、神のご意志によって人類世界に現され、神から生来の知識を授けられているということ。「彼の地位」を最初に認識するものは偉大な英雄的行い、「彼の信教」の変革の力を証言する行いを実行するよう求められるということ。「彼」は人類を真理に導き、神の御心と目的を神の創造物に知らしめるため、苦難の人生に耐えることを受け入れられたということ。地上のいかなる力も、それがいかに強力であろうとも、「彼」の影響力を弱めたり、「彼」が託された使命を成就するのを妨げることはできないということ、です。これに関して、第3章で扱っている重要な一つの問題は、危機と勝利というものです。この概念——神の大業におけるすべての危機は、大業に内在する力を新たに解放するために役に立つという概念は、この信教の歴史を理解しようとする者にとってだけでなく、自分たちの村や近隣での着実な展開、必ず通る一連の危機と勝利のプロセスに貢献する奉仕の道を歩むすべての者にとって不可欠なものです。

そのようなテーマについて熟考することは、参加者が、バブとバハオラの生涯に関わる出来事で人類に対する「彼ら」の愛の熱や継続する「使命」の崇高な性格を認識するのに役立ちます。それは参加者の心を神の顕示者に近づけ、「彼の大業」への奉仕の道に彼らの歩みを確固たらしめる役に立つでしょう。また、彼らが、バハオラという人物や「彼」の啓示について他の人々と対話する能力、ブック2で「彼」の生涯のストーリーを学習して発達させた能力を増強するでしょう。なぜなら、「彼の生涯」と「彼の先駆者」の生涯にまつわるストーリーを聞き手の心に響くような方法で語る能力は、何よりもまず、語られる出来事の精神的重要性についての理解にかかっているからです。もちろん、たくさんの練習も必要で、チューターは、参加者が確実に、この「一対の顕示者」の生涯からのエピソードを互いに関連づける十分な機会を与えられるようにする必要があります。ある参加者は、一連の家庭訪問の中で、友人や隣人たちとの会話で自分たちが学んでいることを紹介することができるかもしれません。紙芝居は、必要に応じてコピーするか、ルビ・インスティテュートの公開ウェブサイトからダウンロードすることができます。

最後に、「一対の顕示者」の生涯にまつわる出来事はグレゴリオ暦の日付で記録しているという事を述べておくことは重要でしょう。今日、最も重要な出来事の記念は、バハイ暦の規定に従ってバハイ暦の日付で記念され、グレゴリオ暦に相当するものは年ごとに異なる場合があります。チューターはこのことについてグループのメンバーと話し合う必要はありません。それは彼らが自分たちの共同体で聖なる日の祝典に参加するようになるにつれ、徐々に明らかになります。実際、これらの、そしてその他の集団的活動で、「顕示者たち」の生涯や信教の初期の頃のエピソードがしばしば語られることで、参加者が、今日、自分たちの村や近隣で進めているプロセスの最初のきっかけとなった歴史的状況についてさらなる洞察を得ることでしょう。



第1章

この「日」の偉大さ

目的

この「日」の偉大さと、この「日」が
人類に約束したことについて洞察を得る

セクション 1

人類の歴史におけるこの特別な時代——すべての創造物を一新させた御方、一対の、神の顕示者であるバハオラとその先駆者バブによって始まった、この時代に生きる私たちは祝福されています。私たちはこの一対の顕示者が放った勢力がどのように社会を変革し、古い世界がどのように過ぎ去り、その場に新しい世界が建設されるかを自身の目で見ることができるのです。古い秩序の滅亡は、当然、計り知れない苦しみを伴うのは確かです。私たちはそのような規模の破壊や苦しみに影響を受け、深い悲しみを感じずにはいられませんが、それに圧倒されることはありません。というのも、私たちは、世界がバハオラの示された輝かしい文明に向かって着実に進んでいるということを認識しているからです。

これは神の「日」です。神の「日」に生きることは計り知れない恩恵ですが、それは同時に重大な責任を意味します。この恩恵の大きさに感謝し、私たちの任務を効果的に果たすため、私たちはしばしば、この「日」の重要性と偉大さについて熟考して、人類に対する神の目的をますます意識するようにならなければなりません。比較的短い、この第 1 章の目的は、私たちの生きるこの時代の重要性に言及する、バハイの書物からのいくつかの引用文に精通することです。これらの引用文について学習し、それらの意味を熟考する前に、グループのメンバーたちと共に、神が今日の人類に定められた目的で達成されたことをいくつか特定してみると助けになるでしょう。世界のすべての人々を一つの共通の家族に統合することは、この時代に達成されるべき目標の一つですが、他にどのようなものがあるでしょうか？

セクション2

バハオラは述べておられます。

我はまことに言う。この「日」こそは、人類が「約束された者」の顔を見、声を聞くことのできる時である。神の呼びかけは発せられ、そのお顔かんばせの光明こうみょうは人類に向けられたのである。従って、人は皆、自己の心こころの書よりあらゆる空虚な言葉の痕跡を消し去り、開かれた公平な心をもって彼の啓示のしるしと、彼の使命を立証するものと、彼の栄光あかしの証を見つめなければならない。¹

1. 次の文章を完成させましょう。

- a. この「日」、私たちは「約束された者」の _____ を見、 _____ を聞くことができる。
- b. _____ は発せられ、その _____ の _____ は私たちに向けられたのである。
- c. 自己の _____ よりあらゆる _____ の _____ を消し去り、 _____ をもって彼の啓示の _____ と、彼の使命を _____ と、彼の栄光の _____ を見つめることは私たちの義務である。

2. 次のうち、人々がバハオラの啓示の真実性を認める上で、妨げになるような考えに×をつけましょう。

- _____ 私の両親の宗教で十分満足です。
- _____ 人間は精神的な春を必要とします。
- _____ 宗教とはそれを必要としている人にはよいものです。
- _____ 宗教はただ衝突の原因となるばかりです。だから、宗教は排除すべきです。
- _____ 私の知る限り、全ての宗教はほとんど同じで、どの宗教に従おうと何の違いもありません。
- _____ 神は人間を見捨てました。

- _____ 宗教をも含め、全てのものは新しくされるべきです。
- _____ 科学は神が存在しないということを証明しています。理性をもってすれば、全ての問題は解決できます。
- _____ 私はどの宗教にもコミットしたいとは思いません。
- _____ 精神的でいるために宗教は必要ありません。
- _____ 各人は自分自身の方法で神を知ることが許されるべきです。なぜ顕示者が必要なのですか。
- _____ 私たちには私たちの宗教の聖典があります。新しい顕示者は必要ありません。

3. 次のうちでバハオラの栄光の証はどれですか。

- _____ バハオラの発言の雄弁さ
- _____ バハオラの言葉の浸透力
- _____ バハオラの書物に触れた人々の心に起こる変革
- _____ バハオラの教えが人々の考えや行動に及ぼす影響
- _____ バハオラの教えが歴史の方向性に及ぼす影響
- _____ 人類の未来についてのバハオラのビジョンの崇高さ
- _____ 人類のためにバハオラが被った苦痛や苦難
- _____ 地上の権力による迫害に冒されることのないバハオラの主権
- _____ あらゆる宗教や背景の人々を和合させるバハオラの教えの力
- _____ バハオラの信者の共同体の着実な発展
- _____ あらゆる障害を克服し、バハオラの大業の一体性を維持するその聖約の力
- _____ バハオラの行政秩序の素晴らしさ
- _____ バハオラの構想されたものに向かって、世界が動いている様子

セクション 3

バハオラは述べておられます。

この日は偉大なり。すべての聖典はこの日を神の日と称し、その偉大さをたたえている。神の預言者と聖なる使者は皆、このすばらしき日の到来を心から渴望してきた。同様に、地上のすべての民はこの日にめぐり合うことを切望してきた。しかし、彼の啓示の昼の星が神の意志の天上に出現するや否や、全能者の御心によってみちびかれた者を除き、誰もがただ啞然とし、無思慮なままでいたのである。²

1. 次の文章を完成させましょう。

- a. この日は_____なり。すべての_____はこの日を_____と称し、その_____をたたえている。
- b. 神の_____と_____は皆、この_____の到来を心から_____してきた。
- c. 同様に、地上の_____はこの日に_____を_____してきた。
- d. 彼の啓示の昼の星が_____するや否や、_____によって_____者を除き、誰もがただ_____として_____なままでいたのである。

2. 上の引用文から、今日が成就の時代であるということは明らかです。全ての神の預言者と顕示者は、地上に平和と調和が確立される時代の到来を予言してきました。この引用文の中でバハオラは、約束された「日」を熱心に待ちうけていたにも関わらず、バハオラがその出現を宣言された時、彼を受け入れることができなかつた人々について言及しておられます。バハオラを認める魂について考えると、多くのイメージが心に思い浮かびます。以下の文の空白部に、次の言葉から適切なものを選んで完成させましょう。

目覚め、確信、自覚、信頼、希望

- a. 眠りから_____への移行
- b. 慎重さを欠いた無関心から_____への移行
- c. 失望から_____への移行
- d. 疑いから_____への移行
- e. 不信から_____への移行

3. 人の心を、バハオラの啓示に対して開いてくれるものは何だと思いますか。

セクション 4

バハオラは述べておられます。

今日こそは、神の最もすばらしい恩寵おんちゆうが人々の上に注がれている日であり、神の最も偉大なる恩恵がすべての創造物に浸透している日である。
 汝らの間の不和を解消し、完全なる和合と平和をもって神の保護と慈愛なんじの木陰こかげに定住せよ。これは世界のすべての人々に課せられた義務である、人々はまた、この時代に彼らの地位を高め、彼らの真の利益を促進するものにすがるねばならない。³

1. 次の文章を完成させましょう。

- a. 今日、神の最もすばらしい_____が人々の上に_____
_____。
- b. 今日、神の最も偉大なる_____がすべての創造物に_____
_____。
- c. 世界のすべての人々は、自分たちの間の_____を_____し、

_____と_____をもって、神の_____と_____
の_____に定住しなければならない。

d. 人々はまた、彼らの_____を_____、彼らの_____を促進
するものにすがらねばならない。

2. 今日、神が人間に授け給うた「最もすばらしい恩寵」のいくつかをあげましょう。

3. 「促進する」という言葉の意味は何ですか。_____

4. 人間の真の利益を促進させるためにあなたができることを挙げましょう。

セクション 5

バハオラは述べておられます。

今日こそは神の慈悲の大海が人々に^{あらわ}顕された日であり、神の慈愛の昼の星がその輝きを人類に注いだ日であり、神の^お惜しみな^{おんちよう}い恩籠の雲が全人類を^{おお}覆った日である。今こそは、意気消沈している人々を、愛と親善の精みなぎる微風と、友情と慈善の^{かつすい}活水とにより励まし、活気づけるときである。⁴

1. 次の文章を完成させましょう。
 - a. 今日は神の _____ の大海が _____ である。
 - b. 今日は神の _____ の昼の星が _____ を人類に _____ である。
 - c. 今日は神の _____ の雲が全人類を _____ である。
 - d. _____ こそは、意気消沈している人々を、_____ と _____ の精みなぎる微風と、_____ と _____ の活水とにより、_____ し、 _____ ときである。
2. 次の中で、人を励まし、高揚させるものはどれですか。
_____ 教育を受ける機会を得ること
_____ 協議の能力の向上

- _____ 気の毒だ、かわいそうだ、という眼差しで見られること
- _____ 科学的進歩から利益を得ること
- _____ ある政党や派閥を支持するよう仕向けられること
- _____ 神の言葉を読み、他の人と分かち合うこと
- _____ 必要のない物をクレジットカードで買うよう勧誘されること
- _____ 祈りの重要性をより深く認識すること
- _____ 努力を励まされること
- _____ 法的手段で、苦情を雄弁に当局に訴えることができるようになること
- _____ 抗議運動(デモなど)への参加
- _____ 問題を忘れるためにお酒を飲むこと
- _____ 医療制度の恩恵を受けること
- _____ 楽しむことができるナイトクラブが近くにあること
- _____ 現代の神の顕示者を認識すること
- _____ 神の援助の力に信頼を置くこと

セクション 6

バハオラは述べておられます。

世の中の^{へいこう}平衡状態は、この最も偉大な、この新しい世界秩序の^{ふる}震えんばかりの影響力によってくつがえされたのである。人類の整然とした生活は、人間の目がこれまでに決して見たことのない、この二つとないすばらしい制度の力によって大改革されたのである。

汝らはその秘密を解き、深い所に隠されている知恵の^{しんじゆ}真珠を残らず発見できるよう、わが言葉の^{たいかい}大海に身を沈めよ。この大業の^{しず}真理を^{たいぎょう}奉じる汝

らの決意にぐらつきがないよう注意せよ。これこそは神の威力の可能性を示し、神の主権を確立した大業である。⁵

1. 次の文章を完成させましょう。

a. 世の中の _____ は、この最も偉大な、この _____ の震えんばかりの _____ によって _____ ののである。

b. 人類の _____ は、この _____ すばらしい _____ の力によって _____ ののである。

c. 私たちは、その秘密を解き、深い所に隠されている _____ の真珠を残らず発見できるよう、彼の言葉の _____ に _____ べきである。

d. この大業の _____ を奉じる私たちの _____ に _____ よう注意すべきである。

e. この大業とは、神の _____ の _____ を _____、神の _____ を確立した大業である。

2. 「平衡状態」という言葉の意味は何ですか。

3. 世の中の平衡状態をくつがえしたのは何ですか。

4. 世の中がその平衡状態を失っているというしるしにはどのようなものがありますか。

5. 人類の生活が大改革されていることを示すしにほどのようなものがありますか。

6. バハオラが言及されている「すばらしい制度」とは何ですか。

7. バハオラという言葉の大海に身を沈めるにはどうすればよいでしょう。

8. 彼の言葉の大海に身を沈めるとき、私たちの考えはどのような影響を受けますか。

9. 彼の言葉の大海に身を沈めるとき、私たちの行動はどのような影響を受けますか。

10. バハオラの世界秩序を確立するために働くとき、求められる精神的力はどこから得られますか。_____

11. 「ぐらつく」という言葉の意味は何ですか。

12. 彼の大業の真理を全面的に受け入れるのをためらうならば、私たちの精神的な力はどのような影響を受けますか。

セクション7

アブドル・バハは次のように述べておられます。

おお、^{なんじ}汝ら、^{しゅ}主に愛される者らよ！この日は融和の日、全人類が集まる日である。「誠に神は、あたかも堅固な壁のように戦列を組んで、神の大業のために戦う者らを愛される」。彼が「戦列を組む」と言われたことに注目せよ。それは共に寄り添い、密集し、腕を組み、互いに仲間を支えるという意味である。聖なる句で述べられている戦いとは、この最も偉大な宗教制においては^{つるぎ}剣や^{やり}槍や鋭い矢を持つての戦いではない。むしろ、それは、純粋な意図、高潔な動機、有益で効果的な助言、信心深い態度、全能者を喜ばせる行い、天上の特質をもって武装することを意味する。それはあらゆる人に教育を施し、全人類を導き、精神の^{かんび}甘美な香りを^{るふ}流布し、神の^{あかし}証を^{でんぱ}伝播し、神聖で争う余地のない主張をし、^{じぜん}慈善的な行いをする^{こと}である。⁶

1. 次の文章を完成させましょう。

- a. アブドル・バハは、この日は_____の日、_____が_____になる日であると述べておられる。
- b. 彼はまた、神は_____のごとく_____となって、彼の大業のために_____者らを_____と述べておられます。
- c. 「一枚岩となって」ということについて、アブドル・バハは、それは_____、_____、互いに仲間を_____という意味であると説明しておられます。
- d. ここでいう戦いとは、この最も偉大な_____においては_____や_____や_____を持つての戦いではない。むしろ、それは、_____、_____、_____をもって武装することを意味するので。
- e. 同様にそれは、あらゆる人に_____を施し、全人類を_____、_____の_____を_____し、神の_____を_____し、_____で_____主張をし、_____をすることです。
2. 今日は人類統合の時代です。この仕事がどれほど偉大なものかを認識するため、人類が互いを引き離してきた無数の分裂について考え、それらをリストにしましょう。

3. これらすべての分裂を克服することができる力はなんでしょう。_____

4. 私たちの戦いの本質は何ですか。_____

5. 以下のうち、この戦いで使われる武器はどれですか。

- | | |
|------------------|-----------------|
| _____ 純粋な意図 | _____ 怒り |
| _____ 神聖なる属性 | _____ 寛容 |
| _____ 高潔な動機 | _____ 祈りの力 |
| _____ 指導者の地位への憧れ | _____ 称賛に値する行い |
| _____ 傲慢やプライド | _____ 神の愛 |
| _____ 正義に対する情熱 | _____ 人類への愛 |
| _____ 独善 | _____ 神への信頼 |
| _____ 銃 | _____ 有益で効果的な忠告 |
| _____ 刃物 | _____ 和合の力 |
| _____ 神の言葉の力 | _____ お金 |
| _____ 自己顕示欲 | _____ 謙虚さ |

6. 正義を確立するためであれば、他の人々を支配しようとしても良いでしょうか。_____

7. 人類を統合するための精神的な戦いに取り組むとき、私たちが行うことは次のうちどれでしょうか。

- ___ 教育を推進すること
- ___ 自分たちが望むことを他人に強いること
- ___ 神の大業をティーチングすること
- ___ 神の大業を宣布すること
- ___ 自分たちの利益に応じて派閥に分かれること
- ___ 自分の属しているグループの利益のために戦うこと
- ___ 慈善的な行いをする事
- ___ バハオラの啓示の真実性について、争う余地のない主張をすること
- ___ バハオラの言葉の大海に浸ること
- ___ 弱者や虐げられた人を支配すること
- ___ 熱心に祈ること
- ___ 人々の財産を強奪すること
- ___ 他人の物を盗んで富を蓄えること

セクション 8

この「日」の偉大さに対する認識が高まると、この啓示を他の人と分かち合い、奉仕し、献身的に行動するために立ち上がりたいという望みが私達のなかに生まれます。大業への奉仕に取り組むことは急務です。それを忘れないよう、守護者によって書かれた、1939年1月28日付けの手紙からの次の一節を暗記しましょう。

無駄にする時間はない。躊躇ちゅうちょしている余裕はない。大衆は命の糧たいしゅうに飢えていて、舞台は整っている。確固とした、不変の約束は示された。神御自身の計画は動き始めている。日毎に勢いは増している。天上と地上の力はその遂行を神秘的に助けている。このような機会かてうは二度とやって来ない。疑い深い者らを立ち上がらせよ。そして、彼ら自身でそのような主張の真実性を立証させよ。努力すること、屈くつしないことは、最高の、完全な勝利を保証するものである。⁷

参照文献

1. 落穂集、7
2. 同上、7
3. 同上、4
4. 同上、5
5. 同上、70
6. *Selections from the Writings of 'Abdu'l-Bahá* (Wilmette: Bahá'í Publishing, 2010, 2015 printing), no. 207.2, pp. 359–60.
7. From a letter dated 28 January 1939, published in *This Decisive Hour: Messages from Shoghi Effendi to the North American Bahá'ís, 1932–1946* (Wilmette: Bahá'í Publishing Trust, 2002), p. 28.



第2章

バブの生涯

目的

短くも劇的であったバブの啓示の期間が持つ力を
理解し、彼の生涯について語ることを学ぶ

セクション 1

バブの啓示の期間は 1844 年からのわずか 9 年間であり、その主たる目的はバハオラ到来のための道を準備することでした。その期間は短いものでしたが、バブの啓示によって放出された勢力は非常に強烈であったため、その効力は何百世代にもわたって感じられるでしょう。

本名をセイエド・アリ・ムハンマドというバブは、1819 年 10 月 20 日、ペルシャとして知られているイランの南部の都市、シラズに生まれました。ペルシャの人々のほとんどは、ガエムという、神の約束された御方の到来を待つイスラムの宗派の信者です。ガエムという称号は「立ち上がる者」を意味します。

バブはイスラムの預言者であるムハンマドの子孫にあたる著名な家族に生まれました。バブの父親はバブが幼い頃に亡くなり、彼は母方の伯父に養われました。伯父は彼を早くから学校へ行かせました。バブは生まれながらの知識を授けられていて、学校に行く必要はなかったのですが、伯父の願いに従って小さい時に学校へ入りました。しかし、教師はすぐにバブの優れた能力に気づき、この並外れた子に教えることは何もないと感じました。彼は、バブの学校時代について次のように述べています。

ある日、私はコーランの最初の言葉を唱えるよう、バブに言いました。… 彼は、その言葉が何を意味するのか教えてもらわない限り、決して唱えることはできないでしょうと言って、躊躇ちゅうちよしていました。私は意味が分からないというふりをしました。すると、彼は生徒の様子を観察して、「私はこの言葉の意味がわかります。先生のお許しがあれば説明いたしましょう」と言ったのです。私は彼の知識と流れるような話ぶりに大いに驚かされました。…彼の発した言葉の美しさは今も私の耳に残っています。そこで私は、バブをその伯父のもとに返し、私にその世話を託された「預かりもの」を伯父の手に委ねるべきであると強く感じました。このように非凡な子どもに教える価値が自分にはないことを伝える決心をしました。会いに行くと、バブの伯父は一人で事務室にいました。「あなたの甥御おいごさまをお返しにまいりました。彼をあなたの庇護のもとにお置きください。彼は普通の子のように扱われるべきではありません。なぜなら、彼にはガエムの啓示だけが顕すことのできる、かの不思議な力のしるしが既に見えるからです。彼を大切にお育てするのはあなた様の義務です。彼をあなたの家に置いてください。彼には私のような教師は必要ありません」と、私は言いました。伯父はバブを激しく咎とがめました。「お前は私の命令を忘れたのか。仲間と同じように振る舞い、沈黙を守り、先生の言われる一言一句に注意深く耳を傾けるよう言ったではないか」。バブは、伯父の指示に忠実に従うという約束のもと、学校へ戻されました。しかしながら、バブの魂は伯父の厳しい忠告によっても

決して抑えつけることはできず、いかなる懲戒も彼の内から溢れ出る直観的な知識を止めることはできなかつたのです。来る日も来る日も、彼は超人的な知恵の著しいしるしを顕し続け、私にはそれらを物語る力もありません。¹

ついに、バブが学校をやめることを許されました。それから、バブは伯父と共にシラズの南西の都市、バシルで商人として働き始めました。その間、バブは結婚をし、妻との間にはアーマッドという息子が生まれましたが、乳児期に亡くなりました。それは、バブが自らを約束されたガエムであると宣言する前の年のことでした。

バブは若くして比類なき力と偉大さの兆しを見せていました。短く、悲劇的なバブの啓示の期間を通じて、彼を際立たせた非凡な特質はすでに現れていたのです。守護者はバブについて、「優しく、若さに溢れ、深い魅力をたたえたバブ、その柔和さは比類なく、落ち着きは揺るぎなく、発言すれば人々をひきつけてやまない」と述べておられます。この後に続くセクションは、バブの生涯を描くものとして決して十分ではありませんが、この短い記述でさえ、私たちの心に、ペルシャをはじめとする何千もの人々の心を燃え立たせた愛の火の火花を灯してくれるはずです。

1. バブの名前は？ _____
2. バブはいつ、どこで生まれましたか。 _____
3. ガエムという称号の意味は？ _____
4. バブの家系をさかのぼると誰にたどりつきますか。 _____
5. バブの父親が亡くなった後、バブを養育する責任を負ったのは誰でしたか。 _____

6. バブが生まれつき、神から知識を授けられていたということは何を意味しますか。 _____

7. バブの教師はバブの偉大な能力を認めた時、どう思いましたか。 _____

セクション 2

バブがご自分の使命を宣言する前に、すでに、新しい「神の日」が明けようとしているということを心の底で確信している人たちが世界中にいました。そのような人々の中に、イラクのカルビラという都市に住む、セイード・カーゼムという人がいました。彼は多くの教え子を抱えており、彼らを、久しく待たれているガエムの到来に向けて準備するために尽力しました。彼は教え子たちに、自分亡き後は、すべての世俗的欲望を捨て、故郷を離れて、「約束された、最愛なる御方」を捜し求める旅に出て行くよう、繰り返し諭していました。

セイード・カーゼムの死後、彼の最も優秀な教え子の一人、モラ・ホセインは四十日間を祈りと瞑想のうちに過ごし、その間に彼の心は神の靈感で開化されました。それから彼は、二人の同行者と共にイラクを発ち、探求を始めました。最初、ブーシェヘルへ行きましたが、北へ行くよう突き動かされたため、そこに長くは滞在せず、シラズへと向かいました。シラズに到着すると、二人の同行者に、あるモスクへ行って、そこで自分が来るのを待つよう言いました。

その日、日没の数時間前に、モラ・ホセインはシラズの町の門の外のとこで、一人の「若者」に出会いました。その若者はモラ・ホセインを出迎え、困難な長旅の疲れを癒すために自分の家に来るようと誘いました。モラ・ホセインはこの、ただ者ではない若者の優しく、人を引きつける話し方に深く感動しました。彼が若者について行くと、やがて、つつましやかな家の門に着きました。二人は家に入り、上階の部屋に進みました。気品あるその若者は、客人が旅の汚れを洗い流せるように水瓶を持ってくるようしもべに命じました。それから、彼はお茶を入れ、モラ・ホセインに勧めました。このようなもてなしの後、彼はモラ・ホセインに話し始めました。その歴史的な会話の詳細は、後にモラ・ホセインによって語られています。

私をもてなしているその若者が会話を始めたのは、日没後 1 時間くらい経った頃でした。「セイード・カーゼムの後、あなたは、誰が彼の後継者であり、あなた方の指導者であると思いますか」と、彼から問われ、私は答えました。「師は亡くなられる時、約束された御方を探すため、故郷を捨てて各地へ散らばって行くようにと我々に何度も繰り返し説かれました。それで私は、師のご遺志を成就するため立ち上がり、ペルシャを旅し、今なお、探求の旅を続けているのです」。若者は更に質問を続けました。「あなた方の師は、約束された御方の際立った特徴について詳しくお話されましたか」。私は答えました、「はい、その人は純粋な血統の輝かしい家系の方であり、ファテメの子孫です。年齢は 20 歳から 30 歳の間で、生来の知識を授けられています。身長は普通で、煙草は吸わず、身体的な欠陥はないとのことでした」。その若者はしばらく間を置いてから、朗々たる声で宣言しました。「見よ、それらのしるしは全て我の中にあり！」そうして、その若者は私が述べた約束された御方の徴を一つずつ個別に検証し、その全てが自分の中にあることかくの確たる証拠を示しました。²

その夜、バブはモラ・ホセインに、明白で誤りのない証拠をもって、自分こそが約束されたゲームであることを示しました。バブはコーランの重要な章であるヨゼフのサーリフに関する自らの論評の最初の部分を、驚くべき速さで啓示してから、モラ・ホセインに語りかけました。

おお汝、我を最初に信じた者よ！まことに汝に告ぐ。我は神の「門」なるバブである。そして汝はバーボル・バブ、すなわち「門」の門である。初めに 18 の魂が自発的に、自分の意志で我を受け入れ、我の啓示の真実性を認めなければならない。これら 18 の魂の一つ一つが、注意を与えられることも招待されることもなく、独自に我を探さなければならない。18 人が揃った時、そのうちの一人が選ばれ、メッカとメディナへの私の巡礼に付き従うことになる。そこで我はメッカのシャリフに神のメッセージを伝え、その後、我はクフィに戻り、そこで再び、聖なる都市のモスクで大業を明示するであろう。汝が見聞きしたことを、仲間にも、その他いかなる者にも漏らしてはならない。³

この輝かしい啓示はモラ・ホセインの魂を興奮と喜び、そして、恐れと驚きで満たしました。彼は後に、次のように語っています。「これまで私はなんと弱々しく無力で、落胆していて臆病であったことか！」「その時、私の手足は小刻みに震え、書くことも歩くこともできませんでした。しかし、今、彼の啓示の知識が私を奮い立たせました。私は、たとえ世界のすべての君主やその臣民らが私に向かって立ち上がり、猛攻撃を浴びせたとしても、臆することなく、一人で耐えるだけでの勇氣と力が身体にみなぎるのを感じました。宇宙は私の手中の一握りの塵でしかなく、私自身は全人類に呼びかける聖ガブリエルの声そのものであると感じました。『目覚めよ！朝の光は輝いている。起き上がれ、今、神の大業は明かされたが故に。神の恩寵の扉は大きく開け広げられた。世界の人々よ、そこに入れ。あなた方の約束された御方が到来された！』⁴

バブの宣言は 1844 年 5 月 23 日の前夜のことでした。彼は 25 歳でした。何十年も後、バブの宣言を記念する場で、集まった人々にアブドル・バハは次のように述べられました。

今日は 5 月 23 日、バブの宣言とそのメッセージを記念する日です。神聖なる日であり、啓示の夜明けであります。なぜなら、バブの出現は真の朝の曙光だからであり、…この日は祝福された日、天の恵みの始まり、聖なる光輝の始まりだからです。1844 年の今日、神の王国を予告し、宣言し、バハオラの出現という吉報を告げ、ペルシャ全土の反対に抵抗するために、バブは遣わされたのです。⁵

1. セイェド・カーゼムは自分の死後、何をしよう、教え子に指示しましたか。_____

2. セイェド・カーゼムの死後、モラ・ホセインはどうしましたか。_____

3. バブは、モラ・ホセインがシラズに到着したことをどのようにして知りましたか。_____

4. バブの家に着いた後、バブはモラ・ホセインにどんな質問をしましたか。_____

5. セイェド・カーゼムは、ガエムという人物にどのような印があると、教え子たちに伝えましたか。

6. ファテメは誰の娘ですか、また「その子孫」とはどういうことですか。 _____

7. バブは、モラ・ホセインが探している人物の特質を備えていましたか。 _____

8. バブという称号は何を意味しますか。 _____

9. バブはモラ・ホセインにどのような称号を与えましたか。 _____

10. その称号の意味は何ですか。 _____

11. バブがその大業を公に宣言する前にどのようなことが起こらなくてはなりませんか。

12. モラ・ホセインが、約束されたガエムを認めた、あの思い出深い夜について述べた言葉を、あなた自身の言葉で表現しましょう。_____

13. バブの宣言はいつ行われましたか。_____

14. バブが宣言したのは何歳の時でしたか。_____

セクション 3

モラ・ホセインに続いて、残りの 17 人も独自の探求によって、自分たちが心から求める御方、バブを見つけ出しました。ある者は夢や幻想を通して、またある者は祈りを、そしてある者は瞑想を通して、それぞれがこの新しく生まれた啓示の真実性を認めるよう神に導かれました。それら祝福された魂のうち、一人を除く他の皆がシラズにいたバブにたどり着きました。ただ一人、彼に会わなかった人はタヘレという名の、輝かしく、才気あふれる女流詩人でした。彼女

は、夢を通してバブを知り、彼を約束されたガエムであると認め、バブの大業の勇敢な促進者となりました。バブの信者の地位に加わった 18 人目の人物はゴッドスとして知られる、22 歳の若者でした。ゴッドスは若いにもかかわらず立派な人格者で、勇気と信仰心において彼に匹敵するほどの者はほとんどありませんでした。モラ・ホセインを含むこれら最初の信者たちは、バブによって 18 人の「生ける文字」と呼ばれました。

生ける文字の数が揃うとすぐに、バブはモラ・ホセインを呼び出し、次のような指示を与えました。「我々の親交の日々は終わりに近づいている。汝と我の聖約はすでに達成された。身を引き締めて努力し、我の大業を広めるために立ち上がれ。この世代の退廃や墮落を目にしてもうろたえてはならない、聖約の主は必ず汝を援助し給うからである。まことに、主は、汝を深い愛情で包み込んで保護し、勝利から勝利へと導き給うであろう。あたかも大地に恵みの雨を降らせる雲のように、地上の隅から隅まで移動し、全能者がご慈悲によって汝に授けるべく定められた祝福を人々に降り注げ。…まもなく出発する巡礼に、我はゴッドスを同行者として選んだ。我は、どうもうで執拗な敵の攻撃に立ち向かうよう汝を残して行くが、言葉に尽くせぬほどの、栄光に満ちた恵みが汝に降り注がれるであろうから、安心せよ。北への旅程をたどり、途中、イスファハン、カシャン、クム、テヘランを訪問せよ。汝がその首都にある真の主権の座に到達し、最愛なる御方の館やかたに入ることが可能となるよう、全能なる神に懇願せよ。その都市には秘密が隠されている。それが明らかにされる時、地上は樂園と変わるであろう。汝がその恩寵あずかに与り、その輝きを認識することがわが望みである」⁶

バブは、モラ・ホセインにテヘランへ行くよう指示してから、他の「生ける文字」を呼び集め、一人ひとりに特別な使命を割り当てられました。別れの言葉の中で、バブは彼らに世俗的欲望を捨て、彼の大業を広めるために遠く散らばって行くよう呼びかけられました。

おおわが親愛なる友らよ。そなたらはこの時代に生きる神の御名の持参者である。そなたらは神の神秘の宝庫として選ばれた。一人一人が神の属性を、身をもって表さなければならない。そなたらは神の正義と威力と栄光の証拠を自らの言動をもって示さなければならない。そなたらの高志こうし、気高い生き方、真の信仰、そしてその素晴らしい忠誠は、そなたらの四肢が証言するほどのものでなければならない。まことに我は言う、今日この日は、神がその書で次のように語った日である。「その日、彼らの口を封じても、彼らの手は我に語り続け、彼らの足は彼らの成し遂げたことを証言する」。キリストが十二使徒を神の大業の普及に送り出した時の言葉について熟考せよ。キリストは次のような言葉で使徒たちに奮起し、与えら

れた使命を全うするよう、言われた。「汝らはあたかも、夜の暗闇の中で山頂ともに灯された松明たいまつのようである。汝らの光を人々の前に輝かせよ。人々が汝らを通じて、純粹さと恩寵おんちようの源である天の父を認め、天の父げだつに近づくことができるほどに、汝らは最も純粹な人格を持ち、最高の解脱の精神に達していなければならない。なぜなら、誰も天の父はいを拝したことはないからである。汝らは天の父の精神の子らである。従って、汝らの行動は神の徳を表し、神の栄光を証言するものでなければならない。汝らは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられようか。神の大業を教え広めるためにどの町に入る時も、何の報酬も食事の振る舞いも期待してはならない。汝らの解脱の精神はこれほどの域いきにまで高められていなければならない。むしろ、その町を出る時は、足の埃ほこりも払い落として行け。町の中に入った時のように汚れない純粹な姿で町を去れ。我はまことに言う、天の父は常に汝らと共にあって汝らを見守っている。天の父に忠実しゅちゆうであれ。そうすれば、天の父は地上のすべての財宝を必ず汝らの手中しゅちゆうに置き、汝らを地上のすべての王や支配者よりも高く引き上げるであろう。おお、わが「文字ら」よ。まことに我は言う、過去の使徒たちの時代に比べて今日のこの日は遙かに崇高な日である。否、そこには計り知れないほどの差が存在する。そなたらは神の約束された日の夜明けを目撃した証人たちである。そなたらは彼の啓示の神秘の聖杯しょうばんの相伴に与った者たちである。気を引き締めて努力せよ。そして、神の書に記された、神の言葉を記憶に留めよ。「見よ、主なる汝らの神は到来した。また、神と共に来た天使たちの軍勢が、神の御前に整列している」。世俗の欲望をそなたらの心から一掃いつそうせよ。天使のような徳をもって身を飾れ。神のこの言葉が真実であることを、自分の行動を通じて立証できるよう精進せよ。そして常に用心せよ。もし、そなたらが「怯むなら、神は汝らとは違う者たちを代わりに立て」、そして、彼らは神の王国をそなたらから奪い取るであろう。空虚な礼拝で事足りた時代は終わった。非の打ち所のない純粹な行為に裏打ちされた最も高潔な志こころざしのみが、最も高遠なる御方の玉座ぎよくざに届き、その承認を得ることができる日が到来したのである。「良き言葉は神のもとに昇り、それは正しき行為によって神の御前で高められよう」。神の書に記された卑しき者とはそなたらを

指すのである。「地上で卑しめられた者らに我はわが寵愛ちようあいを示し、その者らを人々の精神の指導者とし、わが後継者をとすることを欲した」。そなたらはこの地位めに召されたのである。しかし、立ち上がって、世俗のあらゆる欲望を踏み越えない限り、また、「神が語るまでは沈黙を守り、神の指示しに従う栄誉しもべある僕ら」となるよう努力しない限り、この地位に達することはできない。そなたらは「最初の点」から生まれ出た最初の文字である。そなたらは啓示の源泉より湧き出た最初の泉である。世俗のいかなるしがらみも、事物じぶつへのいかなる愛着も、そしていかなる儂い追求も、そなたらを通じて流れる恩寵けがの清らかさを汚すことができないよう、また、その甘美かんびなる味を苦くすることなきよう、主なる神に嘆願せよ。偉大なる時代の到来を目指して我はそなたらを準備しているのである。今、そなたらを指導している我が、次の世において神の慈悲の座の前に立ち、汝らの成果に歓喜し、その偉業いぎようの栄誉ひたに浸ることができるよう、最善の努力を尽くせ。来るべき時代きたの秘密は、今は隠されている。その秘密を明かすことも、その意義おを推し量ることもできない。その時代に産声うぶごえをあげる赤子は、現在のこの日に生きる最も賢明で最も尊敬される者にも優るのである。その時代に生きる最も卑しく最も無学な者でさえも、今日の最も博學はくがくで優秀な神学者に優る知識をもつであろう。国土とうざいなんぼくの東西南北くまに限なく分散せよ。そして、確信に満ちた足取りと澄み切った心とをもって、「彼」の到来のために道を準備せよ。自分の弱さと無力なことに心を悩ませてはならない。全能なる主におわす神の、無敵の威力にしっかりと目を据えよ。そして、過去の時代の出来事を想起せよ。まったく無力に見えたアブラハムを、神はニムロデの軍勢に勝利させられたではないか。手に持った杖以外には何の加勢もないモーゼは、神の威力によりファラオとその軍隊を破ったではないか。人々の目にイエスは卑しい貧乏人に映っていたが、神はイエスをユダヤの民たばが束いどになって挑かなんでも敵わないところまでひきあげられたではないか。野蛮やばんで好戦的なアラビアの部族を、神は、ムハンマドの神聖にして、かつ変革の力を持つ規律に従わせたではないか。神の名のもとに立ち上がり、神ぜんぶくに全幅の信頼をおき、最後の勝利を確信せよ。⁷

1. バブは、彼を約束された御方と認めた最初の信者たちに、どのような称号を与えら

れましたか。_____

2. 「生ける文字」は何人いましたか。_____
3. 最初にバブを認めたのは誰ですか。_____
4. 「生ける文字たち」の中で最後の人は誰ですか。_____
5. 「生ける文字たち」はどのようにしてバブの啓示の真実性を認めるよう導かれましたか。_____

6. 「生ける文字たち」のうち、直接バブに会わなかったのは誰ですか。_____
7. 「生ける文字たち」の全員が揃うと直ちに、バブはモラ・ホセインを呼び、以下のよう
に指示されました。「我々の親交の日々は_____。
汝と我の聖約はすでに_____。
_____, 我の_____を広めるために_____。
この_____の_____や_____を_____
_____ならない、_____の_____は_____
汝を_____からである。
まことに、主は深い愛情で_____、_____から
_____へと導き給うであろう。あたかも大地に雨を降らせる_____の
ように、地の隅から隅まで_____し、_____がご慈悲によって汝
に授けるべく定められた_____を人々に_____。
8. バブはご自分の巡礼の同行者として誰を選ばれましたか。_____
9. バブはモラ・ホセインにどこへ行くよう命じられましたか。_____

10. バブはモラ・ホセインにどのような望みを明かされましたか。_____

11. バブが「生ける文字たち」へ送られた手紙の、少なくとも一部分を暗記してみませんか。

セクション 4

1844年10月、バブは、ゴッドスに伴われて、メッカとメディナへの巡礼に旅立たれました。サウジアラビアにあるこれら二つの都市は、イスラムの信者らによって聖地とみなされています。バブと彼の同行者はブシェールで船に乗り込みました。それはアラビア半島を周っていくため、彼らは約二か月後にメッカの近くに着きました。メッカ滞在中、バブは、その町の長で、その聖なる社の守り役を勤めるシャリフ（聖職者）に手紙を書いて、自らの使命を明確に説き、この大業を受け入れるよう勧めました。しかし、私事に忙しかったシャリフはこの聖なるメッセージに応えることができませんでした。それから、バブは、ゴッドスを伴ってメッカからメディナへ旅されました。メディナには預言者ムハンマドの遺体が祀られています。その聖なる都市を訪れた後、彼らは船でペルシャに戻りました。ブーシェヘルに着くと、バブは、シラズへ進むようゴッドスに指示されました。

そなたが我と共にある日々は終わりを告げようとしている。別れの時は来た。神の王国での再会以外に、もはや我々がこの世で会うことはない。…シラズの町ではそなたの上に侮辱が山のように浴びせられ、身体は猛烈に傷つけられるであろう。そなたは敵による数々の屈辱的な振る舞いを耐え抜き、我々が敬愛と崇敬を捧げる御方の御前にたどり着くであろう。その御前で、そなたは自分に降りかかった危害や辱めのすべてを忘れ去るであろう。目に見えない御方の軍勢がそなたを支えるために急ぎ、その英雄的行いと栄光を世界中に知らしめよう。神のために殉教の盃を飲み干すという、

筆舌に^{ひつぜつ}尽くしがたい喜びはそなたのものとならん。我もまた、殉教の道をたどり、永遠の領土でそなたに合流するであろう。⁸

1. バブはいつ巡礼に出られましたか。_____
2. バブは何という都市に巡礼に行かれましたか。_____

3. バブはメッカで誰に手紙を書かれましたか。_____
4. メディナはなぜイスラム教徒にとって聖都なのですか。_____

5. バブとゴッドスがブーシェヘルに到着した時バブがゴッドスに言われたことを、あなた自身の言葉で下欄に書きましょう。_____

6. バブは、ゴッドスに誰と会うことになるかと約束されましたか。_____

セクション 5

ゴッドスはシラズで、バブのメッセージを熱心に教え始めましたが、すぐにイスラムの僧侶やその地域の統治者らの妨害に遭いました。残酷で邪悪なその統治者は、ゴッドスとその二人の同行者を逮捕し、公に罰するよう命じました。彼らのあごひげは焼かれ、鼻に開けた穴に紐を通し、その不名誉な姿で市中を引き回されました。「これは異教がどのような罰を受けるかをシラズの市民に知らしめる実地教育である」⁹と、統治者は豪語しました。このような辱めを受けた後、ゴッドスと彼の同行者は、もし戻ってきたら死刑に処すとの警告のもと、シラズから追放されました。このようにして、これらの英雄的な魂は新しい信教のために迫害された、ペルシャで最初の者としての榮譽を得ました。後に、親愛なる御方、バブの道で迫害された何千もの人々について、アブドル・バハはこのように述べておられます。

… 彼らは最も苛烈な困難と試練に見舞われた。彼らは素晴らしい力と崇高な英雄的資質でそれらの試練に耐えたのである。何千人もが投獄され、罰せられ、処刑され、殉教した。家は略奪され破壊され、財産は没収された。彼らは惜しむことなく命を犠牲にし、最後まで信仰が揺らぐことはなかった。彼らの素晴らしい魂は神のランプであり、神の御意志の永遠なる地平線から燦然と輝き出る神聖な星である。¹⁰

ゴッドスとその同行者に不当な罰を与えるよう命じた統治者は、自分の怒りをバブに向けました。彼は、バブを鎖で縛り、シラズへ連れてくるよう命じて、自分の衛兵を馬でブーシェヘルへ送りました。その頃、バブは馬でブーシェヘルを発ってシラズへ向かっておられました。馬に乗った衛兵がバブに出会ったのは、これら二つの都市の間の荒野でした。ずっと後になって、この衛兵の指揮官はバブと出会った時の様子を次のように述べています。

私たちがバブに近づくと、彼は私たちに会釈して、私たちの目的地を尋ねました。私は本当のことを言わない方がいいと思ひ、この付近である調査をするよう統治者に命じられていると答えました。彼は微笑みながら私たちを見て、言いました。「統治者は私を捕えるためにあなた方を遣わしたのでしょうか。さあ、私はここにいます。私を望むようにしなさい。私から会いに来ることで、あなた方の進む距離を縮め、私を見つけ易くなるようにしたのです」。私は彼のこの言葉にドキッとさせられ、その率直さに驚かされましたが、私にはバブが役人の厳しい懲罰に自らすすんで身を差し出し、それにより自らの生命と安全を危険にさらそうとする意図が理解できませんでした。私は彼を無視することにし、その場を去ろうとしました。する

と、バブは私に近づき、こう言われました。「人間を創り、それを他の創造物とは区別し、人間の心を神の主権と知識の玉座となし給うた神の正義にかけて誓う。我はわが人生において真実以外を述べたことはないし、わが同胞の福利と進歩以外の望みをもったこともない。我は自身の安らぎに重きをおかない。何人^{なんびと}に対しても我自身がその者の痛みや悲しみの原因になることを避けてきた。そなたが我を探しているのは承知している。我のためにそなたやそなたの仲間たちを不要に煩わせるより、むしろそなたの手に我を委ねることを選ぼう」。私はその言葉に深く感動し、とっさに馬から降りると、彼の鏡^{あぶみ}にくちづけしてこう言いました。「おお、神の預言者の瞳^{ひとみ}の光よ！あなたを創り、そのような高遠さと力をお与えになった神にかけて懇願いたします。私の願いを聞き入れ、私の祈りに答え給え。どうぞこの場を立ち去り、この管区^{たぐら}の冷酷卑劣な統治者からお逃げください。私は、あなた様に対する彼の企^{たくら}みが心配でなりません。神の預言者の、これほど純粹で気高い御子孫に対する悪意に満ちた企みの道具になど、私はなりたくありません」。私の真剣な懇願に対して、バブはこう答えられました。「そなたの高潔さと気高い思いにそなたの神、主の報いあらんことを。誰もわが大業の謎を知らない。誰もその秘密を理解することはできない。我はけっして神の掟^{おきて}に顔を背けることはない。神のみが私の確^{たくら}実な砦であり、わが支柱、わが避難所である。私の最期の時まで、誰も我を襲うことはできない。誰も全能者の計画を阻止することはできない。そして、私の最期が来たとき、神の名において殉教^{さかはずき}の杯を飲み干した私の喜びはいかに大なるものであろう。さあ、我はここに居る。そなたの主人の手に我を引き渡すがよい。恐れることはない。誰もそなたを責めはしない」。その言葉に逆^たらえず、私は頭を垂れ、彼の望みどおりにしました。¹¹

バブは、そのままシラズへの旅を続けられました。鎖に縛られることもなく、自由の身で、彼に敬意を払いながら従う衛兵たちの前を進まれました。シラズへ到着するや、バブは統治者の前に連れて行かれました。統治者は恥^はずべき残忍さをもってバブを扱い、公に懲戒し、非難した後、バブをその伯父の管理下に置くという条件で解放しました。家に帰ることは許されたものの、バブの自由は制限され、家族とその他のごく数人しか彼に会うことは許されませんでした。そして、彼の影響を止めようとする統治者や僧侶たちの必死の活動にも関わらず、バブを信じる者の数は急激に増えました。

バブの重大な宣言のニュースはおおいに広まり、ついにペルシャの王は、状況を調査するために自分の最も信頼する、見識ある学者をシラズへ送ることにしました。知事自身の客であったその学識者は、バブに三度、会見しました。彼はバブに反論しようと決意しましたが、会うたびに、バブの知識、雄弁さ、英知にますます感服させられました。三回目の会見で、バヒードと

いう名で知られていたこの学者は、この若者の聖なる地位を確信させられました。後に、バヒードは、バブとの会見の間、自分は「バブの足元の塵のごとく卑しく感じた」と説明しています。バヒードは直ちに王宮へ報告書を送り、バブの指示でシラズを離れました。その日以来、バヒードはバブの大業の促進に自分のエネルギーを捧げ、やがて最愛なる御方の道にその生命を捧げました。

バブの人気と名声が高まるにつれ、統治者の怒りはつのもり、彼を捕らえるよう再び命じました。今回はバブを殺害しようとして、夜中にバブの伯父の家に警察官を送りこみ、バブを捕らえることにしました。しかし、ちょうどその夜に、シラズにペストが発生し、市全体が大混乱に陥りました。数時間のうちに百人以上もその恐ろしい病で死んだのです。通りでは悲痛の叫びがあがり、街の住民は混乱して逃げ回りました。どうしたら良いか分からず、警察官はバブを自分の家に連れて行きました。家に帰ったとき、息子がこの病気で死にかけていると知らされ、悲嘆にくれました。絶望した警察官はバブの足元に身を投げ、許しを請いました。彼の息子が奇跡的に癒された時、その警察官はこのペストの発生に神の御手を認め、バブの釈放を統治者に嘆願しました。統治者は自分の家族や他の人々の生命が脅かされるのを恐れ、バブをシラズから退去させるという条件でその嘆願を受け入れました。

1846 年秋、バブはシラズの北にある街、イスファハンへと出発しました。別れ際に、バブは伯父に告げました。「アゼルバイジャンの山の中で再びお会いしましょう。そこから、伯父さんには殉教の王冠を得ていただきます。私自身は忠実な弟子の一人と共に伯父さんの後に続き、永遠の王国で伯父さんに合流いたします」¹²

1. ゴッドスはシラズに着いて何をしましたか。 _____

2. ゴッドスがシラズで新しい教えを教え始めたとき彼に反対したのは誰でしたか。 _____

3. 「僧侶」という言葉の意味は？ _____

4. 統治者の性格を表す言葉は何ですか。 _____

5. 統治者は、ゴッドスと彼の二人の同行者にどのような罰を命じましたか。 _____

6. 「異教徒」という言葉の意味は何ですか。_____

7. ゴッドスと彼の二人の同行者をシラズから追放した後、統治者は衛兵に何をしよう命じましたか。_____

8. 衛兵がバブに出会った時、バブは何をされてきましたか。_____

9. バブを逮捕するために送られた衛兵の指揮官に、バブはこう言われました。

「_____は私を_____ためにあなた方を遣わしたのでしょうか。さあ、私は_____にいます。私を_____ようにしなさい。私から_____来ること、あなた方の_____を縮め、私を_____なるようにしたのです」。

私は彼を無視することにし、その場を去ろうとしました。するとバブは私に近づき、

こう言われました。「…。我は自身の_____に重きをおかない。^{なんびと}何人

対しても我自身はその者の_____や_____の原因になることを

_____きた。そなたが我を_____いるのは_____いる。

我のためにそなたやそなたの_____を_____に_____よ

り、むしろそなたらの_____に_____ことを選ぼう」。

10. バブは衛兵達の敵意をどのように取り除きましたか。_____

11. バブはどのような扱いのもとにシラズに到着しましたか。_____

12. 統治者はバブをどのように扱いましたか。_____

13. その後数ヶ月間、統治者や僧侶がバブの影響力を抑えようとした試みの効果はどうでしたか。_____

14. バヒードはどんな人ですか。_____

15. 統治者はバブの人気の高まりにどう対処しましたか。_____

16. 統治者が最終的にバブを釈放し、シラズを去るのを許したのは何故ですか。_____

17. シラズを出てバブはどこへ行きましたか。_____

18. バブが上記の旅をしたのはいつのことですか。_____

19. バブは伯父との別れ際に何と言いましたか。_____

20. あなたのグループのメンバーでペアを作り、シラズとブーシェヘルの間の荒野で、馬に乗った衛兵がバブに出会った時の様子を、交代で話しましょう。

セクション 6

イスファハンの町に近づくと、バブはその州の知事に手紙を書き、どこに住むべきかを指定して欲しいと要請しました。純真で公正なその知事はバブの手紙の丁寧さと文体に大いに心打たれ、州の最高宗教官吏^{かんり}に対して、バブを自分の家に迎え入れ、手厚くもてなすよう指示しました。

イスファハン滞在中に、毎日多くの人々がバブに会いにやって来て、その言葉に聞き入りました。しかし、彼の影響力の高まりは、すぐに、地域の僧侶^{しゅと}の嫉妬を引き起こしました。彼らは自分たちが長い間占めてきた地位と権威^{しゅつゐ}の失墜を恐れたのです。彼らはバブへの疑惑を引き起こそうとしてバブについての根拠のない噂^{うわさ}を流し始めましたが、これに失敗すると、バブを追い払う計画^{くわだ}を企てました。僧侶達の陰謀に気づいた知事は、バブを自分の家に留まるよう招待しました。そこで、バブとの対話を重ねるうちに、知事はバブの啓示の偉大さを理解するようになり、あるとき、家の庭でバブと対座しているとき、次のような申し出をしました。

全能なる賦与者^{ふよしや}は、多大な富を私に授け給いました。私はその富を最大限に活かす術^{すべ}を知りません。今、私は神の御助けにより、この啓示を認めるよう導かれました。その益するものを促進し、名声を広げるために、全財産を捧げることが私の熱烈な願いです。あなたのお許しのもとにテヘランへ赴き^{おもむ}、私に確固として揺るぎない信頼をおく国王をこの大業の信奉者とするために最善を尽くすことにします。¹³

この溢れんばかりの愛と献身に対し、バブは次のように答えられました。

神がそなたの崇高な志^{こころざし むく}に報いられんことを。我にとって、そなたの志はその行いそのものにも勝^{まさ}って尊いものである。しかし、我とそなたが共にある日はわずかしか残されておらず、その期間はあまりに短いため、我はそなたの望みがかなえられ、実現するのを目撃することはできない。全能なる神は、そなたが想像する甘い手段とは異なる手段をもって、彼の信教を勝利に導かれるのである。全能なる主権者はこの地の貧しい人々や身分卑しき人々を通じ、彼らが神の道で流す血をもってこの大業の存続を確実にし、その基礎を強固にされる。その同じ神は、来るべき世におい

て不滅の栄光の冠^{かんむり}をそなたの頭上に載せ、計り知れないほどの祝福をそなたに注がれるであろう。この世でのそなたの人生はわずか3ヶ月と9日間しか残されていない。その後、そなたは信仰と確信をもって永遠の住居^{すまい}へと急ぐであろう。¹⁴

バブの予言通り、イスファハンのその知事は、きっちり、3ヶ月と9日後に亡くなりました。彼の死後間もなく、後任の知事はテヘランの国王に書信を送り、バブの扱いについて指示を仰ぎました。国王は、バブと会見するつもりで、バブに変装させて、首都へ送るよう命じました。こうして、馬に乗った衛兵の同行のもと、バブはテヘランへの旅路につきました。

1. バブはイスファハンの町に近づいた時、誰に手紙を書かれましたか。 _____

2. イスファハンの知事の性格はどのような言葉で言い表せますか。 _____

3. 知事は州の最高宗教官吏にどのような指示を出しましたか。 _____

4. イスファハンの僧侶たちは、なぜ嫉妬したのですか。 _____

5. もし、バブにそのメッセージを宣布し続けることを許せば、僧侶達は何を失うことになると恐れたのですか。 _____

6. イスファハンの知事は僧侶たちの企みからバブを守るためにどうしましたか。 _____

7. その知事は、バブの大業のためにどのような申し出をしましたか。 _____

8. バブは知事の申し出にどう答えられましたか。_____

9. 知事に対するお返事で、バブは、神の大業の発展についてどのような深遠な真理を伝えられましたか。_____

10. 国王は知事の後任者にどのような指示を下しましたか。_____

セクション 7

当時のペルシャの総理大臣は利己的で無能な男でした。彼は、もしバブがテヘランに来て、王に接見したら自分の地位や権力が失われるのではないかと不安に思い、命令を変更して、バブをペルシャの北西にあるアゼルバイジャン州へ送るべきであると国王にすすめました。

1847年6月、護衛に伴われてアゼルバイジャン州の首都タブリーズへ着いたバブは、彼を監禁するために選ばれた屋敷に連れて行かれました。分遣隊の兵士の一団が屋敷の玄関を見張り、彼の二人の信者以外、誰もバブに会うことはできませんでした。その都市の人々は、バブに会おうとする者は誰であれ、投獄され、財産のすべてを没収されると警告されていました。

バブはしばらくタブリーズに滞在した後、都心部から離れたアゼルバイジャンの山岳地帯にあるマーカーの要塞^{ようさい}に移されました。かの総理大臣は、そのような遠隔地で厳しい環境にある辺境に追放することによって、バブの影響力は弱まり、彼の信教は忘れ去られるであろうと考えたのです。しかし、総理大臣は、ひとたび、神の宗教の灯^{とも}が点されたなら、いかなる人間もその炎を消すことは出来ないということを認識していなかったのです。やがて、その威厳と大なる優しさで、バブはすぐに要塞の役人と地域の人々の尊敬と称賛を引きつけました。

こうして、バブに課せられた厳しい規則は徐々に緩められ、要塞への門はバブの信者たちに開かれ、ペルシャ各地から彼を訪ねる者の数がどんどん増えました。マーカー^{ゆうへい}幽閉中に、バブは彼の書物の中で最も重要なものである、ペルシャ語のバヤンを著されました。この書の中で、バブは彼の宗教制の法を制定し、自分の啓示をしのぐ、より偉大な啓示が到来することを簡潔かつ率直に伝え、信者たちに「神が顕し給う御方」を見つけ出すよう促しました。当時、マーカーに住んでいた、初期の信者の一人は、ペルシャ語のバヤンの啓示を次のように述べています。

バブが彼の信教の原則と教えを述べていたとき、その声は山のふもとに住んでいた私たちの耳にもはっきりと聞こえました。彼の朗誦^{ろうじやう}の調べ、彼の唇から流れ出る聖句のリズミカルな流れが私たちの耳を捉え、魂に直接^し沁^み込んでいったのです。彼の威厳に満ちた声^{こゝろ}が山や谷にこだまし、私たちの心は彼の言葉の魅力に心底共鳴しました。¹⁵

バブがマーカーの人々の愛と支持を勝ち取り、その教えが国中に広がり続けていると知った総理大臣は、バブをチェーリーグの要塞に送るという命令を下しました。しかし、そこでもまた、周辺の町の人々や要塞の役人たちはバブの人を引きつける人柄に魅了され、その地域の最も高名な僧までもがこの新しい教えを受け入れ、彼の信者の仲間に加わるために自らの特権的な地位を捨てました。

総理大臣は、チェーリーグで起こっている出来事を耳にするやいなや、バブを直ちにタブリーズへ送るよう命令しました。政府の宗教当局はバブを審問するために会合を開き、バブの影響を食い止める効果的な方法について検討しました。それは 1848 年 7 月ごろのことでした。その会合で聖職者や政府の役人達はバブを辱めようとしたのですが、バブの威厳に圧倒されてしまいました。彼らが「あなたは自分を誰だと主張するのか、そして、何を伝えるために来たのだ?」と尋問すると、バブはこう宣言されました。

我は、我は、我は約束された者なり! 我はそなたらとその名を一千年も

の間とな唱え続けた者、そなたらはその名を聞き、起立した者なり。我はそ
なたらはその到来を待望し、その啓示の時が早められるようにと神に
嘆願たんがんしてきた者なり。まことに我は言う、東と西、両洋の人々は皆、わ
が言葉に従い、我に忠誠を誓わなければならない。¹⁶

その会合の数日後、バブはチェーリーグに連れ戻されました。バブに敵対する者らは、タブリーズでバブにその使命をあきらめさせることができると期待したのですが、結局、バブが生きている限り、ペルシャの人々の間で高まっている彼の影響力を食い止めることは不可能であるとの判断に至りました。

1. 当時のペルシャの総理大臣の性格はどのような言葉で表されますか。_____

2. 総理大臣はなぜバブが国王に会うのを恐れたのですか。_____

3. 国王がバブに会うのをさえぎるため総理大臣は何をしましたか。_____

4. なぜ兵士の一団はバブがタブリーズで幽閉されていた屋敷の出入り口を見張ったのですか。_____

5. その市の人々に、どのような警告が出されましたか。_____

6. バブはタブリーズに短期間止まった後、どこへ移されましたか。_____

7. 総理大臣は、バブをマークーで幽閉すればその大業はどうなると考えましたか？ _____

8. 総理大臣の考えはどのように間違っていましたか？ _____

9. マークーの牢獄の門は、いかにしてバブの信者に開放されましたか？ _____

10. マークーの要塞に幽閉されている時に、バブが表された重要な書物は何ですか？ _____

11. ペルシャ語のバヤンの扱っているテーマをいくつか挙げましょう。 _____

12. バヤンの中でバブは、信者に対し、誰を探し出し、会うよう促しましたか？ _____

13. バブの信教が広がり続けていると聞いた総理大臣は何をしましたか。 _____

14. バブの大業は彼がチェーリーグに移されたことでどのような影響を受けましたか。 _____

15. バブの敵たちはバブをチェーリーグからタブリーズへ移すことによって何が出来ると思

ったのですか。 _____

16. 政府の役人達はバブの取り調べで、どのような質問をしましたか。 _____

17. 彼らの質問にバブはどのように答えられましたか。 _____

セクション 8

アブドル・バハは、バブについて述べておられます。

バブについてお話ししましょう。一わが魂が彼に捧げられんことを一
バブは、その祝福された生涯の25年目という青年時代に、彼の大業を宣
言するために立ち上がりました。…彼はたった一人で、想像を絶するや
り方で、宗教的狂信で知られていたペルシャ人の間に、想像もつかない
ような大業を打ち立てたのでした。この輝かしい魂は、ペルシャの宗教
的^き法、しきたり、作法、倫理、生活習慣の土台を揺るがすほどの力を携^{たずさ}
えて立ち上がり、新しい法、信仰、宗教を制定したのです。国家の有力
者、大多数の人々、宗教の指導者たちは、彼を滅ぼし、亡き者にしよう
と誰も彼もが立ち上がったのですが、彼は独力で彼らに抵抗し、ペルシ

ャ全体を揺さぶったのでした。なんと大勢の聖職者、指導者、その地の住民たちが、完全な喜びと晴れやかさをもって、彼の道に命を捧げ、殉教の舞台へと急いだことでしょう。

政府、国、聖職者、そして著名な指導者たちはバブの灯を消そうとしましたが、それは適わず、ついにバブの月は昇り、星は輝き、彼の大業の礎は強固に築かれ、彼の地平線は光にあふれたのです。バブは、神の教育を通して大勢の人々を訓練し、無知なペルシャの人々の思想やしきたり、道徳、生活習慣に驚くべき影響を及ぼしました。バブは彼を慕うすべての人々にバハの太陽の出現という吉報を告げ、信仰と確信をもって受け入れられるよう、彼らに心の準備をさせました。

一人の若い商人が示した、そのように素晴らしい徴と偉大な大業の出現、人々の考えや心に及ぼす影響、進歩の基盤の敷設、成功と繁栄をもたらす必要条件の確立。それらはバブが普遍的な教育者であったことの最も確たる証拠であり、公正な魂の持ち主なら、ためらうことなく認めることのできる事実です。¹⁷

上述のアブドル・バハの言葉と、あなたがこれまで学んできたことに基づき、バブの生涯について短い話を準備し、発表しましょう。

セクション 9

1850年、ペルシャの新しい総理大臣は、バブを処刑する命令を下しました。この総理大臣は前任者と同様、残酷な人物でした。バブは再びチェーリーグからタブリーズに連れ戻され、投獄されました。彼の監房の隣には、後に、彼の殉教の場となる中庭がありました。

バブが牢獄へと連行されている時、一人の若者が人ごみをかき分けて走り出て、バブの足元にひれ伏しました。若者は「おお、師よ、私を貴方のお側から追いやらないでください」と嘆願し、バブの行かれるところ、どこにでも同行することを許して欲しいと訴えました。バブは「立ちなさい。そなたは我と共にいるゆえ、安心するが良い。明日、そなたは神が命じられたことを目撃するであろう」¹⁸とお答えになりました。この若者は他の二人の同行者と共に直ちに捕らえられ、バブと彼の秘書が入れられたその監房に監禁されました。この若者は、アニスとして知られ

るようになりました。

アニスは、バブが、最初にタブリーズに短期間滞在された時——この時、地元の住民はバブとの接触を厳しく禁じられていたのですが——に、バブご自身からこの新しいメッセージについて知らされました。アニスの心に燃え立つ神の愛の火は非常に強烈で、彼の唯一の願いは新しい信教のために犠牲となることでした。しかし、彼の義父は息子の行動を警戒し、アニスを家に閉じ込め、行動を厳しく監視しました。その間、何週間もアニスは祈りと瞑想のうちに過ごし、最愛なる御方の御前にふたたび達することができるよう、神に懇願しました。ある日、熱心に祈っている最中にアニスは、バブが目の前に立ち、彼に呼びかけておられるという不可思議な幻影を見たのです。アニスがバブの足元にひれ伏すと、バブは、「喜べ。まさにこの市で我が群衆の面前で吊るされ、敵の銃火の犠牲となる、その時が近づいている。我は殉教の盃を共にするために、他ならぬ、そなたを選んだ。安心せよ。そなたとのこの約束は果たされる」¹⁹。こうして、アニスは最愛なる御方と再会の日が間もなく来るということを知り、辛抱強く待ちました。そしてついに、彼の心からの願いは叶えられたのです。

その夜、バブは喜びに輝いていました。彼はアニスや、他、共にその監房に閉じ込められていた三人の忠実な信奉者たちと陽気に話されました。「明日は我の殉教の日となるであろう。そなたらの一人が今立ち上がり、その手でわが命を終わらせてはくれないか。我は、敵の手にかかるよりはむしろ仲間の手で殺害されたいのだ。彼らの内の誰一人として、そのように尊い生命を奪うことなど考えることもできず、言葉もなく、涙を流すだけでした。しかし、突如、アニスが立ち上がり、バブのお命じになることなら何であろうと従う覚悟だと言いました。するとバブは、「わが願いに従うために立ち上がったこの若者こそ、我と共に殉教することになる。彼こそが、我と共にその王冠を分かち合うため、我が選ぶ者である。」²⁰と断言されました。

次の日、1850年7月9日の早朝、秘書と対話されていたバブのところに、いきなり一人の役人が来てその会話をさえぎりました。バブは、「我が言いたいことを全て、彼に伝え終わるまで、この世のいかなる権力も我を黙らせることはできない。たとえ全世界が我に刃向かっても、最後の言葉までわが意志を全うすることを妨げることはできない」²¹と言われたが、その役人はバブの言葉の重要性を理解せず、返事もしないで、命令に従うよう秘書に指示しました。バブは監房から出され、タブリーズの最も高い地位にある三人の僧侶たちの家へ連れて行かれました。その僧侶たちはためらいもなく、バブの処刑判決に署名をしました。

その朝遅くに、バブは中庭に連れ出されました。そこにはバブの処刑を目撃しようと、1万人近くの民衆が屋上に群がっていました。彼は、彼の処刑を命じられた兵士連隊の指揮官、サム・カーンの手に委ねられました。しかし、サム・カーンは、気が気ではありませんでした。自分の行いが神の怒りを買うのではないかという恐怖に襲われたのです。「私はキリスト教を信仰し

ており、あなた様に何らの悪意も抱いてはおりません。もしあなた様の大業が真の大業ならば、あなた様を処刑する任務から私を開放してください」とバブに懇願しました。バブは、「指示に従うが良い。もし、そなたの願いが誠実であるなら、神は必ず、この困難な状況からそなたを解放されるであろう」²² とお答えになりました。

サム・カーンは、壁に鉄の釘を打ち込み、二本のロープをかけて、バブとアニスを吊り下げるよう、兵士達に命じました。連隊はそれぞれ 250 人ずつ三列に並び、次々と発砲しました。しかし 750 発の鉄砲の硝煙が消えた時、群衆は信じられない光景を目にしました。彼らの前にはアニスが無傷で立っており、バブのお姿は彼らの視界から消えていたのです。弾丸は彼らを吊るしていたロープを切っただけでした。必死の捜索が始まり、やがて、先ほどまでいた監房に座って、秘書との中断された会話を終えようとしておられるバブが発見されました。すべてを話し終えられたバブは、「私の話は終わった。さあ、そなたらの目的の遂行に取り掛かるがよい」²³ と言われました。

起こったことに驚愕したサム・カーンは、自分の部下にバブを傷つけさせることを拒否し、中庭を立ち去るよう彼らに命じました。処刑のために新たな連隊が呼び出されました。再度、バブとアニスは中庭に吊り下げられ、兵士たちが発砲しました。今回の弾丸はその標的を撃ち落としました。バブとアニスの体は粉々にうち砕かれましたが、彼らの顔はほとんど無傷のままでした。連隊が発砲の準備をしているとき、バブは自分たちを見つめる群衆に向かって、最期の言葉を述べられました。

おお、よこしまなる世代の人々よ、もし、そなたらが我を信じていたならば、そなたらのほとんどの者よりも高い地位にあるこの若者の例に倣い、一人一人が進んでわが道へと自らを犠牲にしたことであろうに。そなたらが我を認める日がやってくるであろう。しかしその時、我はもはやそなたらと共にはいない。²⁴

1. バブはどの町で殉教されましたか。 _____
2. バブの処刑を命じたのは誰ですか。 _____

3. 若者アニスはどのようにしてバブと共に殉教するに至ったのか、あなたの言葉で話しましょう。 _____

4. バブはなぜ殉教の冠を分かち合う者としてアニスを選ばれたのでしょうか。_____

5. バブが処刑される日の朝、役人がバブと秘書との話をさえぎったとき、バブは述べられました。「我が_____を____、彼に伝え終わるまで、_____の
いかなる権力も我を_____ことはできない」

6. バブの処刑を実施するよう命じられた連隊の指揮官の名前は何ですか。_____

7. サム・カーンはバブに何を懇願しましたか。_____

8. バブはサム・カーンにどのように言われましたか。_____

9. 何人の兵隊がバブとアニスに向かって発砲しましたか。_____

10. 硝煙が消えたとき、群衆は何に驚いたのですか。_____

11. バブは、見つかったとき何をしておられましたか。_____

12. 見つかったとき、バブは何と言われましたか。_____

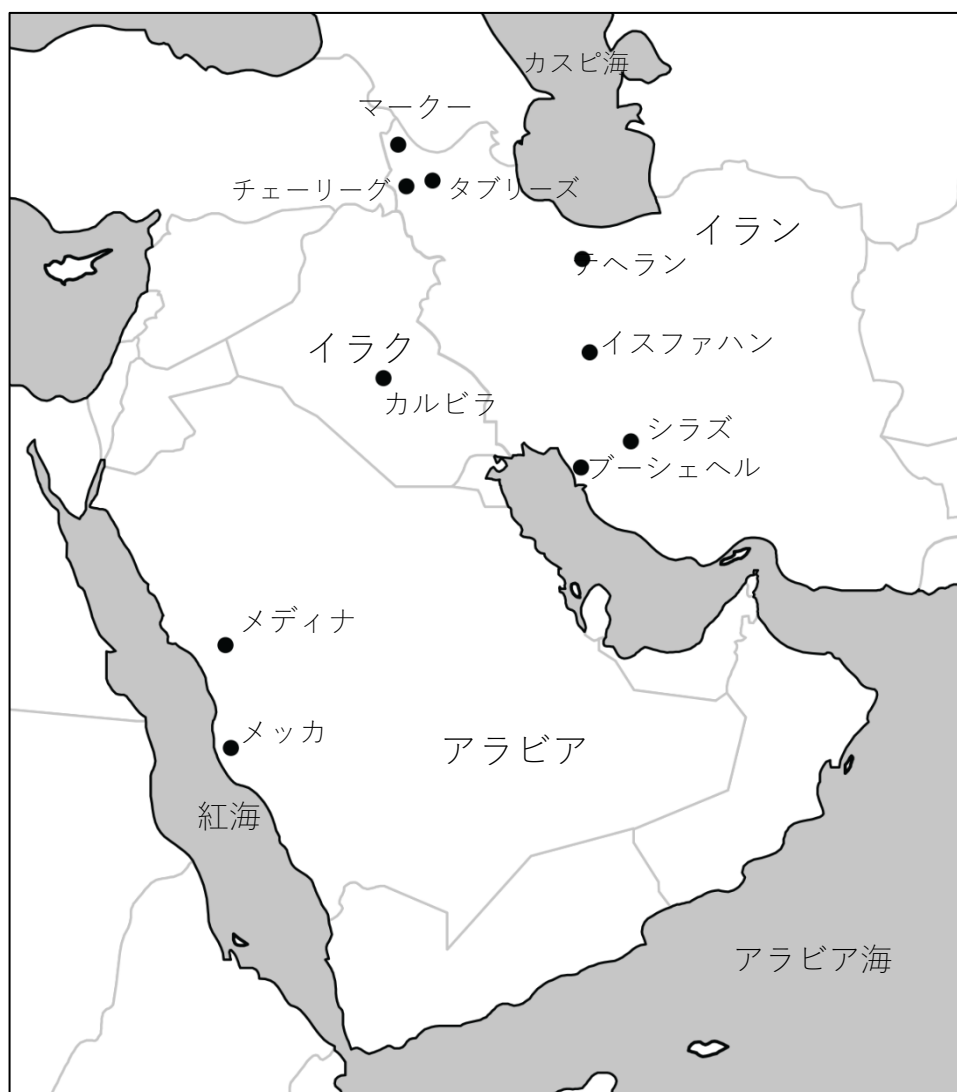
13. バブの殉教が起こったのはいつですか。_____

14. バブは何歳の時に殉教されましたか。_____

15. 彼の処刑を見ようと集まった群衆に対する、バブの最期の言葉を下欄に書きましょう。

セクション 10

バブの旅と追放のルートを下の地図に書き込みながら、それぞれの場所で起きたことを思い出し、その意味について熟考しましょう。



セクション 11

私たちはこの章で、この「日」のために遣わされた「^{つか}一對の神の顕示者」のうちのお一人の生涯について学んできました。バブはその短い啓示の期間に、ペルシャに精神的革命をもたらしたのです。何千もの純粋な魂が彼のメッセージを受け入れ、バブが「神が顕し給う御方」と言及された、神の顕示者の到来に向けて備え始めました。あなた方も知っているように、地上に神の顕示者が出現するときはずっと、権力と指導権を^{かつぼう}渴望する者らはその御方に反対して立ち上がり、その啓示の光を消そうとします。今回も、ペルシャの無知な指導者たちによって、バブが殉教されただけでなく、何千もの彼の信者が殺されました。これら初期のバビ教徒たちは、新しく生まれた啓示の木を自分たちの血をもって育てました。その彼らの英雄的な生き方については後ほど学ぶことになるでしょう。バハイ時代初期の並外れた^{なみはず}歴史を学び続けるとき、

モラ・ホセイン、ゴッドス、タヘレ、バヒードといったような人物は、あなたの生涯を通して靈感と勇気の源となるでしょう。ここで、一つの根本的な問いについて熟考してみると良いでしょう。つまり、どうしてそれほど短期間に、何千という人々の生き方が変革されたのか、また、迷信に染まり、腐敗した指導者の奴隷となっていた人々の中から、どうしてこのような聖なる魂が生まれ、並外れた英雄的行為を行うことができたのでしょうか？その答えはアリ・ムハンマド、すなわちバブという人物その人にあります。ですから、ここで、その聖なる御方について、バハオラ、アブドル・バハ、守護者の著作から引用した文を研究し、瞑想するようおすすめします。

アブドル・バハは、彼の「遺訓」にこう述べておられます。

これがバハの人々の信仰の根底をなすものである（わが命が彼らに捧げられんことを）。すなわち、聖なる御方、崇高なる御方（バブ）は、神の唯一性と一体性の顕示者であり、古来の美の先駆者である。聖なるアブハの美（わが命が彼の堅固不拔な友らの犠牲として捧げられんことを）は、神の至高の顕示者であり、神の最も聖なる精髓の夜明けである。その他の者はすべて彼の僕であり、彼に従う者である。²⁵

守護者は、「神よがり給う」に次のように書いておられます。

バハオラによって、「精髓中の精髓」、「海の中の海」、「預言者たちと使者たちの本質がその周りを回る中心点」、「過去と未来のすべての知識をもたらす者と神がなし給うた御方」、「その地位がすべての預言者の地位を凌ぐ御方」、「預言者たちが選んだすべての者たちですら、本質的に理解することも知ることもできない啓示をもたらした御方」と称賛されたバブは、神から託された言葉を広め、神の使命を果たした。アブドル・バハの言葉で、「真理の朝」、「最も偉大な光の先駆者」と表現された御方、その出現が「預言者の周期」の終焉であり、「成就の周期」の始まりでもあることを示す御方は、彼の啓示を通して彼の国に降りていた夜の闇を追い払うのと同時に、全人類を包む込む輝きを発する「比類なき天体」が近々出現することを宣言した。²⁶

バハオラ御自身、次のように説明しておられます。

この最も強大で驚くべき啓示が、我に先行した顕示者の啓示と、このよ
うなわずかな期間しか離れていないというのは、誰にも解明できない秘
密であり、いかなる者も推し量ることができない神秘である。²⁷

アブドル・バハは述べておられます。

バブの出現は夜明けに似ている。というのも、夜明けは太陽が現れるこ
とを約束しているからである。バブの夜明けは全世界を覆い包む真理の
太陽の出現を約束した。²⁸

セクション 12

神の顕示者としてのこの地上での短い生涯で、バブは数多くの書物や書簡を著わされまし
た。バブの生涯についての勉強を終えた今、彼の祈りの中から次の二つを暗記するようお勧
めします。

神の他に困難を除去し得るものがあるだろうか。おお神に誉れあれ。彼こそ
は神におわします。すべてが彼の僕であり、すべてが彼に従うものであ
ります。²⁹

言挙げよ。神はすべてのものを超えてすべてに満ち足り給う。天上にも
地上にも神の他に満ち足らしめ給うものなし。まことに、神こそは知り
給う御方、支え給う御方、全能なる御方におわします。³⁰

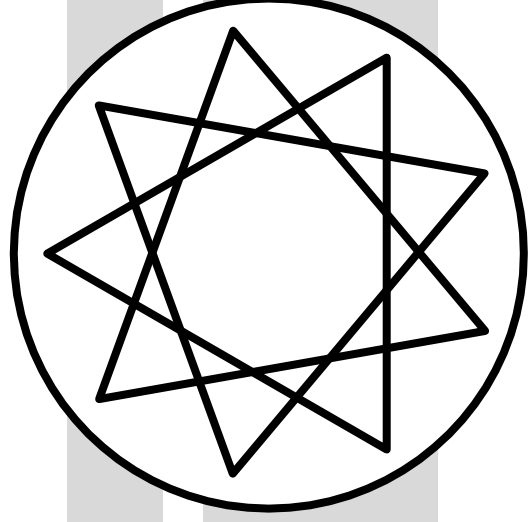
セクション 13

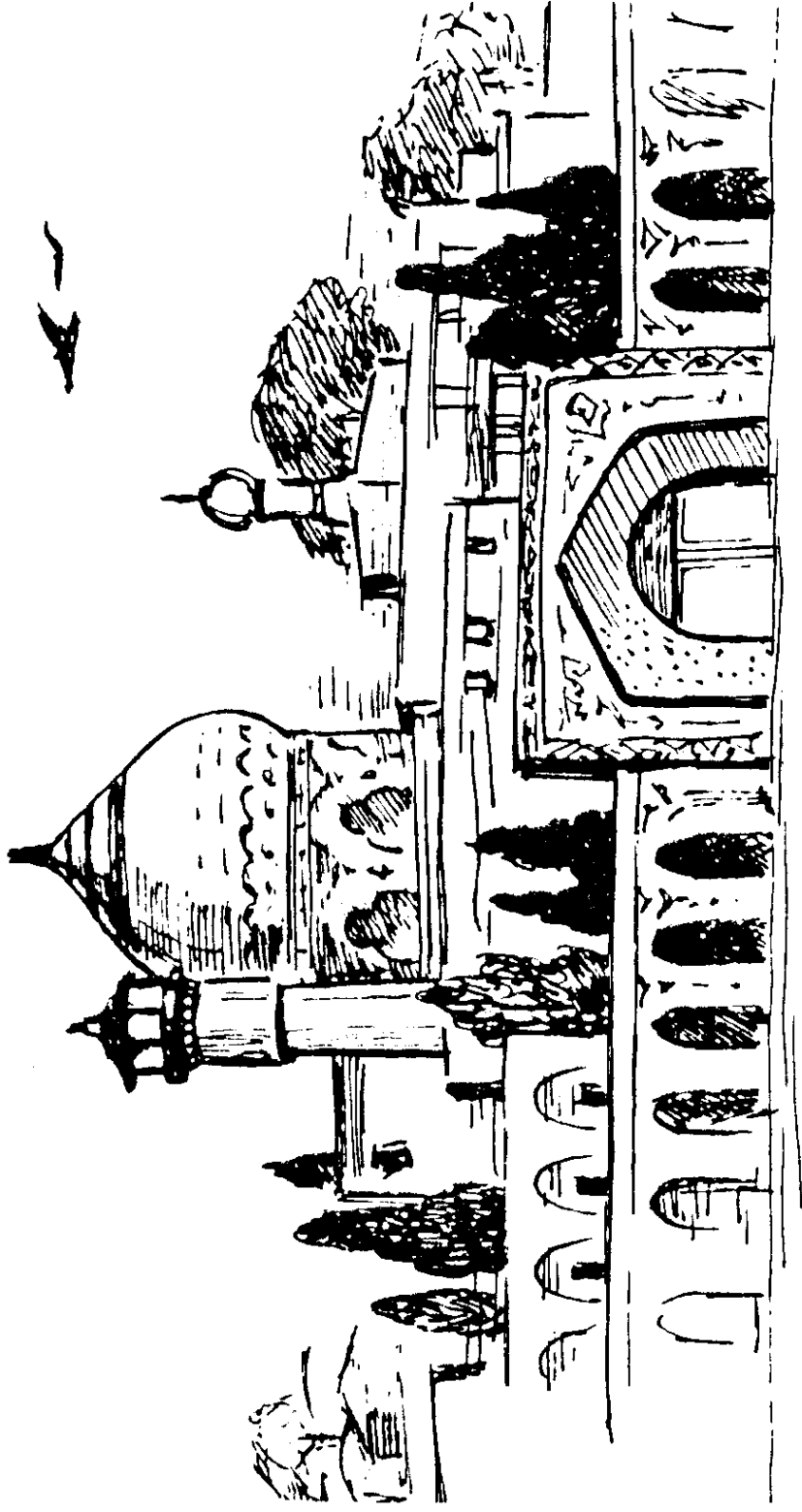
ブック 2 の第 3 章で、皆さんは信教のいくつかのテーマについてどのように対話するかを学
ぶ努力をしました。それは、特に信教について知ったばかりの人たちと、自分たちの共同体内
の友人の住まいを何度か訪問するときの会話でした。この章を学習し終えたいま、バブの生涯
についてのお話を、あなたの会話のリストに加えてはどうでしょう。特定の機会にどの程度詳細
を話すかは、多くの要因によって異なるでしょうが、どのような状況であれ、バハオラの「先駆
者」、「新しい時代の布告者」であるバブの生涯の概略を分かち合うよう期待されます。後のペ

ージに載っている絵はそんな時に役立つでしょう。

ハミグ

新しい目の先駆者





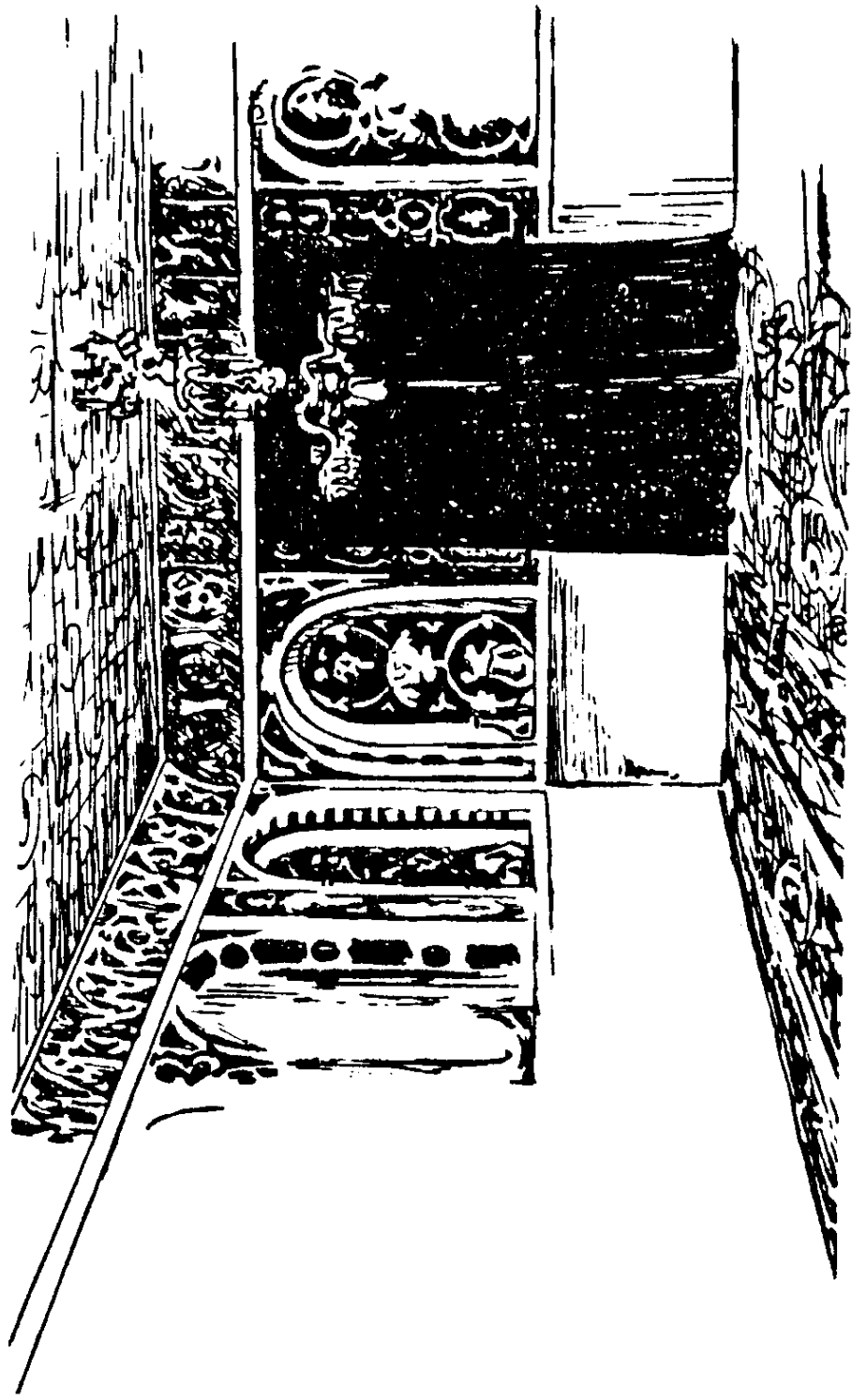
バブは 1819 年 10 月 20 日、イラン南部の都市、シラズにお生まれになりました。父親は彼がまだ幼少の頃に亡くなりま
した。彼を育てた伯父は、幼い頃にバブを学校へ入れました。



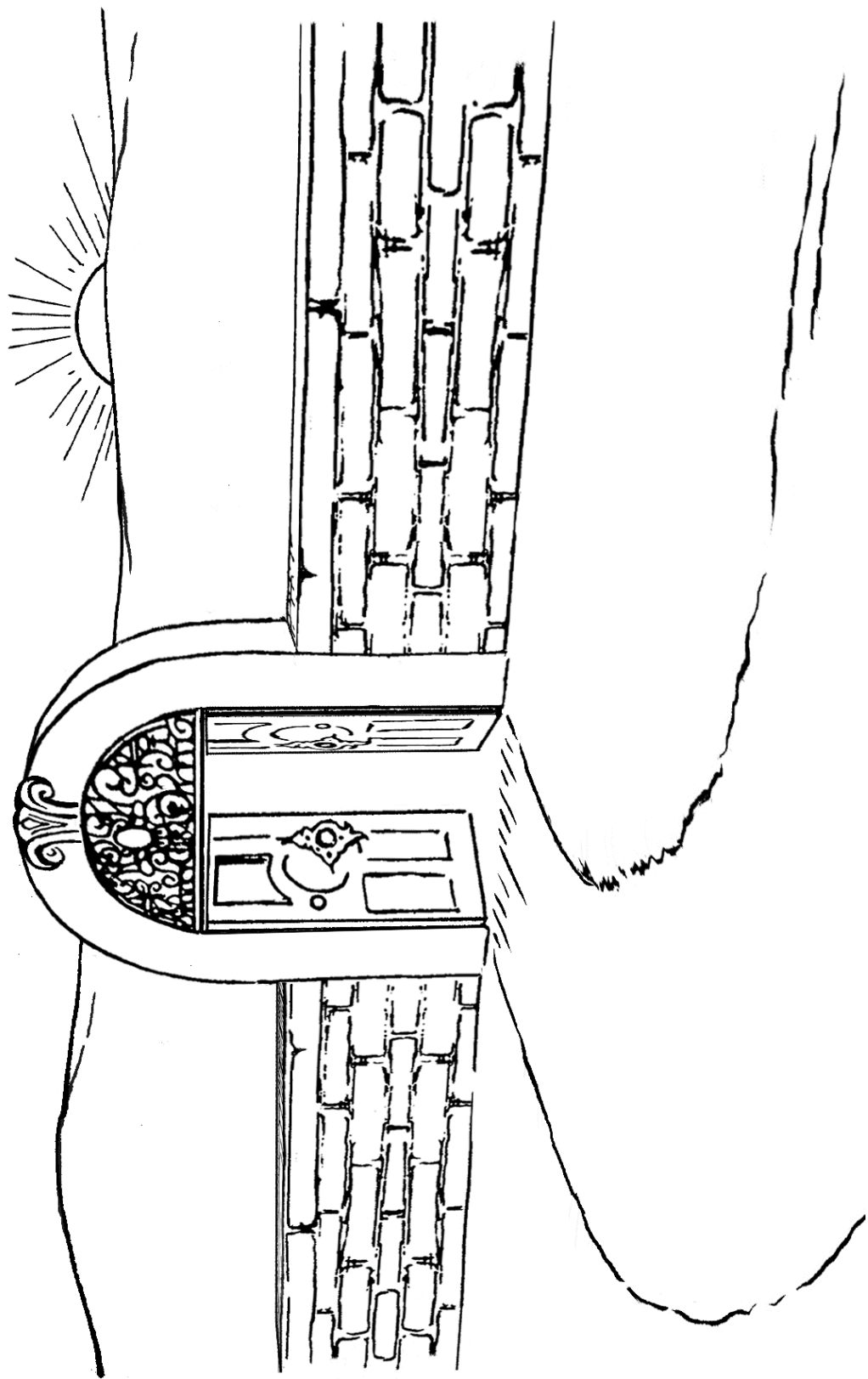
バブの先生はすぐさま、バブの偉大な能力に気づき、自分にはこのように非凡な子どもを教える能力がないと悟りました。バブは、神から生来の知識を授けられていたのです。



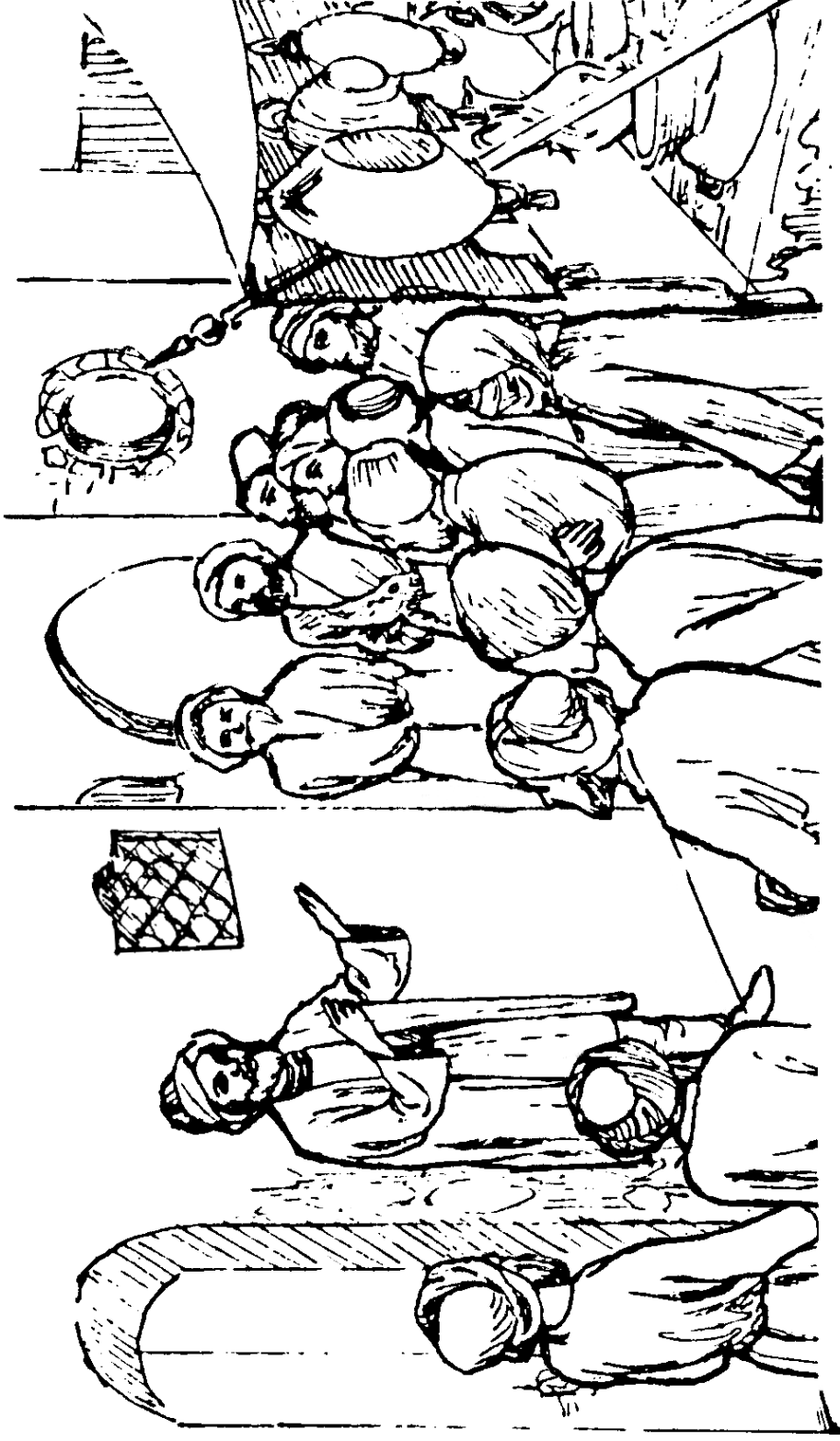
当時、イランの人々は、神の新しい使者の到来を待ち望んでいました。彼らは、地上に平和と正義の時代をもたらす神の使者が間もなく出現するようにと祈りました。多くの人が、約束された御方を探すために故郷を離れました。



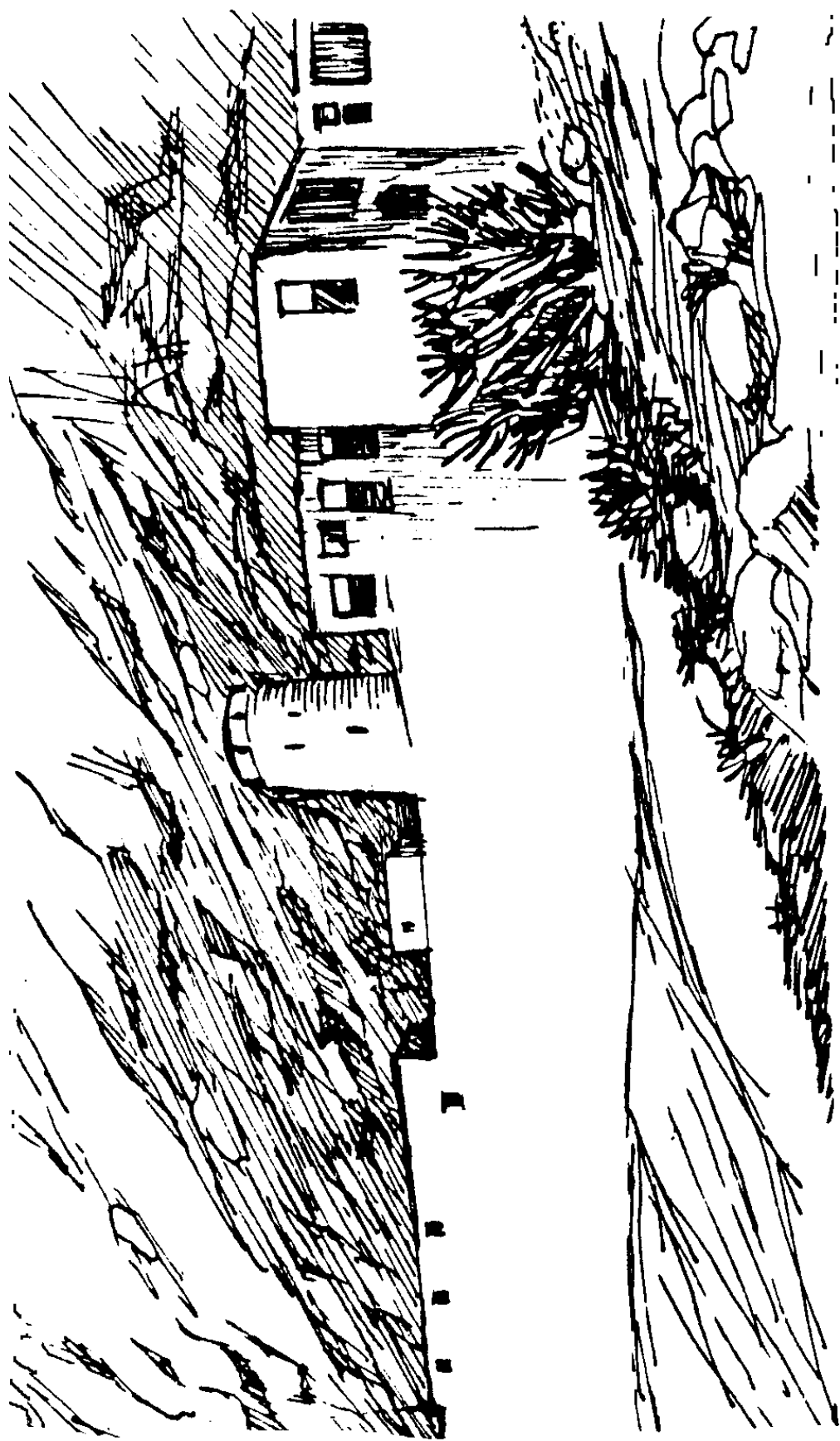
1844年5月23日の前夜、一人の若者が、約束された御方を探してシラズにたどり着きました。バブは都市の門の外でその若者に会い、長旅の疲れをとるために家へ招待しました。バブはそこで、自分こそが、人々が熱心にその到来を待ち望んでいる御方であると宣言されました。



「バブ」という言葉は「門」、または「扉」を意味します。バブは、まもなく別の「神の使者」が現れ、その御方が世界のすべての人々を一つの家族として結びつけるであろうと告知されました。バブは、人類を新しい、栄光に満ちた未来へ導く扉のようでした。



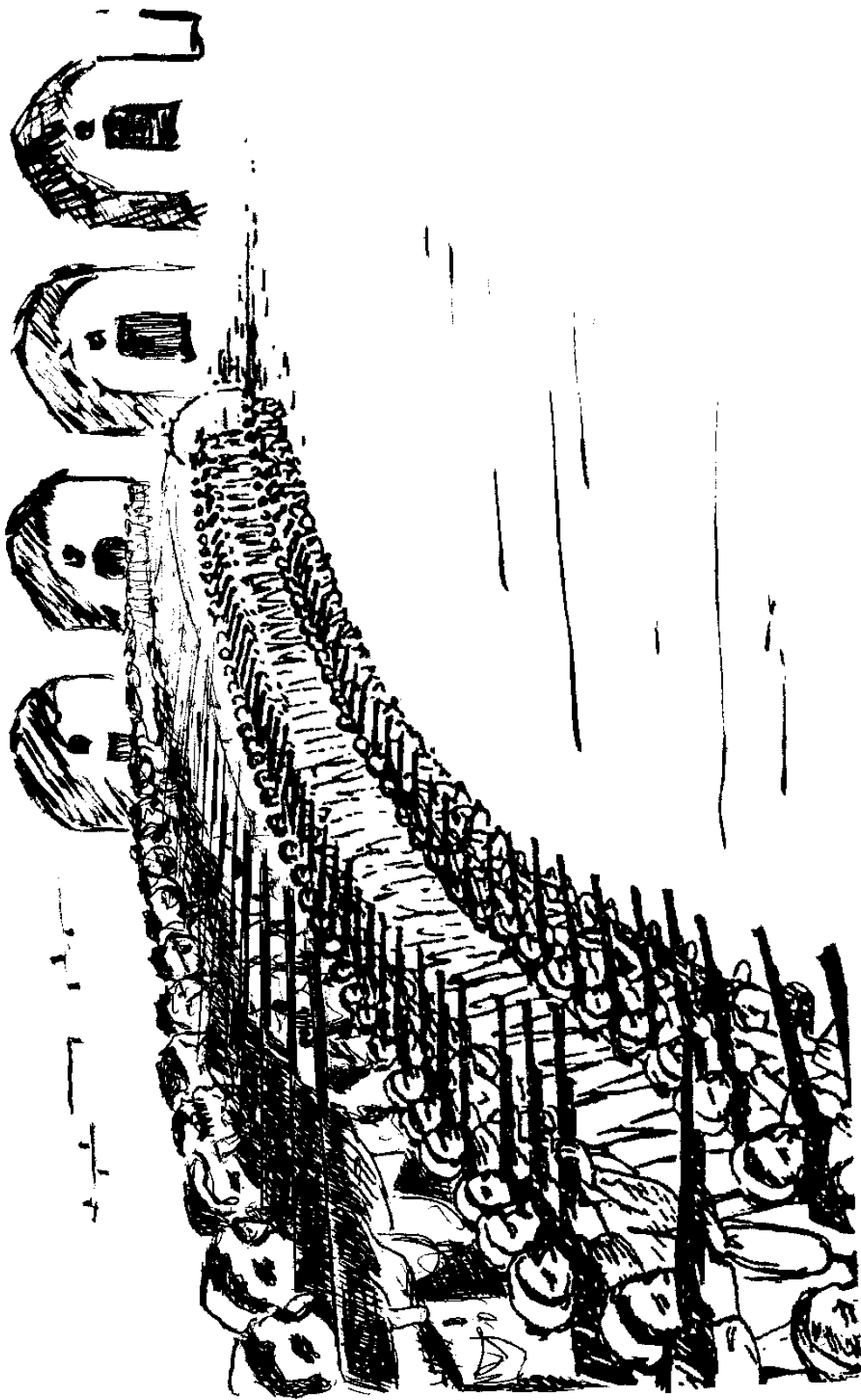
バブを信じる者の数は急速に増えました。イランの国中で、その信者たちはバブの啓示された聖なる教えを広め始めました。



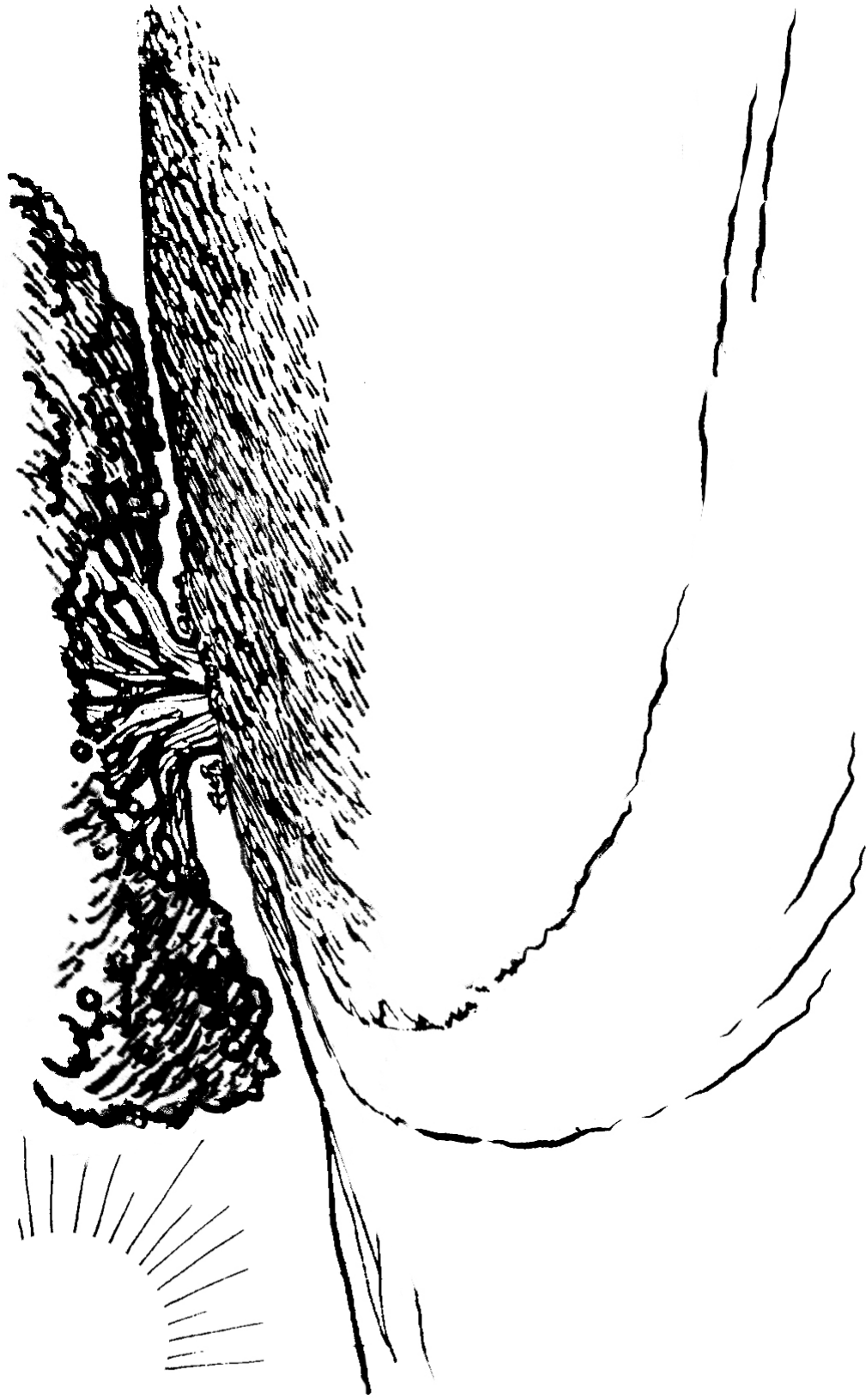
政府の権力者や僧侶らは、人々に及ぼす自分たちの権力が失墜するのを恐れて、神の、新しい信教に対抗するために立ち上がりました。彼らは、バブの信者らから遠く離れた、辺鄙なところにある砦にバブを監禁しました。



バブの信者は最も残酷な迫害に苦しめられました。彼らは襲撃され、鞭打たれ、投獄されました。何千人もの人が殺されましたが、それでも、神の大業は広まり続けました。



1850年、バブは殉教されました。政府の命令で、バブは信者の一人と共に中庭に吊るされ、兵士の連隊に撃たれたので
す。バブの人生はたった31年間でした。



バブは、「神の栄光」バハオラ到来の道を準備するためその生命を捧げました。バハオラの信教の旗は、地上の隅々にまで掲げられるよう運命づけられていました。

参考文献

※「夜明けを告げる人びと」のページ数は英語版のものです。

1. 「夜明けを告げる人びと」、*The Dawn-Breakers: Nabil's Narrative of the Early Days of the Bahá'í Revelation* (Wilmette: Bahá'í Publishing Trust, 1932, 2018 printing), pp. 75–76.
2. 同上(Ibid., p. 57.)
3. 同上(Ibid., p. 63.)
4. 同上(Ibid., p. 65.)
5. From a talk given on 23 May 1912, published in *The Promulgation of Universal Peace: Talks Delivered by 'Abdu'l-Bahá during His Visit to the United States and Canada in 1912* (Wilmette: Bahá'í Publishing, 2012), par. 2, p. 196.
6. 「夜明けを告げる人びと」(pp. 85–86.)
7. バブ、「夜明けを告げる人びと」にて引用(pp. 92–94.)
8. 「夜明けを告げる人びと」(pp. 142–43.)
9. 同上(Ibid., p. 146.)
10. From a talk given by 'Abdu'l-Bahá on 23 May 1912, published in *The Promulgation of Universal Peace*, par. 2, p. 196.
11. 「夜明けを告げる人びと」(pp. 148–50.)
12. 同上(Ibid., p. 198.)
13. 同上(Ibid., p. 212.)
14. 同上(Ibid., p. 213.)
15. 同上(Ibid., p. 249.)
16. バブ、「神よぎり給う」にてショーギ・エフェンディによって引用、*God Passes By* (Wilmette: Bahá'í Publishing Trust, 1974, 2019 printing), p. 34; また、「夜明けを告げる人びと」(pp. 315–16.)
17. アブドル・バハ、「質疑応答集」no. 8.1–3
18. 「夜明けを告げる人びと」(p. 507.)
19. 同上(Ibid., pp. 307–8.)
20. 同上(Ibid., p. 508.)
21. 同上(Ibid., p. 509.)
22. 同上(Ibid., p. 512.)
23. 同上(Ibid., p. 513.)
24. バブ、「神よぎり給う」にて引用、*God Passes By*, p. 84; また、「夜明けを告げる人びと」(p. 514.)
25. 「アブドル・バハの遺訓」

26. 「神よぎり給う」 *God Passes By*, pp. 90–91.
27. Bahá'u'lláh, cited by Shoghi Effendi, *The World Order of Bahá'u'lláh: Selected Letters* (Wilmette: Bahá'í Publishing Trust, 1991, 2012 printing), p. 124.
28. *Abdul Baha on Divine Philosophy* (Boston: The Tudor Press, 1918), pp. 51–52.
29. バブ、「バハイ 祈りの書」(2015年版), p.126
30. 同上, p.154



第3章

バハオラの生涯

目的

バハオラによって放出された精神的勢力の
重要性について理解を深め、
彼の生涯について語ることを学ぶ

セクション 1

バハオラはその名をミルザ・ホセイン・アリといい、1817年11月12日にペルシャの首都テヘランにお生まれになりました。父親のミルザ・ボゾルグはペルシャ国王の宮廷で高い地位にある貴族でした。バハオラは幼少時より偉大さの徴しるしを示し、抜きん出た才能と知識を表しておられました。バハオラは通常の学校に通うことはなく、家でいくらかの教えを受けられただけでした。アブドル・バハは、バハオラの幼少時について述べておられます。

「祝福された完全」、バハオラはペルシャの貴族の出身でした。幼い頃から親族や友人たちの間でひとときすぐわ優れておられました。彼らは、「この子は途方とほうもない力を持った子だ」と、口々に言いました。知恵、思考力においても、そして新しい知識の源としても、バハオラは年齢以上の能力を持ち、周囲の人より優れていました。バハオラを知る人は皆、子どもらしかぬその高い能力に驚き、よくこう口にしました。「このような子は長生きできないだろう」と。というのも、早熟な子は成人前たかいに他界すると信じられていたからです。¹

バハオラは御自身の子どもの頃の出来事を、書簡で語っておられます。それはバハオラが、テヘランで、ご自身の兄弟の一人の結婚披露宴披露宴に出席された時のことです。当時の習慣で、祝宴は7日間、昼夜続きました。その最後の日、有名な国王のことを題材にした人形劇が演じられました。人形劇は中庭に張られたテントの中で行われ、バハオラは中庭を見下ろす二階の部屋からその様子を眺めておられました。

バハオラはその劇の様子を次のように描写しておられます。まず、幾つかの小さな人形が舞台に現れ、国王が近づいていることをふれて回ります。次に何人かが掃除をしたり水打ちをしたりして、国王の到着に備えています。そして、町の触れ役が現れ、国王に会いたい者は集まるように告げて回り、これを受けて、人形たちが集まり、席につきました。最後に国王が現れました。王冠をかぶり、堂々と進み、玉座に着きます。すると突然、銃声が轟き、ラッパが鳴り、テントは煙でいっぱいになりました。

煙が消えると、玉座に座っている国王の周りに大臣や王子たち、州の役人たちが立ち並び、王に注目していました。そこで盗人が国王の前に連れてこられ、国王はその盗人に打ち首の刑を命じました。死刑執行人の長は直ちにその刑を執行しました。処刑が終わると、国王は大臣や役人たちとの会話に入りましたが、突然、前線の一つで反乱が勃発したという知らせが飛び込んできます。反乱を鎮圧するために、直ちに軍隊が送られました。数分後、後方で大砲の

音が響き、王の軍隊が反乱軍と戦っていることが示されました。

人形劇はこの調子で続きました。バハオラはその内容に大いに当惑させられました。劇が終わり、幕が下ろされると、テントの裏から箱を手にした男が出てきました。それを見ておられたバハオラは、「その箱は何ですか。この劇の意味することは何だったのですか」とお尋ねになりました。男は答えました。「このぜいたくな飾りや、これらの精巧な装置、国王や王子、大臣たち、彼らの華やかさと栄光、権力と力、あなたが見たすべては、今、この箱の中に納められているのです²」と答えました。男のこの答えはバハオラに深い印象を残し、後にこう述べておられます。

あの日以来、この「若者」の目には、世界の全ての装飾は、あの劇で見た光景と大差がないように映った。それらには、ケシ粒ほどの影響力も重要性も決してなかったし、これからもない。…

早晚、こうした上辺^{うわべ}だけの装飾、目に見える宝物、世俗の虚栄、整列した軍隊、装飾された衣服、尊大^{そんだい}で横柄^{おうへい}な者ら、すべてはあの箱の中に入れてられるように、墓穴^{ぼけつ}に移されるのである。洞察力を有する者の目には、この紛争、不和、虚栄の全ては子どもたちの遊びや娯楽のようなものでしかなく、このことはこれまでも、またこれからも永遠に変わらない。³

バハオラの幼少期のお話のもう一つは、バハオラの父親が見た夢の話です。その夢のなかでバハオラは、

無限に広がる大海を泳いでおられました。バハオラの体はきらきらと輝き、その光が海を照らしていました。海面上にはっきりと見えるバハオラの頭の回りには、長い、漆黒^{しつこく}の頭髪が四方に放射状に広がっており、波の上に大量に浮かんでいました。…彼の回りにはおびた^{おびた}だしい数の魚が集まり、そのそれぞれが髪の毛一本一本の先端にしっかりとつかま^{つかま}っていました。バハオラのお顔の輝きに魅了^{みりょう}された魚たちは、彼がいずれの方向に泳いでいこうとも付き従^つっていました。おびた^{おびた}だしい数の魚が彼の毛髪にしがみついているにもかかわらず、毛髪は一本たりとも抜け落ちることなく、バハオラ自身は何らの危害^{こうわい}も被^かってはおられませんでした。全く自由に、何ら抑制されることもなく、バハオラは海の中を動き回られ、魚たちはその後を追っていました。⁴

この夢に強い印象を受けたバハオラの父親は、夢の意味を読み取ることで有名な男にその夢について説明するよう求めました。呼ばれた男は、バハオラの将来の栄光を垣間見たかのように、次のように解説しました。

あなたが夢で見た広大な海は、他ならぬ、存在の世界を表わします。あなたの息子は独力で誰の手を借りることなく、その世界に君臨するに至ります。彼は思いのままにどこへなりとも進み、その行く手を阻むものはありません。彼の行進に抵抗する者はなく、また誰もその前進を邪魔することはできません。魚の大群は、彼がこの世の人々や同族の間に巻き起こす混乱を象徴しています。混乱は彼を包囲し、彼にしがみついでしょう。しかし、全能なる神の、絶え間ない保護により、これらの混乱で彼が傷つくことは決してなく、生命の海で一人孤独に浮かんでいても、身の安全が脅かされることはありません。⁵

1. バハオラのお名前は何ですか。 _____
2. バハオラはいつお生まれになりましたか。 _____
3. バハオラはどこでお生まれになりましたか。 _____
4. 今日、ペルシャはどのような名で知られていますか。 _____
5. バハオラの父親の名前は何ですか。 _____
6. バハオラの父親はどのような地位にありましたか。 _____

7. バハオラは子どもの頃、どのような特徴を現しておられましたか。 _____

8. バハオラはどのような教育を受けられましたか。 _____

9. バハオラが子どもの頃にご覧になった人形劇を説明してください。 _____

10. 劇で見たもの——国王、大臣、兵隊や王座—— これらすべてが一つの箱に納められていることを知り、バハオラはどう思われましたか。_____

11. その日、国王や大臣、兵隊、王座、すべてが箱の中に入ったことを見て、バハオラはこう宣言されました。「…。この _____ の _____ には、 _____ の全ての _____ は、あの劇で見た _____ と大差がないように見えた。それらには、 _____ ほどの _____ も _____ も _____ なかったし、これからもない。… 早晚こうした _____ だけの _____、 _____、 _____、 _____ した _____、 _____、 _____ で _____、すべてはあの箱の中に入れられるように、 _____ に移されるのである。 _____ を有する者の目には、この _____、 _____、 _____ の全ては _____ の _____ や _____ のようなものでしかなく、このことはこれまでも、またこれからも永遠に変わらない」

12. ミルザ・ボゾルグの見た夢を、あなたの言葉で説明してください。

13. この夢で、海はどのような意味がありますか。_____

14. この夢で、バハオラの周りに群がる魚の大群は何を意味しますか。_____

15. バハオラは海の中を束縛されることなく、自由に動き回っておられたことは何を意味しますか。_____

セクション 2

神の顕示者たちは天来の知識を授かっていて、学校や大学で知識を得る必要はありません。顕示者は教育者であり、教育される側ではないのです。バハオラは述べておられます。

この「^{しいた}虐げられし^{もの}者」はいかなる学校に通ったこともなく、また学識者たちの論争に立ち会ったこともない。わが命にかけて！我は自分自身の意思によって我を現したのではない。神が、神ご自身の選択で我を^{あらわ}顕されたのである。⁶

バハオラの天来の知識について、アブドル・バハは説明しておられます。

バハオラの御前に立つ誰もがその威力に^{きょうたん}驚嘆させられました。バハオラに近づいてきた学識者らはバハオラの知識に驚きましたが、バハオラは決して、学校に通われたことも、学識者らから知識を得られたこともありません。バハオラの友人や家族は^{みな}皆このことを証言しています。それにもかかわらず、バハオラの教えはこの時代の^{たましい}魂なのです。

太陽は自ら光を放射し、他の^{こうげん}光源から光を引き出してはいません。聖なる教育者たちは天来の光を^{たずさ}携えています。彼らは宇宙のすべてのことについて知識と理解を有し、世界は彼らから光を受け取り、芸術や科学は彼らが出現する時代が到来するたびに彼らを通じて再生されるのです。⁷

1. 次の文を完成させましょう。

- a. 太陽は_____光を放射し、_____から_____を引き出してはいません。
- b. 聖なる教育者たちは_____を携えています。
- c. 聖なる教育者たちは、宇宙のすべてのことについて_____と_____を有します。
- d. 世界は聖なる教育者たちから_____ます。
- e. 芸術や科学は、聖なる教育者たちを通じて_____のです。

2. あなたのグループで天来の知識ということの意味と、そのような知識と習得した知識との

違いについて話し合しましょう。

3. 上述の、バハオラの書物からの引用文を暗記しましょう。

セクション 3

バハオラは成長されるにつれ、その偉大さの徴しるしがますますはっきりと現れてきました。青年期を迎えられる頃には、その鋭い知性、優れた性格、寛大さや親切で有名でした。難解な問題を解き、最も複雑で深遠な質問に答えることができました。その非凡な能力にもかかわらず、バハオラは決して社会的地位や名声をお求めにはなりません。彼の父親が亡くなったとき、父の後を継いで王宮の地位に就くよう招かれましたが、バハオラはそれをお断りになりました。バハオラの関心は世俗的な地位や名誉にはなく、貧しい者の保護や、困窮者の擁護に向けられていたのです。18歳でアシエ・カヌームと結婚され、彼らの家はすべての人の避難所となりました。誰もがバハオラご夫妻の親切を受けることができたのです。

1844年5月23日、バブが、シラズでモラ・ホセインにご自分の使命を宣言された時、バハオラは27歳でした。その歴史的出来事からほんの三ヶ月後、バハオラはバブの書のいくつかを含む巻物をバブから受け取られました。バハオラは即座にバブの啓示の真実性を証言し、バブの教えを広めるために立ち上がられました。バブの巻物がどのようにバハオラの元に届けられたかは次のとおりです。

バブはご自身がお選びになった使徒を、18人の生ける文字として任命されると直ちに、彼らと呼び寄せ、この新しいメッセージを広め、共有するよう彼らに指示されました。バブは一人一人に特別な任務を与え、ある者にはその生まれ故郷を尽力する場所として割り当てられました。これら18人の祝福された魂の一人であるゴッドスは、バブのメッカへの巡礼に同行する者として選ばれました。メッカで、バブはご自身の使命を宣言されました。バブを最初に信じた者であるモラ・ホセインには、次のような指示を与えられました。「ヘジャズへの私の巡礼に同行する者として選ばれなかったことを嘆いてはならない。代わりに、我はそなたを、ヘジャズもシラズも及ばぬほどに卓越した神聖さの神秘を秘めた都市に送ろう」。⁸

バブはモラ・ホセインに巻物を託し、テヘランへ行くようにお命じになり、その都市に隠されている秘密の輝きを発見し、最愛なる御方の御前に達することができるよう神に嘆願せよ、と告げられました。

モラ・ホセインは自分の任務を果たすべく旅に出ました。いくつかの町を通過してテヘランに到着し、その神学校に宿をとりました。彼は、まず、その学校の校長にバブの教えを伝えたのですが、校長は横柄にもその教えを拒否しました。しかし、一人の若い学生がモラ・ホセイン

と校長の会話を耳にして、この旅人の言葉に深い感銘を受けたのです。その学生はモラ・ホセインが熱心に布告していたメッセージをもっと聞こうとして、夜中にモラ・ホセインを訪ねました。モラ・ホセインはその若者を迎え入れ、大いなる礼節と親切をもって話し、自分がこの学校に来た理由が今、分かったと言いました。校長は彼が持ってきたメッセージを尊大な態度で拒否したのです。モラ・ホセインは、「校長とは違い、この学生が真理を発見できるよう願う」⁹と言いました。

学生との会話で、モラ・ホセインがその学生に出身地を尋ねると、学生はマザンダラン州のヌール地方出身であると答えました。モラ・ホセインは、「今は亡きミルザ・ボゾルグの優れた人格、魅力、芸術的また知的完成度については誰もが知るところだが、彼の家族の中にその一族の素晴らしい伝統を継承する能力を持つことを立証した者はいるだろうか」¹⁰と尋ねました。

「はい、ミルザ・ボゾルグのご子息のお一人は、お父上を際立たせた、まさにあの優れた人格を備えておられることで高名です。その高潔な生き方、高い業績、その慈愛と寛大さで、その方は気高いお父上の血を継ぐ立派な者であることを立証しています」と学生が答えると、モラ・ホセインは続けて、「その方の職業は何ですか」「その方の地位や役職は？」と尋ねました。学生は、「悲しみに沈む人々を励まし、空腹の人々に食事を与えておられます」、「困窮者や見知らぬ人々を助ける以外には地位も役職もお持ちではありません」と述べ、「その方のお名前は？」という問いに、「ホセイン・アリ」¹¹と答えました。

それらの答えにモラ・ホセインの喜びはますます深まり、さらに、「そのお方は日々をどう過ごしておられますか？」と尋ねました。「森を散歩し、田舎の美を楽しんでおられます」「その方の年齢は？」「28歳です」。モラ・ホセインが満足と喜びに輝く顔で、「あなたはその方とよく会うのでしょうか」と問うと、若者は、「はい、その方のお宅を頻繁に訪ねます」と答えました。「その方に届けたいものがあるのですが、私に代わって、届けてくれませんか」、「喜んでお届けいたします」。そこで、モラ・ホセインは布に包まれた巻物をその学生に託し、翌日の夜明けにそれをバハオラのもとに届けるよう頼み、「もしその方が恐れ多くもお返事をくださったなら、私に知らせてくださいませんか」。¹²と付け加えました。学生は巻物を手に、夜が明けるとすぐに、モラ・ホセインの求めを遂行するために出て行きました。

若者がバハオラの家近くまで行くと、門のところにバハオラの弟ミルザ・ムサが立っていました。訪問の理由を説明すると、直ちにバハオラのところに案内され、その巻物はバハオラの前に広げられました。バハオラは彼らに着席するよう勧めて、巻物を開いてその文節のいくつかを声を上げて読み始められました。バハオラは1ページを読んだだけで弟に顔を向け、言われました。「ムサ、お前はこの書をどう思うか。誠に我は言う、コーランを信じその聖なる源を認める者が、魂を揺るがすこれらの言葉に、コーランと同じ再生の力が付与されているということ

を認めるのに一瞬たりともためらうなら、その者は明らかに判断を誤り、正義の道を遠く踏み外した者である」と。¹³ 別れ際にバハオラは、紅茶の包みと角砂糖を若者に持たせ、ご自身の感謝と愛の徴として、モラ・ホセインに届けるよう言われました。

幸せに満ちてバハオラの家を後にした若者は、モラ・ホセインのもとへと急ぎ、バハオラからの土産を渡し、その伝言を伝えました。それらを受け取ったモラ・ホセインの喜びは言葉に尽くせないものでした。モラ・ホセインは平伏して土産を受け取り、それに何度も接吻してから学生を抱擁し、彼の目に接吻しながら言いました。「わが親愛なる友よ。あなたが私の心に喜びをもたらしたように、神があなたに永遠の至福を与え、あなたの心を不朽の歓喜で満たし給うようお祈りします」。¹⁴ 若者はモラ・ホセインの行動に非常に戸惑いました。この二人はどのような絆で結ばれているのだろう、彼らの親交の源は何なのか、大したものでもない、バハオラからの土産にモラ・ホセインはなぜこれほどまで喜ぶのか、若者は、解くことのできない謎に直面しました。

数日後、モラ・ホセインはイランの北東部の州、コラサンに向かって旅立ちましたが、別れ際に、ヌールからきたその若い学生に言い残しました。「あなたが見聞きしたことを誰にも言っはなりません。この秘密はあなたの胸の内にしまっておき、誰にも彼の名を明かしてはなりません。なぜなら、彼の地位を妬む人々が彼に危害を加えようと立ち上がるからです。あなたが瞑想するとき、全能なる御方が彼を保護し給い、彼を通して、虐げられた人々が高められ、貧者が豊かにされ、落ちぶれた人々が救われるように祈ってください。物事の秘密は我々の目からは隠されています。新しい時代が来たことをすべての人々に呼びかけ、この聖なるメッセージを伝えることが私たちの務めです。この都市で多くの人がこの道に自らの血を流すでしょう。その血は神の木に水を与え、その木を繁茂させ、全人類を庇護するでしょう」¹⁵

1. 18名の「生ける文字」を任命した後、バブは何をされましたか。_____

2. バブは誰をメッカへの巡礼の伴として任命されましたか。_____

3. ヘジャズは、どの国を指しますか。_____

4. バブの最初の信者モラ・ホセインに対し、バブは次の言葉を贈られました。

「_____への_____に同行する者として選ばれなかったことを
_____はならない。代わりに、我はそなたを、_____も_____も_____ほどに_____神聖さの_____

を秘めた都市に送ろう」。

5. バブはモラ・ホセインに何を渡されましたか。_____

6. テヘランに到着したモラ・ホセインは、ある神学校に宿をとりました。その学校の校長はバブの教えに、どう反応しましたか。_____

7. 神はなぜ、モラ・ホセインをその神学校に導かれたのでしょうか。_____

8. バブのメッセージに応えた学生は、どこ出身でしたか。_____

9. バハオラのご先祖の家は、どこにありましたか。_____

10. モラ・ホセインの問いに答えた、ヌール出身の学生の説明の中から、以下の問いの答えを探してみましょう。

- バハオラの父親はどのような人格で知られていましたか。_____

- バハオラの関心は何にありましたか。_____

- バハオラはどのような地位や役職にありましたか。_____

- バハオラはどのように日々を過ごされてきましたか。_____

11. モラ・ホセインはヌール出身の学生に何を頼みましたか。_____

12. バブから送られた巻物を1ページ読んで、バハオラはおっしゃいました。「誠に我は言う、_____を信じ、その_____を認める者が、魂を揺るがすこれらの_____にコーランと同じ_____が付与されているということを認めるのに_____とも_____なら、その者は明らかに_____を_____、_____の道を遠く_____者であると」。

13. モラ・ホセインは、バハオラからの贈り物をどのように受け取りましたか。_____

14. その学生は、バハオラからの贈り物を受け取るモラ・ホセインの行動の何に戸惑ったのでしょうか。_____

15. モラ・ホセインがヌール出身の学生との別れ際に言ったことを、あなたの言葉で書いてください。

セクション4

バブは、バハオラを「神があらわし給う御方」と呼ばれました。バブの最も聖なる書であるバヤンを含め、バブの書物には「神があらわし給う御方」を賞賛する無数の言及があります。下に、バブの書物からのいくつかの引用文を挙げます。これらの言葉はバハオラの地位と、一對の顕示者の関係を私たちに垣間見せてくれます。

汝このことを確信せよ。楽園らくえんとは、神が顕し給う御方を認め、その御方に従うことであり、炎とは、その御方に従うことができない、あるいは、その御方のお喜びみづかに自らゆだを委ねることができない者らの仲間であるということである。¹⁶

…汝、神以外のことを耳にすることなきよう自らの耳じょうかを浄化せよ。神以外の何ものをも見ることなきよう自らの目を浄化せよ。神以外の何ものをも意識することなきよう自らの良心を浄化せよ。神以外の何ものをも宣言することなきよう自らの舌を浄化せよ。神以外の言葉を書くことなきよう自らの手を浄化せよ。神以外の何ものをも理解することなきよう自らの知識を浄化せよ。神以外の何ものをも望むことなきよう自らの心を浄化せよ。汝が、純粹なる愛の楽園はぐくに育まれるよう、そしてあるいは、彼のとうと尊とうとび給う純潔そうじやくを自らの装飾せいやくとし、彼に背を向け彼を支持することを拒んだこぼあらゆる人々から聖別せいべつされた姿で、神が顕し給う御方の御前に至ることができるよう、自らのすべての行為と自らが従事するあらゆることを浄化せよ。¹⁷

ことことあ
言挙げよ、まことに神が顕し給う御方のお喜びは、神のお喜びであり、

神が顕し給う御方の忌み給うものは神の忌み給うものに他ならない。^い18

1. 「神が顕し給う御方」は誰を指す言葉ですか。_____
2. バブはご自分の信者に対し、「神が顕し給う御方」に受け入れられるよう自らを準備せよと指示されました。具体的にどのような指示を与えましたか。

3. 前記の引用文から、一つを選んで暗記しましょう。

セクション5

バブの啓示の真実性を証言された瞬間から、バハオラはそれを宣布する^{せんぷ}ために立ち上がられました。バハオラの最初の旅の目的地はご自分の故郷であるマザンダラン州のヌール地方でした。バハオラは父親の先祖代々の家があるタコール村を訪問されたのです。

バハオラがタコールを訪問されているという知らせは、瞬く間^{またま}にその地の全域に広まりました。地元の多くの役人や著名人が、国王や宮廷のこと、国政に関するニュースを聞こうと、挨拶^かを兼ねてバハオラに会いに来ました。ところがバハオラは彼らの質問にはほとんど関心を示さず、何を尋ねられても、すぐに話題を変え、バブの宣言されたメッセージを非常に雄弁に解説され始めました。バハオラの言葉はとても説得力があり、その主張は極めてまっとうであったので皆が驚かされました。バハオラの話聞いた人たちは、バハオラのような社会的地位の高い人が、一般には僧侶や宗教的指導者だけしか関心を示めさないことにそのように強い関心を持つことを不思議に思いました。バハオラの熱意と深い知識は、すぐさま、多くの著名人や彼ご自身の家族を含む大勢の人をバブの大業に引き付けました。バハオラに会った人は誰一

人として、バハオラの甘美な言葉の影響に抵抗、あるいは、バハオラの主張の真実性に異論を唱えることはできませんでした。ただし、バハオラの叔父は例外でした。

その叔父は、バハオラとバハオラが携えて来たメッセージの真実性の信用を傷つけようとあらゆる策を講じました。しかし、自分にはそうする力がないと悟った彼は、有名なイスラムの聖職者のもとへ行き、援助を懇願しました。彼は、バハオラがヌール地方にやって来て、僧侶でもないのに宗教的なことについて語っていると訴えました。そして、バハオラに会った者はことごとくバハオラの魔力に惑わされ、バハオラという言葉の力に圧倒されると、聖職者に警告しました。「彼は魔術師かもしれない。あるいは、飲む者皆を自らの虜にするような、何か不思議な薬を混ぜた紅茶を皆に振る舞っているのかもしれない」。¹⁹

バハオラには歯が立たないと分かっていた聖職者は、叔父の要望を無視し続けました。しかし、バブのメッセージは野火のごとくヌール地方に広まっていきました。この状況に危機感を覚えた弟子たちに何らかの対策を講じるよう説得された聖職者はついに決断し、自分の最も優秀な弟子二人をバハオラのもとに送りました。聖職者は彼らに、バハオラの広めているメッセージの本質を調べてくるよう指示したのです。以下は、この二人の弟子がバハオラに会ったときのお話です。

タコール村に着いた聖職者の代理である二人は、バハオラはすでに別邸に向けて発たれたと知らされ、バハオラの後を追うことにしました。そして、バハオラがコーランの章の一つについて解説しておられるところにたどり着いた二人は、座して、バハオラの説明に耳を傾けました。二人はバハオラの説明の雄弁さと並外れた話しぶりに深い感銘を受けました。代理の一人はたまたま席を立ち、部屋の後ろの方に歩いて行き、敬意を表し、従順な態度でドアのそばにじっと立っていました。目に涙をため、身を震わせながら連れの者に言いました。「私にはバハオラに質問を向ける力などありません。準備してきた質問は、私の記憶から突然消えてしまったのです。あなたが質問をしたいのならそのようにしてください、もしくは、先生のもとに帰るなら私のこの状態を先生に教えてください。私は二度と先生のもとには帰らないと伝えてください。この場を離れることは最早できません」。しかし、もう一人も同じようにバハオラという言葉に強く心を打たれたため、友人の例に倣いました。「私は、先生を師と認めることはもうできません」というのが彼の答えでした。「今この瞬間、私は神に誓います。私の生涯の残された日々を、私の真の、そして唯一の師であるバハオラへの奉仕に捧げます」。²⁰

その聖職者の弟子二人が改宗したという知らせはヌール地方全域に急速に広まりました。高官、州の役人、宗教的指導者、商人や農夫たちが、バハオラの面前に群がりました。何百もの人々がバブの大業の旗のもとに導かれました。しかし、バハオラ以外には誰も、間もなく残酷な迫害が始まり、その迫害は生まれたばかりの若木の多くを根こそぎ引き抜くものとなるということ

を知らませんでした。

1. バブの啓示の真実性を証言されたバハオラは、何をなさいましたか。_____

2. バハオラはヌール地方の住民にどのように迎え入れられましたか。_____

3. どうして、ある人々は、彼らの質問に対するバハオラのお答えに驚かされたのでしょうか。

4. バハオラがバブの大業を広め始めたとき、バハオラの叔父はどうしましたか。

5. イスラムの高名な聖職者はなぜ、バハオラの叔父の嘆願を無視したのでしょうか。_____

6. 弟子たちの説得に屈したその聖職者は、結局どうしましたか。_____

7. バハオラに会った、その聖職者の代理として来た二人の弟子の話を、あなたの言葉で説明してください。

8. その二人の弟子の改宗は、ヌールでのバブの大業の進展にどのような影響を及ぼしましたか。_____

セクション 6

バハオラは、ご自分がヌール地方で実施されたことと同じことを私たちがするよう期待しておられます。つまり、立ち上がって、神の大業を広めることです。バブの啓示を受け入れた後、バハオラご自身が最初にされたことは、立ち上がり、何百もの人にそのメッセージを広めることでした。このことを思い起こしながら、次の言葉を学習し、熟考しましょう。

おお、神の道を旅するものよ。神の恩寵おんちようの大海より汝の分け前あずかに与り、その深海に秘められたものを逸いつするな。その財宝を享受する人々の一員となれ。この大海の雫しずくの一滴は、それが天と地にある万人ばんにんに注がれるなら、それだけで彼らを神のめぐみにと富ますに充分なのである。神は全能者におわし、すべてを知り、すべてに賢き御方におわす。無欲なる手も

て、この大海より生命を与える水を汲み上げ、全創造物に散水せよ。そうすることにより万物は、人間が造り上げたあらゆる限界より清められ、この栄光に輝く神聖なる場所に近づくことができよう。この場所こそは神の強大なる座である。

汝、たったひとりでこの事業に従事していても、それを決して嘆いてはならない。神をして、汝を完全に満ち足らすものとなせ。神の聖霊と親密に語らい、感謝する者であれ。天と地にあるすべての者に汝の主の大業を宣言せよ。汝の呼びかけに応える者があれば、神の聖霊が汝に与えた主なる神の英知の真珠を披露せよ。そして、まことに信じる者であれ。逆に、汝の提供するものを拒む者があれば、退却し、汝の信頼と確信を主なる汝の神、諸々の世の主^{もろもろ}に置き。 ^{なんじ} ^{なげ} ^{せいれい} ^{しゅ} ^{しんじゅ ひろう} ^{もろもろ} 21

1. 次の文章を完成させましょう。

- a. バハオラは私たちに対し、_____より分け前に与よう求めておられる。
- b. 私たちは、_____逸してはなりません。
- c. 神の恩寵の一粟は、もしそれが天と地にあるすべてのものに注がれるならば、それだけで_____に充分なのです。
- d. 私たちは_____もて、_____を汲み上げ、_____に散水するよう求めておられます。
- e. 私たちは_____、それを決して嘆くべきではありません。
- f. 私たちは_____と親密に語らい、_____でなければなりません。
- g. 私たちは_____に_____を宣言しなけ

ればなりません。

- h. 私たちの呼びかけに応える人があれば、バハオラは私たちに_____が
_____するよう求めておられます。
- i. もし私たちが提供するものを拒む人があれば、私たちは_____、
_____と_____べきです。

セクション 7

神の啓示は累進的るいしんてきです。神は人類が一つの段階から次の段階に前進するにつれ、時代ごとに顕示者を送り、神のご意思を段階的に示されます。各顕示者は特定の本質的真実を確認しつつ、人類の能力に相応しい一連の新しい法や法令をもたらす一方で、以前の顕示者のもたらした法の内、もはや不要となったものを廃棄されます。しかしながら、人々にとって過去を捨てることは難しく、しばしば、新たな顕示者の最も真摯しんしな弟子たちでさえ、最初はその啓示の意義を完全に把握することができません。彼らは何百年間も、何世代にわたって従ってきた宗教的しきたりや習慣にしがみつき続けるのです。彼らは、時を経てようやく、新しい顕示者は進化の次の段階の人類のために新しい法を制定されたということを理解するようになります。

バブの啓示の場合も同様でした。バブはイスラムの人たちの中に出現されました。彼らは、預言者ムハンマドの教えは世界が終わるまで「一言」たりとも変えられることはない、と信じていたのです。ですから、バブはご自分の教えのすべてを徐々に顕されました。バブの啓示の時代の初期の頃、イスラムの法に変更はありませんでした。しかし、周知のように、後にバブは、マーカーの砦に幽閉されていた間に、一連の新しい法をペルシャ語のバヤンに顕されました。いまや、バブの信者たちは過去と決別し、神の顕示者としてのバブの真の地位を宣布する決意を迫られたのです。これがバダシュトの大会で行われたことでした。

バダシュトはイラン北東部の、テヘランから少し離れたところにある村です。バダシュトでの大会は 1848 年 7 月に開かれ、バブの主だった信者のうちの 81 名が集結しました。主要な参加者は、バハオラ、ゴッドス、そしてタヘレでした。

すでに、バハオラは、その知識と英知を認め、彼に導きを求めてくるバビたちに大いに敬われていましたが、その大会で彼の偉大さと威厳はさらに明らかとなりました。まさに、そこで彼は決定的な役割を果たされたのです。彼は大会会場の庭園を借り、集まった人たち全員を 22 日間、手厚くもてなされました。毎日のように、バハオラの著された書簡が皆の前で朗読されま

した。バハオラは出席者の一人一人に新しい名前を与えられました。タヘレやゴッドスという、歴史に残る称号はこのときバハオラが彼らに与えられたものです。タヘレとは「純粋なる者」、ゴッドスとは「聖なる者」という意味です。バハオラご自分は、この時以来、「バハ」という名前で見られるようになりました。後にバブは、バダシュトの大会の出席者一人一人に特別の書簡を著されましたが、その書簡はバダシュトの大会でバハオラから与えられた名前呼びかけられました。

大会期間中のある日、バハオラが病気で伏せておられました。参加者はみな、彼の前に集まりました。そのとき突然、純粋と純潔の真髄として認められていたタヘレがヴェールを被らずに皆の前に現れました。イランのイスラム教徒の信仰では、すべての女性は公の場ではヴェールを被らねばなりません。そこにいたバビたちの何人かは、タヘレがこの行為によって自分自身と、生まれたばかりの信教を汚したと感じました。ゴッドスは怒りを露わにしました。しかし、確固とし、喜びに満ちたタヘレは仲間たちに、過去、すなわち、その宗教的教義、その習慣や儀式を断ち切るよう、雄弁に呼びかけました。ゴッドスとタヘレの間に生じた緊張は、バハオラの仲介で緩和されました。バブの弟子たちの数名はタヘレのこの呼びかけの結果、信教を去りましたが、大多数は確固として受け止め、新たな熱意に満たされました。バハオラはバダシュトの大会を、新時代の幕開けを祝う絶好の機会にされたのです。そして、タヘレはその勇敢な行動を通して、古い教えの終焉と新たな信教の始まりを告げるファンファーレを鳴らしたのです。

バダシュトの大会は、バビ教の発展のなかで最も激動した時期の始まりでもありました。大会の直後から、バブの信者たちに対する迫害は前例がないほどの厳しさに達し、多くの者が殉教しました。あたかも、この大会は送別のための集いであり、そこから彼らは偉大な英雄的行いをなし、かなたの精神的な領域で再会するために出陣したのです。

大会の参加者たちは、共にマザンダラン州に向かいました。しかし、村の外で休憩している時、彼らの本当の意図を知らなかった村人たちの襲撃を受けました。バビたちはやむを得ず、分散して各地に逃げましたが、バハオラはそのまま、マザンダラン州のヌールに向かわれました。

間もなく、バダシュトの大会の知らせは首都のテヘランに伝えられ、国王と大臣たちはそこで起こったことや、そこでのバハオラの役割について気づきました。病気で死期の迫っていた国王に、総理大臣は、バハオラを逮捕するよう進言しました。その結果、バハオラを逮捕し、テヘランに連行するようという命令がマザンダラン州の役人の一人に届けられました。偶然にも、その指示は、その当の役人が、敬愛していたバハオラのために歓迎会を催すことにしていた日の前日に届いたのです。役人はとても悩んだ末、逮捕状のことは誰にも言わないことにしました。翌日、国王死去の知らせがマザンダラン州に届きました。こうして、逮捕の指示はその効力を失いました。

1. バダシュトの大会の目的は何でしたか。 _____

2. バダシュトの大会はいつ開催されましたか。 _____

3. 大会は何日間続きましたか。 _____

4. バブの信者何名がこの大会に参加しましたか。 _____

5. 主要な参加者は誰でしたか。 _____

6. 参加者の中で最も重要な人物は誰でしたか。 _____

7. タヘレという称号の意味は何ですか。 _____

8. ゴッドスという称号の意味は何ですか。 _____

9. タヘレがヴェールを被らずに現れたときの状況を自分の言葉で説明してください。

10. 大会におけるタヘレの勇敢な行為は何を象徴するものでしたか。 _____

11. バダシュト大会の知らせを受けた政府はどのように対応しましたか。 _____

12. 政府が、バハオラ逮捕の指示を発してからの上出来事を説明してください。

セクション 8

バダシュトの大会は、古いものを捨て、新しいものを取り入れる分岐点となりました。以下のアブドル・バハの書物からの引用文は、時代を経て、神の宗教がどのように更新されるべきかを説明しています。バダシュトの大会について学んだことに照らして、この引用文の意味について考えてみましょう。

真実の種から、宗教は大木に成長し、枝葉を茂らせ、花を咲かせ、果実を実らせます。時が経ち、その大木は朽ち果て、葉や花は枯れて消滅してしまいます。老木はもはや実を結びません。この老木にしがみつき、その生命力は衰えていない、その果実は類を見ない、その存在は永遠である、と主張することは理にかなっていません。そこから新しい木が成長し、新鮮な聖なる果実が世界に生気を蘇らせるためには、再度、人々の心に真実の種を蒔かなければなりません。これにより、現在、宗教が互いに異なる国々や民族は一体となり、模倣が放棄され、普遍的な兄弟愛そのものが現実に確立されるでしょう。人類の間の戦いや闘争は終わり、皆が神の僕として融和するでしょう。なぜなら、皆が神の摂理と慈悲の木陰に守られているからです。神は万人に優しく、皆に

わけ隔てなく恩恵を与えられます。キリストが宣言されたように、神は「正しい者にも、邪な者にも雨を降り注ぎ給う」。つまり、神の慈悲は普遍的なものです。全人類が神の愛と寵愛の保護のもとにあり、神は全人類に導きと進歩の道を示されたのです。²²

セクション 9

1848年に王位に就いた国王ナセルディン・シャーは、その父である前の国王よりもはるかに冷酷でした。即位直後から、バビ教徒に対する迫害は激化しました。バブは1850年の7月、タブリーズで殉教されました。何千もの同胞の悲劇的な死を目撃した、抑圧された信者らは、今や、彼らが心から慕う親愛なる御方をも失ってしまったのです。彼らの多くは、長年自分たちに浴びせられている苦しみの責任は国王にあると思っていました。これらの感情にもかかわらず、彼らは政府や国民の幸いを願っていました。彼らのエネルギーは善行と、説得力ある議論の力を通して新しい信教を広めることに向けられました。しかし、激しい怒りに駆られ、危険な考えを抱く小さなグループがありました。絶望に打ちひしがれた、愚かな、その数人は、圧政を根本から攻撃することによりバビ共同体の運命を変えることができると信じたのです。そして、国王を暗殺する計画を立て始めました。

このグループの意図は、そのリーダーの一人によってバハオラに伝えられました。バハオラは彼らの計画を捨てるべきであると、最も明白な言葉で忠告されました。そして、そのような行為は既に悲しみに暮れているバブの信者たちに新たな災いをもたらすであろうと警告されました。しかし、陰謀を企てた者たちは恨みを抱き、復讐の炎を心に強く燃やしていたため、バハオラの忠告でさえも彼らを止めることができませんでした。彼らは、純粋で無私の英雄的行為によって飾られるバビ教の歴史に、汚点として永遠に残る行為に走ってしまったのです。

1852年8月15日、国王はテヘラン郊外の夏の別荘で朝の乗馬を楽しんでいました。護衛たちが国王の数歩前を歩き、のどかな時が流れていたその時、突然、国王への陳情者のふりをして道端で待っていた若い男が、国王を殺害しようしました。愚かしくも、彼が使った銃は小銃弾を発射しただけで、目的達成にはまったく不十分でした。国王は軽い傷を負っただけでしたが、国王の命が狙われたことへの怒りは、信教の敵たちに、バビたちに対して想像を絶する残虐行為を引き起こす絶好の機会を与えてしまったのです。

この不運の若者はその場で殺され、遺体はロバの尻尾に縛られてテヘランへの道程を引きずられ、そこで半分に切断されて大衆の前に吊るされました。溶かした鉛が彼の共犯者の喉に注がれました。——これは、容赦のない拷問によっても仲間の名を明かすことをその人物が

拒否した後のことでした。もう一人の仲間は裸にされ、身体に開けられた穴にロウソクを立て、それに火を灯した状態で、彼に罵声を浴びせ、悪態をつく群衆の前を引き回されました。

その後起こったことは言葉では言い表せません。政府や聖職者、そして、それらを支持する無知な群衆がバビの抹殺に向けて立ち上がりました。都市に通じる門は閉ざされ、尋問なしに出入りすることは許されませんでした。彼らは家々を回り、バビを探して捕らえ、これらのページに書き綴るにはあまりに陰惨な残酷な方法で殺害しました。

国王の暗殺未遂事件があった日、バハオラはテヘラン近くの村にある総理大臣の兄弟の家に招かれていました。事件はただちにバハオラに伝えられ、嵐が去るまで身を潜めるよう忠告されました。国王の母親は、息子の生命が狙われたことについてバハオラを非難し、バハオラの逮捕を要求しました。しかし、バハオラは身を隠すことを拒否し、逆に、次の日、馬に乗って、国王のいる本陣に向かわれました。バハオラがこちらに向かっていると聞かされて、国王や廷臣たちは驚きました。このような酷い犯罪で告発されている者が、逃げるところか、これほどの自信を持って危険に向かって乗り込んでくるとは！国王は直ちにバハオラを逮捕するよう命じました。総理大臣の家にバハオラを避難させようとした何人かの友らの努力は失敗に終わりました。バハオラは首都から30キロばかり離れた、シェミランの村で逮捕され、鎖につながれました。

真夏の炎天下、バハオラは裸足でシェミランからテヘランまで連行されました。バハオラは国王の敵であると聞かされた群衆は、道中ずっと、バハオラに罵声を浴びせました。バハオラに石を投げつけようとした一人の老婆の物語は、この日の群衆の狂気を表し、最も悲痛な災難に直面されたバハオラの心にあった愛を示しています。

バハオラが投獄される予定の地下牢の近くまで来られたとき、弱々しい老婆が石を手にして、群衆をかき分けて出てきました。その表情は老婆とは思えないような決意と狂信が見られました。老婆は怒りで全身を震わせながら、石を握った手を高くかざして進み出て来ました。彼女はバハオラを連行する護衛たちを追いながら訴えました。「お願いです。この石をその顔に投げつけるチャンスを私にください」。駆け寄って来た老婆の姿を見て、バハオラは護衛たちに言われました。「この老婆を失望させてはならない。本人が、神の目から見て称賛されると思っているこの行いを拒んではならない」²³

1. 1848年に即位したペルシャの国王の名前は? _____

2. ナセルディン・シャーの即位はバビの扱いにどのような影響を及ぼしましたか。 _____

3. バブの殉教後、バビたちはどういう思いでいましたか。_____

4. バビの中で、国王暗殺を決意したグループの心の状態はどのようなものでしたか。_____

5. 彼らの計画を知らされたバハオラは、そのグループのリーダーにどう言われましたか。

6. 国王の生命を狙った事件はいつ起こりましたか。_____

7. 国王を暗殺しようとしたグループはどうなりましたか。_____

8. 国王暗殺未遂事件は、バビ共同体にどのような影響をもたらしましたか。_____

9. 国王暗殺未遂事件の知らせが入ったとき、バハオラはどこにおられましたか。_____

10. その知らせを受けて、バハオラはどうされましたか。_____

11. バハオラはどの村で逮捕されましたか。_____

12. バハオラは敵の前で決して無力ではなかったにもかかわらず、逮捕後の危険を十分知りながら、何故、逮捕されるままになったのでしょうか。_____

13. バハオラはどのような状態でシェミランからテヘランに送られましたか。_____

14. バハオラが護衛に伴われて牢獄へ向かっておられた時に、バハオラに石を投げつけようとした老婆の話を、あなた自身の言葉で説明してください。この話は何を示していますか。

セクション 10

その生涯を通じて、悪意に満ちた敵に囲まれながらも、バハオラは決して身を隠すことも、ご自分を守ろうとすることもされませんでした。逆に、いつも人々の中であって、平静な態度で自分に敵対する人々の攻撃に耐えられました。彼らはバハオラの輝きを消滅させようと決意したのですが、その試みが達成されることはなく、バハオラの光輝は日に日に増していきました。

この「^{しいた}虐げられた者」は、ほんの一瞬でも身を隠したことはなかった。むしろ「彼」は常に確固とし、全ての人々の目にあらわであった。我は決して退却したことはなかったし、逃げようとするつもりもない。まことに、愚かな人々こそ、わが面前から逃げ出すのである。…神に^{ほま}誉れあれ！この「^{しいた}虐げられた者」が「使者」とされている「大業」は、天のように高くそびえ、太陽のようにまばゆく輝く。隠れることなどは、この地位にある者にはありえないし、恐れや沈黙の余地もない。²⁴

^{さえぎ}遮られず、隠れることなく、この^{しいた}虐げられた者は、科学や技術や知識、幸福や繁栄や富の扉の^{じょう}錠を開ける^{かぎ}鍵となるものを、世界の全ての民族の目の前で常に宣言してきた。压制者たちが与えた^{ぎやくたい}虐待は、最も崇高なるペンの鋭い声を黙らせることはできなかつたし、強情な人々や扇動的な人々の疑惑は、彼が最も^{そうごん}荘厳なる言葉を啓示することを妨げることもできなかつた。²⁵

バハオラの大業を擁護するために働くとき、困難に直面したならどう行動すべきか、あなた自身の言葉で説明してください。_____

セクション 11

1852年のあの悲劇の日、バハオラが連行された牢獄はシア・チャールと呼ばれる所で、「暗黒の穴」という意味です。もともとはテヘランの一つの公衆浴場のための貯水所であったその場所は、バハオラの時代には極悪人を入れる地下牢として使われていました。

監獄にたどり着くためには、真っ暗な通路を進み、それから階段を地下三階まで降りなければなりません。暗闇に包まれ、氷のように冷たく、床は汚物で覆われ、蛆虫が這っていました。バハオラご自身が投獄されたときのその恐ろしい状況を説明しておられます。

到着すると、真っ暗な廊下にまず案内され、そこから急な階段を地下三階分降りたところが、我にあてがわれた監禁の場であった。牢獄は暗闇に包まれていた。日々を共にすることになる150人近くの囚人は、泥棒、殺人犯、追い剥ぎの類であった。その混雑にもかかわらず、我が入ってきた通路以外に出口はなかった。いかなるペンもその場所について描写することはできないし、いかなる舌もその悪臭を語ることはできない。ほとんどの囚人は衣類も、寝具も持っていなかった。あの悪臭に包まれた暗い場所で我に何が起こったかは神のみぞ知る。²⁶

国王はこれらの残酷な条件のもとに、バハオラと数名のバビを投獄したのです。バハオラの足には足かせがつけられ、首には50キロもある重い鎖が巻かれました。最初の三日三晩、バハオラたちには食べ物も飲み物も与えられませんでした。バハオラの家族は食事を準備し、バ

ハオラに届けてくれるよう看守に頼みました。看守は、最初はそれを拒否しましたが、次第に家族の願いを聞き入れるようになりました。しかし、その食物がバハオラに届いたのかどうか、あるいは、他の囚人たちが空腹であるのにバハオラがその食べ物を食べることを承諾されたかどうかは誰にも定かではありません。

バハオラと、彼と共に連行された仲間は、全員、足かせと首かせで縛られ、同じ房で、二列になつて互に向かい合うように座られました。バハオラは彼らにある聖句を教え、彼らは毎晩その聖句を熱心に唱えました。一方が、「神は我を満ち足らしめん。神こそはすべてを満ち足らしめ給う」と唱えると、もう一方が「信頼する者は神に信頼を置け」と返唱しました。早朝に響く、幸せに満ちた彼らの歌声は力強く、シア・チャールからさほど遠くない宮廷にいる国王の耳にも届くほどでした。「あれは何の音だ」と尋ねた国王は、「バビたちが牢獄で唱えている聖歌であります」²⁷ との返答に、黙ってしまいました。

毎日、看守が監房に降りてきて、バビの一人の名前を呼びました。呼び出された者は大喜びでそれに応え、看守に連れられて処刑台に向かったのです。自分の鎖が外されると踊り上がって、喜びにあふれる態度でバハオラの元に行き、バハオラを抱きしめました。それから、他の囚人たちを一人一人抱擁し、希望と歓喜に満ちた心で、自分を待ち受ける死に向かいました。それらの英雄的な魂の殉教が終わる度に、バハオラを敬うようになっていたその処刑人はバハオラの元に来て、殉教者の死の状況と、与えられた痛みに最後まで喜びを持って耐えた様子を語るのです。

1. バハオラが入られた牢獄の名は何ですか。 _____

2. シア・チャールとはどういう意味ですか。 _____

3. シア・チャールは、もともと何に使われていましたか。 _____

4. シア・チャールの状況を説明してください。 _____

5. シア・チャールに到着するとバハオラの首には何がかけられましたか。_____

6. バハオラの足には何がつけられましたか。_____

7. バハオラと他の信者たちは同じ房ぼうにどのように配置されていましたか。_____

8. バハオラは同じ房の他の信者たちに何を教えましたか。_____

9. 一つの列のバビたちは夜中、何と唱えましたか。_____

10. 一方の列は何と唱えましたか。_____

11. 彼らの唱える声は国王にどのように影響しましたか。_____

12. バハオラと他の信者たちが監禁されている房に看守が来て、毎日、彼らの一人の名前を呼びました。それから後に起こったことを、あなたの言葉で書いてください。

13. 彼らの監禁状態の過酷さにもかかわらず、なぜバビたちは喜びに満ちていたのでしょうか。_____

セクション 12

バハイの歴史を学ぶ人皆が、必ず理解しなければならない重要な概念が一つあります。つまり、神の大業は危機と勝利を繰り返しながら前進するということです。無知、不正、残忍、狂信といったような勢力が大業を襲い、危機を引き起こすときはいつでも、大業に内在する力の対応する分量が解き放たれ、その勢力を打ち負かし、大業を新しい勝利に駆り立て、遅かれ早かれ、今度は、その聖なる力のさらなる分量を解き放つ役目を果たすことになる、以前には想像もしなかったような、対抗勢力の新たな発生を誘発します。こうして、神の大業は危機から勝利へ、そして勝利から危機へと進み、地上のいかなる勢力もその前進を阻むことはできないのです。

バブの短い啓示期間は既にこのような経過を辿っていました。しかし、通常の観察者の目には、この最新の危機は克服し難いものに見えたに違いありません。バブは殉教し、何千もの信者は言い表せないような残忍さで虐殺されたのです。バブの主要な弟子たちのほとんどが殉

教し、希望を蘇よみがえらせることができる唯一の御方も、暗黒の牢につながれました。この危機は実に深刻でしたが、その後の勝利は最も輝かしいものでした。

神は、シア・チャールで、バハオラに彼の地位の偉大さを知らされました。バハオラは、闇に包まれ、悪臭に覆われ、足には足枷あしかせが、首には重い鎖がかけられた状態で神の啓示の最初の告示を受けられたのです。この劣悪な状況の中、「最も偉大なる霊」は、自身をバハオラに顕し、立ち上がって神の言葉を語るようお命じになりました。

時折、バハオラは、あたかも高い山の頂上から激流が地上に流れ落ちるかのような、頭上から胸にかけて流れ降ちるものを感じられました。バハオラは、「天の乙女」が目の前に浮かんで、ご自分の内なる存在と外なる存在に語りかけ、ご自身のことをあらゆる世界の「最愛なる者」、「神の美」、「神の主権の威力」と称するのを見たのです。そして、バハオラは、ご自身とその「ペン」、そして神が立ち上がらせ給うであろう人々の助けによって必ず勝利されると確約されました。

このようにして、「暗黒の地下牢」の暗闇から、「真理の太陽」が昇りました。バブの約束は果たされ、バハイの啓示が生まれたのです。しかし、バハオラはそこで起こったことを誰にも明かされませんでした。神の定められた時刻が来るまで、バハオラはご自分の使命を宣言されませんでした。

1. バハオラが投獄されているとき、バビ共同体が陥った深刻な危機について、あなたの言葉で説明しましょう。 _____

2. この深刻な危機の後の勝利はどのようなものでしたか。_____

セクション 13

宗教史に残るこの最も重大な出来事を、バハオラがご自身の言葉で記録されているということは、人類にとってとても幸運なことです。バハオラの手紙からの以下の引用句を読み、それに続く文章の空欄を埋めましょう。

神の啓示が、最初にバハオラの魂を満たした様子を、バハオラは次のように回想しておられます。

ある夜、夢の中で次のような崇高なる言葉が四方に轟いた。「まことに、我は汝自身と汝のペンによって汝を勝利に導こう。汝に降りかかったことを嘆いてはならない。また、恐れてはならない。汝は安全であるから。神は、汝自身と汝の御名を通して汝を助けるようになる、地上の宝とも言うべき者らを早晩立ち上がらせ給う。神はそのようにして、ご自身を認めた者らの心を蘇らせてきた」²⁸

この引用文で、バハオラは、ある夜、夢の中で次のような言葉が四方に轟いたと語っておられます。

「まことに、我は_____と_____によって汝を_____に導こ
う。汝に_____を嘆いてはならない。また_____ならない。
汝は_____であるから。神は_____と_____を通して汝を
助けるようになる_____とも言うべき者らを早晩_____給
う。神はそのようにして、_____者らの心を_____
_____」

また他の箇所、バハオラは神の啓示が彼の本質に及ぼす影響について述べておられます。

テヘランの牢獄に繋がられていた日々、鎖の耐え難い重みと、充満する悪臭で我はほとんど眠れなかった。それでも、時折のまどろみの中、頭てっぺんの天辺から胸にかけて何か流れ降りてくるかのように感じた。それはあたかも、高い山の頂上から地上たたに叩きつけられる力強い激流のようであり、その結果、私の四肢ししは燃え上がり、わが舌は何人も聞くに耐えないことを語った。²⁹

バハオラは述べておられます。テヘランの_____につながられていた日々、_____の
_____と、_____で我はほとんど_____
_____。それでも時折の_____の中、_____
から_____にかけて_____かのように感じた。それはあた
かも、高い山の頂上から地上たたに叩きつけられる力強い激流のようであり、その結果、私の
四肢は_____、わが舌は何人も_____
を語った。

また他の文節では、「最も偉大なる聖霊」を象徴する天の乙女おとめの出現を、次のように描写しておられます。

私は、苦難に包まれていたとき、^{ずじょう}頭上より呼びかける、とても不思議で非常に^{かんび}甘美な声を耳にした。顔を向けると、わが主の名をその姿から^{ほうふつ}彷彿とさせる乙女が目の前で宙に浮いているのを見た。神のお喜びの飾りによってその顔は輝き、慈悲深い御方の光輝によってその頬は^て照り輝いていたため、彼女の魂が^{いちもくりょうぜん}歓喜に満たされているの是一目瞭然だった。彼女は、天上と地上の間で、人々の心と精神を^{みりょう}魅了する声で呼びかけていた。彼女は、^{しもべ}私の魂と、神によって栄誉を授けられた僕らの魂を喜ばせる^{きっぽう}吉報を、わが内なる存在と外なる存在に伝えたのである。彼女は、私の頭を指差し、天上と地上のすべての者にこう告げた。「神かけて言う。この者は^{もろもろ}諸々の世の最愛なる者である。だが、^{なんじ}汝らにはこのことが理解できない。これは汝らと共にある神の^び美であり、汝らの内にある神の主権の威力である。汝ら、このことを理解し^え得たならば。これは神の神秘、神の宝、啓示と創造の王国にあるすべての者に対する神の^{たいぎょう}大業、神の栄光である。汝ら、このことを認識し得たならば」³⁰

バハオラは述べておられます。

私は、苦難に包まれていたとき、頭上より呼びかける、_____で
_____を耳にした。顔を向けると、わが主の名をその姿から^{ほうふつ}彷彿とさ
せる乙女が_____で_____に浮いているのを見た。_____
_____によってその顔は輝き、_____によ
ってその頬は照り輝いていたため、彼女の魂が^{いちもくりょうぜん}歓喜に満たされているの是一目瞭然だっ
た。彼女は、私の_____と、神によって_____^{しもべ}僕らの魂
を喜ばせる^{きっぽう}吉報を、わが_____と_____に伝えたのである。
彼女は、バハオラの頭を指差し、_____と_____のすべての者にこう告
げた。「神かけて言う。この者は_____
である。だが、汝らにはこのことが理解できない。これは汝らと共にある_____

_____であり、汝らの内にある_____である。汝ら、このことを理解し得たならば。これは_____、神の_____、_____と_____の王国にあるすべての者に対する神の_____、神の_____である。汝ら、このことを認識し得たならば」

セクション 14

危機と勝利の概念は極めて重要であるため、ここで時間をとり、この道における全ての障害を克服することを可能にする大業の力について熟考することは価値があります。以下の、バハオラの書やショーギ・エフェンディの代理による手紙からの引用文を読み、質問に答えることは理解を深める助けになるでしょう。

この宗教制において、価値のない愚かな人々が抱いた幻想を見よ。虐殺や略奪、追放などの手段を用いることで、神の威力の手によって点火されたランプを消し、永遠の輝きの昼の星の光を奪うことができると彼らは想像したのである。このような逆境は、このランプの炎を煽る油であるという真理に彼らはまったく気づいていない。神の変革力は大きなり。神の御力はすべてに及び、神は御心のままに変え給う。³¹

すべての神の大業と同様、この大業は反対勢力に出会い、それに立ち向かい、勇敢にその攻撃を打ち負かさない限り、実際に確立されることはありません。この信教の歴史そのものがこのことを十分証明しています。いつの時代においても、神に選ばれた人々は試練や迫害を受けてきましたし、またこれからも受け続けるでしょう。しかし、彼らは試練や迫害を、形を変えた恵みと見なすべきです。なぜなら、それらを通して彼らの信仰心は活気づけられ、浄化され、強化されるからです。バハオラはこのような苦しい試練を、神の大業のランプに注がれる油に例えておられます。³²

この信教は危機と勝利の繰り返しで発展するという事を知ることは、あなたがこの大業と人類への奉仕の道を歩む決意をするのを、どのように助けますか。

セクション 15

バハオラがシア・チャールで鎖に繋がれておられる間、バハオラの敵は、国王からバハオラ死刑の判決を得ようと躍起やつきになっていました。しかし、バハオラは、地位の高い人からも低い人からも慕したわれていたため、処刑はそう簡単にはいきませんでした。国王の生命を狙ねらった事件とバハオラの関わりを立証する必要があったのですが、有罪を立証しようとすればするほど、バハオラが完全に潔白けつぱくであるということが明らかになったのです。彼を処刑することはできないと分ざんにんかると、残忍な敵はバハオラの食べ物に毒を入れることにしました。その毒は非常に強かったのですが、バハオラはその影響にすぐに気がつき、食べるのを止められました。最終的に、政府はバハオラを釈放しゃくほうせざるを得ませんでした。しかし、その釈放は、祖国からの追放という条件付きのものでした。

バハオラは 4 ヶ月間の投獄に耐えられました。釈放されたとき、バハオラは病気にかかり、消耗しきっておられました。牢獄での非人間的な扱い、首にかけられていた 50 キロもの鎖、そしてついには毒の影響でバハオラは非常に弱っておられ、絶対安静を要する状態でした。バハオラの首に深く食い込んだ鎖の傷は次第に癒いえましたが、その傷跡は生涯消えることはありませんでした。このような状況の中で、ご家族は一ヶ月以内に、困難な旅に出る準備をしなければなりません。流刑地るけいちを自由に選ぶことが許されたので、バハオラは、オスマン・トルコ帝国の都市、現在のイラクの首都、バグダッドを選ばれました。

旅は 1853 年 1 月 12 日から同年 4 月 8 日まで続きました。バハオラと家族は、真冬に、極寒ごっかんのイラン西部を旅しなければなりません。旅のための備えも十分ではなく、少しの食料で満足しなければなりません。しかし、この小さな旅の一団は全能なる神ご自身に守られていました。神の尽きることのない援助のもと、彼らは無事、バグダッドに到着しました。

イランはバハオラの存在という恩恵を自ら放棄したのです。バハオラは二度と祖国の土を踏まれることはありませんでした。いまやイラクは、この地上で最も貴重な御方の居住地となったのです。一人の、傑出したバハイ歴史家は、イランからのバハオラの追放について、次のように書いています。

バハオラが国境に近づかれることで、一つの時期は終わりに近づきました。果たして、イランの人々は自分たちが被った損失に気づいていたでしょうか。無知が染み込み、傲慢に浸り、偏見によって視力を奪われ、利己的な者らに従い、虚偽に惑わされた彼らはその損失を見ることも知ることもありませんでした。こうして、世界の救世主は彼らのもとを立ち去られました。かつては、富める者にも貧しい者にも、地位の高い者にも低い者にも、貴族にも農民にも等しく尊敬され、愛されたバハオラは、いまや、彼が常にあれほどの慈悲、愛、正義、慈善を惜しみなく与えられた人々に見捨てられたのです。イランはバハオラの存在を失ったのですが、バハオラ精神はこの国からも、また他のいかなる国からも決して消えることはなかったのです。³³

1. バハオラの敵はなぜ、バハオラの処刑命令を得ることができなかったのですか。 _____

2. バハオラの敵はバハオラを国王暗殺未遂事件に結び付けようと企てましたが、失敗しました。その後、彼らはどうしましたか。 _____

3. バハオラはシア・チャールに何ヶ月間、投獄されていましたか。 _____

4. バハオラは、どのような条件のもとで釈放されましたか。 _____

5. バハオラは追放の地として、どの都市を選ばれましたか。 _____

6. 当時、バグダッドはどの帝国の都市でしたか。現在はどの国の首都ですか。 _____

7. バハオラとその家族の旅は、いつ始まりましたか。三ヶ月近く続いたその旅はいつ終わ

りましたか。_____

8. バグダッドへの旅の状況を説明しましょう。

セクション 16

バハオラが著^{あらわ}された以下の祈りに、私たちは、シア・チャールでバハオラが経験された苦しみと、その直後の数ヶ月に耐えられた苦悩を垣間見ることができます。

わが神よ、わが主よ、わが希望よ。… あなたはご威力の完全な力で、この塵^{ちり}の原子を創造し、いかなるものも縛^{しば}ることのできないその御手で「彼」を養い給いました。… あなたはいかなる舌も述べることができず、またあなたのどの書簡も適切に語る^なことのできない試練と苦難を彼に運命づけ給いました。あなたが絹^{きぬ}の感^{かん}触^{しよく}に慣^なれ親^{した}しませ給うたその喉^{のど}を、ついには頑^{がん}丈^{じょう}な鎖^{くさり}で締め付け、あなたが錦^{にしき}やビロードで安らかにされたその身体を、とうとう地下牢^{くつじょく}の屈辱にさらされました。あなたのご命令によって私は無数の足枷^{あしかせ}で拘束され、私の首には誰も切断できない鎖が巻きつけられました。幾年もの間、私の上には慈悲の雨^{ごと}の如く苦悩が降り続けました。… 鎖の重みと足枷のために、私は何と多くの眠れない夜を過ごし、人々の手と舌が私に与えた苦しみのために、何と多くの安らぎのない日を過ごしたことでしょうか。あなたが全てを包む込む慈悲^{なん}によって野獣^{やじゅう}に与え給う水やパンすらも、この僕^{しもべ}にはしばらくの間許さ

れませんでした。そして彼らは、あなたの大業を棄^すてた者らにさえ課さなかつたような仕打ちを私に与えたのです。最終的に、あなたの決定的な命令で、この僕^{しもべ}は、数名の身体の弱った男性や幼い子ども^{ともな}を伴ってペルシャを離れたのでした。それは、しゃべることもできないほどに寒く、身動きも取れないほどに大量の雪と氷に包まれた頃でした。³⁴

上のお祈りを暗記してみませんか。たとえこの祈りを何度か読むだけであるとしても、バハオラの苦しみに関する記述が心に残るはずです。それらのいくつかを述べてください。

セクション 17

バハオラはバグダッドで、町の古い地域に家を借りられました。彼の到着後、数ヶ月で、多くのバビがバグダッドに向かいました。不幸にして彼らの多くは非常に哀^{あわ}れな状態にあつて、混乱し心をかき乱され、中にはバブの信者と名乗るにふさわしくない行動に走る者もいました。バハオラは、やって来た皆をこの上ない愛をもって迎え入れ、彼らが自分の心を浄化し、精神を取り戻すよう援助されました。バハオラの影響を受けて、バビ共同体の運命は変わり始め、希望が再び花開いたのです。しかし、悲しいかな、新たな危機が生じました。今度の危機は共同体の内部から起こりました。不幸の原因は、他ならぬ、バハオラの異母弟^{いぼてい}であり、自らをバブの後継者であると主張するミルザ・ヤーヤでした。

実際には、バブは、すべての時代に約束された御方の出現が間もないことをご存知だったので、後継者を指名する必要性を感じておられませんでした。バブがなされたことは、バハオラともう一人の信頼できる弟子の助言を受けて、ミルザ・ヤーヤを名目上の代表に据えたことでした。こうすることで、バハオラは比較的^{あふ}安全に大業の普及に務めることができました。ミルザ・ヤーヤは小さいときからバハオラの溢れる愛と支えを受けていたのですが、彼は野心家^{おくびょうもの}で臆病者^はでした。バブの殉教^{たくはつそう}は、信仰を失わんばかりの大きなショックをミルザ・ヤーヤに与えました。彼はしばらくの間、托鉢僧としてマザンダランの山々をさまよっていました。彼の行為はあまりに恥^はずべきものだったので、その地域の信者^{いくにん}たちの幾人かは大業を棄てたほどでした。何度も変装しながら、ようやくバグダッドにたどり着いたミルザ・ヤーヤは、商売を始めるためにバハオラからいくらかのお金をもらい、バグダッドの近隣に名前を変えて住むようになりました。

バブの信者たちが示すバハオラへの愛と尊敬の高まりと、バグダッド市^{とうきよくしや}当局者^{しやうきよくしや}たちとの間でのバハオラの名声の高まりは共に、ミルザ・ヤーヤを苛^{いらだ}立たせました。彼の嫉妬心^{しつとしん}は掻き立てられ、その炎は品位^{こんせき}の痕跡をも焼き尽くしてしまうほど燃え上がりました。ミルザ・ヤーヤは自分よりもさらに卑劣^{ひれつ}な仲間と共に、バビたちにバハオラの意図^{いど}を疑わせる種^まを蒔き始めたのです。再び、バビ共同体には疑念^{ぎねん}、恐怖^{こふ}、妄想^{まぼろし}の暗雲^{あんうん}が立ち込めました。東^{あづま}の間の平穩^{へいゑん}が終わり、バハオラの苦悩^{くなん}は日に日に増していきました。

1854年4月10日朝、家族の者が目覚めるとバハオラの姿がどこにもありませんでした。バハオラは、誰にもご自分の目的や行き先を告げずに、その市を出て行かれたのです。ミルザ・ヤーヤの行動が何をもたらすかを察知されたバハオラは、バグダッド北東にあるクルディスタンの山中に身を引くことを選択されました。バハオラは後にこう語っておられます。「我が^{いんどん}隠遁^{いんどん}した唯一の目的は、忠実な者たちの間で不和の原因となること、仲間にとって騒乱^{そうらん}の元となること、誰かを傷つける手段となること、誰かの心を悲しませる原因となることを避^さけるためであった」³⁵

バハオラはスレイマニヤという町から少し離れた^{こうや}荒野^{こうや}に独りで住み、神との語らいに時を過ごし、ほんの僅^{わず}かな食べ物で満足しておられました。時々、その地域の羊飼^いいたちから幾らかのミルクを分けてもらったり、また、時折、生活のための最低限の必需品を得るために町を訪れたりされました。地域の住民との接触はこのように限られたものだったにもかかわらず、彼らはすぐにバハオラの偉大さに気づきました。バハオラの愛と英知はスレイマニヤの住民を引きつけ、その名声は近隣地区にまで知れ渡るようになりました。クルディスタンの山に住む並外れた知恵^{ちゑ}と雄弁^{うべん}さを持つ人物の噂^{うわさ}は、やがてバグダッドにも届きました。バハオラの家族は、その人物こそバハオラに違いないと直感し、信頼できる信者を送り、バハオラに戻ってくるよう懇願^{こんがん}しました。バハオラはその願いに応じられ、こうして二年間に及ぶ隠遁^{いんどん}に終止符が打たれたので

す。

1. バハオラがバグダッドに到着された後にその市に来たバビたちはどのような状態でしたか。 _____

2. 彼らはなぜそのような状態に陥ったのでしょうか。 _____

3. バハオラの影響のもとで、バビ共同体にはどのような変化が起きましたか。 _____

4. バブは後継者を指名されましたか。何故、されなかったのですか。 _____

5. バブは、誰を名目上の代表として指名されていましたか。 _____

6. ミルザ・ヤーヤとバハオラとの関係はどのようなものですか。 _____

7. ミルザ・ヤーヤの性格を説明してください。 _____

8. バブの殉教の後、ミルザ・ヤーヤは何をしましたか。 _____

9. バブの信者らや、市当局からバハオラに示される敬意や愛の高まりは、ミルザ・ヤーヤにどう影響しましたか。_____

10. ミルザ・ヤーヤの行動が何をもたらすかを察知されたバハオラは、どうされましたか。

11. バハオラはどこに身を引かれましたか。_____

12. バハオラはこう述べておられます。「我が^{いんとん}隠遁した唯一の目的は、_____の間で_____の原因となること、仲間にとって_____となること、_____手段となること、_____原因となることを^さ避けるためであった」

13. バハオラはクルディスタンの荒野で何をされましたか。_____

14. バハオラの、バグダッドからの隠遁はどれくらいの期間、続きましたか。_____

15. バハオラの帰還に至る経緯はどのようなものだったのでしょうか。_____

セクション 18

神の顕示者はみな、その信者たちと聖約を^か交わされます。バブの信者たちがバブと交わした聖約は、神が現わし給う御方を見出し、その御方を受け入れ、その御方の命令に従って生きるというものでした。この時点でバハオラは誰にもご自分がバブによって約束された者であることを告げておられませんでした。しかし、バハオラの偉大さは日毎にますます明らかとなり、何人かはバハオラの地位を認識し始めていました。ミルザ・ヤーヤもバハオラの威力と栄光に気づいていないわけではなかったのですが、バビたちの間に害悪をもたらし続けました。見ての通り、その後の数年間で、バハオラに対する彼の陰謀はますます大きくなり、最終的にはバブの聖約を公然と破ることになったのです。友らを待ち受ける混乱や試練について、バハオラは彼の忠実な仲間たちに警告されました。

試練の日々は今や訪れた。不和と試練の大海は波高きうねり、あらゆる場所で疑念の旗が不和を掻き立て、人々を破滅に導いている。… 否定の軍勢の^{いくにん}幾人かが^{なんじ}汝らの間に投げかけた疑念の^{わづら}声に煩わされてはならない。また、真実なる御方を^{かえり}顧みない者となつてはならない。何となれば、このような不和はすべての宗教制で引き起こされたが^{ゆえ}故に。しかしながら、神は神の教えを確立し、たとえ、騒乱の煽動者らが忌避しようとも、彼の^{あらか}光を^{あらわ}顕し給うのである。… 神の大業を日々、待ち^ま構えよ。… 万人は神の御手の中の^{とりこ}虜である。どこにも^{のが}逃れることはできない。神の大業を、誰であれ、自らの気まぐれを満足させることができる軽いものと考えてはならない。現時点において、自己満足的な思いつきを主張する者が各地に現れている。彼らの全員が^{ほろ}滅び、失われてしまう… 時が^{せま}迫っている。否、彼らは塵のように無と化し、忘れられた存在となるであろう。

36

1. 次の文を完成させましょう。

- a. 友らに対し、バハオラは忠告しておられる。_____の_____の幾人かが_____汝らの間に投げかけた_____に_____てはならない。
- b. バハオラは友らに忠告しておられる。_____を_____

_____者であってはならない。

c. バハオラは仲間たちに保証しておられます。たとえ大業の敵たちがそれを阻もうとし

ても、神は_____を確立し、その_____を顕される。

d. 誰であれ、神の大業を、自分の_____を_____ことが

できる_____として考えてはならない。

e. 信教に背を向けた全員が_____、_____時が迫っ

ている。彼らは塵のように無と化し、_____存在となるであろう。

2. バハオラは疑いを投げかけようとする者らを「否定の軍勢」と述べておられます。彼らは何を否定しているのですか。

セクション 19

二年間のバハオラの不在中、信教の状況はその歴史の中で最低の状態にまで落ち込みました。予想どおり、ミルザ・ヤーヤはバグダッドの小さな共同体でさえ指導する能力がないことを証明しました。バビの何人かは、様々な面で、バブの貴重な大業を辱めるような行動に出ました。そこで、バハオラは再度、共同体を生き返らせる任務に取り掛られました。バハオラが1856年3月にバグダッドへ帰還されたことは信者らに公表され、彼に通じる扉は真理を切望するすべての人に開かれました。バハオラがご家族と住まれた質素な家は、探求者や訪問者の集まる所となりました。バハオラに会いに来た者は皆、甘美で愛に満ちたバハオラの言葉の威力によって変革されました。バハオラの近くに住むという恵みを得た人々は、まさに樂園にいるかのように感じました。彼らは自分たちを世俗から完全に切り離し、まったく新しい創造物になったのです。これは、バハイ時代初期の偉大な歴史家であるナビルが、これらの人々の状況について述べたものです。

幾夜も、10人以上もの人々が口にする夕食は、ごくわずかなナツメヤシだけでした。帰った自宅で見出すことになる靴、上着、外套が実際は誰のものなのかは誰にもわかりません。市場に行った誰もが、自分が履いている靴は自分のもの、バハオラに会いに来た誰もが、自分が着ている上着や外套は自分のものだと言主張するほどに、自他の区別への頓着を無くしていました。彼らは自分の名前すら忘れ、心には最愛なる御方への敬愛以外に何もありませんでした。… おお、あの日々はなんと喜

びに満ちていたことよ。また、あの時はなんと素晴らしい歓喜に満ちていたことよ。³⁷

バハオラはスレイマニヤからの帰還後、7年間バグダッドに滞在されました。その間、バハオラは、自分の地位、すなわち、この時代のための神の顕示者という地位を隠し続けられました。しかし、バハオラから注がれる聖なる愛はあまりに大きかったため、感受性豊かな人々は感動せずにはいませんでした。彼が会話で、また手紙や書簡に顕された導きは、長い間、指導者のなかったバビたちの性格を変革しました。バハオラが、『確信の書』を顕されたのもこの時期です。バハオラはこの書で、神の啓示の性質を非常に明白に説明し、過去の人々が作り上げた教義の基礎を破壊されました。私たち一人ひとりが精神的な成長の指針として大切にしている、『かくされたる言葉』は、この時期に、バハオラがチグリス川のほとりを瞑想に耽りながら歩かれたときに明らかにされたものです。聖なる句がバハオラのペンから流れ出る速度は驚くべきものでした。バハオラご自身がその並外れた力について言及しておられます。

… 神の援助と、聖なる恩寵と慈悲により、我は激しく降る雨の如く聖句を顕し、それを世界各地に送った。我はわが英知の忠告と、愛に満ちた警告を通して、すべての人々、特にこの人々を諭し、扇動、口論、論争、鬭争に関わることを禁じた。その結果、神の恩寵により、強情と愚かさは敬虔と理解へと転じ、武器は平和の道具に変換されたのである。³⁸

バグダッドでのバハオラの7年間は素晴らしい勝利の時期でした。そして予測したように、遅かれ早かれ危機がやってきて、その後、さらに大きな勝利が続きます。信教の敵たちが、バハオラの名声の高まりに気づかないはずはありませんでした。彼らの内でも最も活発だったのは一人のシャイフで、彼は、バハオラに反対して立ち上がるよう、ペルシャやオスマン・トルコ政府の役人、また宗教指導者を説得するためにありとあらゆる手段を用いました。

このシャイフの奮闘は、バハオラの英知とその言葉や行動の高潔さのために、何年間も妨げられていました。ある時、このシャイフは、その地域の主だった僧侶を集めて、バハオラに対し、全会一致で有罪を決議しようとしていました。僧侶たち全員が、信教を破壊するために、バグダッドにいるこの小さな亡命者の一団を攻撃する準備を整えました。ところが驚いたことに、彼らの中で最高位にあった僧侶がバビに対して必要な判決を下すことを拒否したのです。正義と敬虔さで知られていたこの僧侶は、自分の知る限り、バビ共同体は攻撃されるようなことは何もしていないと言い、その集会から出ていきました。

当初の策略が失敗したので、そのグループは次に、バハオラのもとに学識者を送り、バハオラの知識を試すためにいくつかの質問を提起することにしました。バハオラに会いに行ったそ

の伝令者は、質問に対するバハオラの返事を聞いて、僧侶のグループを代表して、バハオラの知識の広大さを認めました。しかし、その伝令者は、バハオラの使命の真実性を懸念するすべての人たちを満足させるために、バハオラは彼らに奇跡を見せるべきだと言いました。バハオラは「あなた方にはそのような要求をする権限はない。神は創造物を試されるが、創造物が神を試すことは許されないからである。それでも、我はあなた方の要求を許し、それを受け入れよう」³⁹と答えられました。その条件とは、まず望みの奇跡の一つを選び、その奇跡が行われたなら、今後一切、彼らはバハオラに嫌疑をかけることなく、彼の教えの真実を認め、信仰を告白することを約束するというのを文書にするというものでした。僧侶たちは、その文書に署名してバハオラに届けなければなりませんでした。

この明解で挑戦的な回答に伝令者は深い感銘を受けました。彼は直ちに立ち上がって、バハオラの膝に口づけし、僧侶のグループにバハオラの回答を伝えるために帰って行きました。僧侶たちはこれについて三日間相談しましたが、結論に至らず、とうとう、この目論みを断念せざるを得ませんでした。

その後も、信教の冷酷な敵はバハオラに対する陰謀を諦めませんでした。彼らは引き続き、悪事を働き、バハオラの意図を偽って当局に伝え、ついに、1863年春、その策略は実を結び、新たな危機が訪れました。

1. バハオラがバグダッドに帰られた時、バビ共同体はどのような状況にありましたか。

2. ミルザ・ヤーヤは共同体の指導者としての能力を証明しましたか。_____

3. バハオラのバグダッドへの帰還はバビたちにどのような影響をもたらしましたか。

4. ナビルが述べた、バハオラの近くに住んだ信者たちの状況を、あなたの言葉で説明しましょう。_____

5. バハオラはスレイマニヤから帰還後、バグダッドに何年滞在されましたか。_____

6. バハオラがバグダッド滞在された7年間に著わされた書物を二つ挙げましょう。_____

7. 『確信の書』の主要テーマは何ですか。_____

8. 『かくされたる言葉』はどのようなテーマを扱っていますか。_____

9. 次の文を完成させましょう。

a. バハオラは次のように述べられました。神の_____と、_____と
_____により、我は_____のごとく聖句を顕した。

b. バハオラはこれらの聖句を_____に送られました。

c. これらの聖句でバハオラは、_____と、_____
_____を通して、すべての人々を_____されました。

d. バハオラは_____、_____、_____、_____に_____
_____ことを禁じられました。

e. その結果、神の恩寵により、_____と_____は_____と_____
_____へと転じ、_____は_____の_____に変換されました。

10. バハオラの名声の高まりは信教の敵たちにどう影響しましたか。_____

11. 「全会一致で有罪(を決議する)」とはどういう意味ですか。_____

12. 僧侶たちと、彼らがバグダッドにいるバハオラのもとに送った伝令者の話をあなたの言葉で説明しましょう。_____

セクション 20

信教について学習するとき、あなたは『確信の書』を読み、その多くのテーマの深遠な意味について熟考するでしょう。すでに、『かくされたる言葉』には親しんでいることと思います。この書はあなたの生涯を通じてあなたの伴^{はんりよ}侶となるものであり、そこに含まれる聖なる導きは精神的成長に大いなる影響をもたらすでしょう。この時点で、バハオラがバグダッドで過ごされた、これら二つの重要な書が顕された時期について熟考するなかで、それぞれの最初の段落を暗記してはどうでしょう。『確信の書』は、以下の言葉で始まります。

何人^{なんびと}たりとも天地万物から離脱^{りだつ}しなければ、真の悟りの大洋の岸辺に到達することは不可能である。おお、汝^{なんじ}ら世俗の人々よ。神が汝らのために定め給うたその地位に到達して、神の摂理によりバヤンの天上^たに建てられた神殿^{しんでん}に入ることができるよう^えに汝らの魂を清めよ。⁴⁰

下記は、『かくされたる言葉』の最初の段落です。

この書は、栄光の国土より降^{くだ}り、権威^{ちから}と威信の舌によって語られ、また、古^{いにしえ}の神の使者たちに啓示されたところのものである。我は、その真髓^{しんずい}を取り、正しき者たちへの天恩^{てんおん}のしるしとして、これを簡潔なる衣服もて包んだ。これぞ正しき者たちが、神の聖約に忠誠を守り、彼らが生涯において、神より託^{たく}されたことを成就^{じょうじゆ}し、心霊^{しんれい}の領域において、聖なる美德の宝石^えを勝ち得んがためである。⁴¹

セクション 21

バグダッド滞在が終わりに近づく頃、バハオラは時折、前途^{ぜんと}に待ち受ける試練や苦悩に言及されるようになりました。バハオラはご自分の見られた夢についてかつて友らに語られましたが、それは大いなる苦痛を引き起こしました。バハオラは書簡に、「預言者らや使者たちが我を取り囲んで座っているのを見た。彼らは泣き、うめき、大声で嘆いた。我が驚いて理由を尋ねると、彼らはさらにうめき声を高め、涙ながらに答えた。『おお、最大なる神秘よ! おお、不滅の幕屋^{まくや}よ! 我らはあなた様のために泣いている』。そのあまりの泣きように、我も共に泣いた。すると、天上の集合が我に向かって語りかけてきた。「… 早晚、汝は、いかなる預言者^{いまま}も未だかつて見たことのないものをその目で見るであろう。… 忍耐せよ、忍耐せよ」。… 彼らは、明け方まで夜^{よる}を徹して我に語り続けた。⁴²

1863年早春、バハオラは『^{すいふ}聖なる水夫の書簡』を顕されました。この書簡は神秘的な表現で将来の出来事を予告し、やがて来る背信行為や別離について語っています。この書簡は、彼の御前に集まった友らに向けて読みあげられました。バハオラが自分たちの元から連れ去られると直感した友らの心は悲しみの海に沈みました。その日遅くに、バグダッドの知事から会見を求める連絡が使者からバハオラに届けられました。次の日、会見に赴かれたバハオラに、オスマン・トルコ帝国の総理大臣からの手紙が手渡されました。そこには、非常に丁寧な言葉で、バハオラを首都コンスタンティノープルに招待する旨が述べられていました。バハオラを護るため、馬に乗った護衛が同行するよう命じられました。バハオラは直ちにその求めを受け入れられましたが、政府が提示した旅費を受け取ることは断られました。知事の代理は、もしバハオラがそのお金を受け取ることを拒否されれば、当局は気分を害するでしょうと言って、受け取るよう主張しました。ついにバハオラは大金を受け取られましたが、すぐさまそれをバグダッドの貧しい人たちに配られました。

バハオラがバグダッドから早々に出られるというニュースはバビ共同体に打撃を与えました。バハオラの輝かしい存在に心を引きつけられていたそれらの献身的な信者たちは悲しみに打ちのめされました。当初は、誰も寝ることも食事をとることもできませんでした。しかし、次第に、彼らはバハオラの優しく穏やかな言葉に慰められ、平静を取り戻しました。そして、バハオラの次の流刑地に、ほとんどの者はお供することはできないということを感じて受け入れました。バハオラはご自分の愛の証として、その都市に住む全ての友ら——男性、女性、子ども——一人一人に宛てた直筆の書簡を送られました。

バグダッドの郊外に、バラの咲き乱れる美しい庭園がありました。バラはバハオラのお好きな花でした。4月22日の午後、バハオラはバグダッドを出て、この庭に移られました。信者ら、そして実にバグダッド市民の多くが悲しみに襲われました。バハオラの優しい世話のもとで今や完全に活気を取り戻していたバビ共同体は、またもや、危機に陥ったのです。この未だ若い信教の、唯一の「望み」である御方が、信奉者らの大半から遠く離れた所に追放されようとしていました。一体この信教の将来はどうなるのだろう。バハオラに別れを告げようと集まったこれら傷心の友らを待ち受けていたその答えは、途方もなく素晴らしいものでした。バハオラは、ご自分の真の地位を覆い隠していたヴェールを払いのけ、自分こそがすべての時代に「約束された者」であると宣言されたのです。

バハオラはコンスタンティノープルに旅立たれる前の12日間、今日、レズワンの園と呼ばれているこの庭園に滞在されました。彼の敵は、バハオラを信者らの一団から引き離すことによつて大業に致命傷を加えようとしていました。しかし、神はこの送別会を最高の喜びの機会に変えら

れたのです。バハオラの使命の宣言は、彼の仲間たちの心に新たな生命を生み出しました。これは、バブが準備された「日」のなかの「日」でした。バハオラご自身、この日について「全創造物は浄化の大海に浸された」⁴³と述べておられます。

バハオラがレズワンの園で会われた大勢の訪問者と交された会話についての詳細はあまり知らされていません。歴史家ナビルが残した次の言葉は、栄光に満ちたそれらの日を垣間見せてくれます。

毎日、夜が明けると、庭師たちは、庭園にある4本の並木道^{なみきみち}に沿って咲いているバラの花を集めて、バハオラの祝福されたテントの床の中央に積み上げました。そのあまりの高さは、友らがバハオラの御前で朝の紅茶をいただくために集まった時、向かい側の人が見えないほどでした。バハオラはうず高く積まれたバラのすべてを、別れを告げに来た人々に自らの手で配り、バグダッドに住むアラブ人やペルシャ人の友らに、ご自身の代理として届けるよう託されました。…満月へと向かっていく月齢9日目の夜、私は、見張りの一人としてバハオラの祝福されたテントの側に立っていました。真夜中近くになった頃、私は、バハオラがテントから姿を現わし、友らが寝ている側^{そば}を通り過ぎ、月明かりに照らされたバラの並木道を行ったり来たりする様子を目にしました。四方にナイチンゲールの囀^{さえず}りが響き、彼のお側近くいる者でないとバハオラのお言葉を聞き取ることはできないほどでした。バハオラはさらに歩き、やがて並木道の中で立ち止まり、述べられました。「これらのナイチンゲールを見よ。バラを愛するがために一睡^{いっすい}もせず、夕暮れから翌朝まで鳴き続け、メロディー^{かな}を奏で、焼けつくような愛をもって敬慕^{けいぼ}の対象と語り合っている。ならば、最愛なる御方のバラのような美に焦^こがれるほどに魅了^{みりょう}されたと断言する者らが、どうして眠ることを選ぶことができようか?」。私は三晩続けてバハオラの祝福されたテントを見張り、その周囲^{じゆんかい}を巡回^{しんたい}しましたが、寝台のそばを通るたびに、バハオラが起きておられるのを見ました。そして、早朝から夕刻まで、バグダッドからひっきりなしにやってくる訪問者と絶え間なく言葉を交^かわしておられました。もはや、バハオラのお言葉には、ご自分の正体^{しょうたい}を隠そうとするようなところは全く見られませんでした。⁴⁴

今日、レズワンの祝祭^{しゅくさい}は、バハオラの使命の宣言を記念して、毎年、世界中で祝われます。12日間続くこの祝祭は、バハイのすべての祝日の中で最も重要かつ最も神聖なものです。

1. バハオラがバグダッド滞在の終わりの頃に見られた夢を、あなたの言葉で説明してください。_____

2. この夢の意味するところは何ですか。_____

3. バハオラはいつ、『聖なる水夫の書簡』を顕されましたか。_____

4. 『聖なる水夫の書簡』はどのようなことを予告していましたか。_____

5. その書簡がバハオラの御前で友らに読まれた日、知事の使者からバハオラに何が届けられましたか。_____

6. その翌日、バハオラに渡されたものは何ですか。_____

7. 政府はバハオラをどこへ送ることにしましたか。_____

8. 政府が提供した旅費をバハオラはどうされましたか。_____

9. バハオラの旅立ちが間近だと知らされた友らはどう反応しましたか。_____

10. バハオラはご自分の愛情の証としてバグダッドの信者らに何をされましたか。_____

11. バハオラが宣言をされた庭園は現在どういう名で呼ばれていますか。_____

12. バハオラはその庭園に何日間滞在されましたか。_____

13. レズワンの園で過ごしたそれら栄光に満ちた日々について、ナビルは述べています。

a. 毎日、夜が明けると、庭師たちは_____

を集めて、_____

_____。

b. バラはあまりに高く積まれていたので、友らがバハオラの御前で_____

_____、_____

ほどでした。

c. バハオラはそれらのバラのすべてを、別れを告げに来た人々に自らの手で配り、_____

_____、_____

_____託されました。

d. ある夜、ナビルは_____の一人として、_____

_____に立っていました。

e. 真夜中近くになった頃、ナビルは、_____、

友らが_____側を通り過ぎ、_____に照らされた_____

_____を目に

しました。

f. _____罫りが響き、バハオラのお側近くいる者でない

と_____はできな

いほどでした。

g. バハオラはさらに歩き、_____、述べられました。「これらの_____を見よ。_____がために_____、_____から_____まで_____、_____を奏で、_____をもって_____と_____いる。ならば、_____の_____に_____者らが、どうして_____を選ぶことができようか？」

h. ナビルは三晩続けて_____、
_____。

i. ナビルはバハオラの寝台の側^{そば}を通るたびに_____。

そして、早朝から夕刻まで、_____。

j. ナビルによると、もはやバハオラのお言葉には_____。

14. バハオラの敵たちはバハオラを信者の一団から引き離すことによって何を期待していたのでしょうか。逆に、神の計画は何だったのでしょうか。_____

15. バハオラの使命の宣言を記念するための祝祭は何ですか。_____

16. レズワンの祝祭は何日間ですか。それはいつですか。_____

17. イランからイラクへのバハオラの追放に関しての学習が終わった今、バハオラの生涯のこの時期について、短いプレゼンテーションを準備しませんか。

セクション 22

下記はバハオラの書簡からの引用文です。グループで音読しましょう。読みながら、レズワンの園におけるバハオラの宣言を思い起こし、バハオラの言葉で心を喜びに満たしてください。

おお、最も崇高なるペンよ。神聖なる春の季節は到来し、慈悲に満ち給う御方の祝祭は目の前まで来ている。汝、眠りから覚めよ。そして全創造物が蘇生の波に洗われ、新しく生まれ変わるほどの威力をもって森羅万象に向かって神の御名を称え、神に讚美を捧げよ。沈黙を破り、声を上げよ。神の御名の王国が天上の創造者なる汝の主の名の装飾によって飾られた今、幸福の昼の星は「至福なる者」というわが名の地平線上に輝き出たのである。この最大名の威力をもって身を固め、地上の国々に向かって立ち上がり、ためらうものであってはならない。

おお、ペンよ。このすばらしき日、汝は我以外に何者を発見できようか。創造の世とその象徴は今いずこに。諸々の名と、名の王国は今いずこに。目に見えるものや見えぬもののすべての創造物はどこに消えたのか。宇宙の隠された秘密やその神秘の出現はどうなったのであろうか。見よ、万物は消え去ったのである。栄光に満ち、光にあふれ、永遠に変わることはないわが顔以外には今や何も残っていない。

このすばらしき日、主の御顔より放射される光の輝き以外には何も見えない。汝の主こそは恩寵に満ち、すべての恩恵にあふれ給う。まことに、われはすべてを征服し、抵抗し難いわが主権によりすべての魂の生命を消した。つぎに、人類へのわが恩寵のしるしとしてわれはまったく

新しい生命を呼び起こした。まことに、われは恩恵にあふれる日の老いたる者なり。

言^{こと}挙げよ。この楽園の木々には次のような言葉が発言^{びしゅ}の美酒によって書き記されている。「人類の目より隠されていた者は、いまや主権と威力に覆^{おお}われて出現した」。この楽園の木の葉のささやきは次のように宣言している。「天上と地上の住人たちよ。未だかつて現われたことのない者が出現したのである。古^{いにしえ}よりその御顔を全創造物から隠し続けてきた者が現われたのである」。この楽園の梢^{こずえ}を揺らす微風からは次のような声が聞こえてくる。「御主権によりすべてに君臨^{くんりん}し給^{しゅ}う主が出現したのである。御国は神のものなり」。そして、この楽園の泉に流れる水からは次のように聞こえてくる。「すべてのものの目は祝福されたのである。誰も見たことのない者、誰もその秘密を発見したことのない者が栄光のヴェールを取り除き、うるわしき美^びの御顔を現わしたのである」。

楽園の最も高^{すみか}き住処より発せられた天上^{じじょ}の侍女たちの叫^{きけ}びがこの楽園に鳴^{ひび}り響いている。「歓喜せよ、おお天上の領土の住人たちよ。栄光に満ち給^{かね}う御方の名において、日の老いたる者の指は宇宙の中心にあって最大なる鐘を鳴らしている。恩恵の御手は永遠なる生命の聖杯^{せいはい}を回している。接近^{こころゆ}し、心行くまで飲^{ごんげ}むがよい。切望の権化たちよ。切なる思いに溺^{おぼ}れる人々よ。この聖杯を一気に飲^ほみ干すがよい」。⁴⁵

セクション 23

バハオラとその家族、そして彼らに同伴した小さな一団はコンスタンティノープルにたった4ヶ月しか滞在しませんでした。ペルシャ政府は、バハオラのますます増大する影響^{きやうい}力に脅威を抱き、遠方より迫害を続けました。ペルシャ大使はトルコ帝国の統治者であるスルタンの宮廷内で、バハオラに対して組織的な反対運動を展開しました。スルタンとその大臣たちや彼らの取り巻き連中が住む環境は、裏切り、策略、偽善に満ちたものでした。バハオラは宮廷のメンバーや彼らの価値のない目的に巻き込まれることを拒否されました。それは、ペルシャ大使にとってバハオラに対する非難や中傷を当局の頭に吹き込み易くしました。大使の絶え間ない

反対運動は成功し、ついに、バハオラをペルシヤの国境からさらに遠い、アドリアノーブルの町へ追放するという命令が出されました。

この命令に対しバハオラは非常に勇気ある行動をとられました。バハオラは直ちにスルタン宛の長い書簡を書き、スルタンとその大臣たちを厳しく咎め、彼らの未熟さと無能を暴かれました。その書簡は封印された封書でスルタンの総理大臣に届けられました。その封を切り、書簡を読み始めた総理大臣は、青ざめて言ったそうです。「これは王の中の王が、最も地位の低い家臣である王に命令を発し、その行動を規制しているかのようにではないか」⁴⁶

三度目の追放となるコンスタンティノーブルからアドリアノーブルまでの12日間の旅は、バハオラとその家族にとって極めて過酷なものでした。時は12月で、肌を刺すような寒さでした。道中、飲み水を得るには、火を熾し、泉の氷を溶かすしかありませんでした。亡命者のほとんどは、そのような悪天候から身を守るのに必要な衣服もありませんでした。

1863年12月12日にアドリアノーブルに到着されたバハオラは、四年半をその市で過ごされました。この間、またも苦悩に満ちた危機と素晴らしい勝利がありました。バハオラの影響が増すにつれ、ミルザ・ヤーヤの心には更なる嫉妬が燃え上がりました。その妨害はますます大胆になり、バビたちがこの時代のための神の顕示者を受け入れるのを阻止するために、最大限の努力をしました。ミルザ・ヤーヤがもたらした災難はバビ共同体に問題を起こしたのみならず、信教の外の敵にも、バハオラとその信者たちを攻撃する絶好の材料を与えました。ミルザ・ヤーヤの裏切りには限度がないようでした。彼はバハオラの毒殺までも企て、数々の陰謀と骨折りの末、ついに目的を達成しました。バハオラは、命は取り留められたものの、毒の影響は重大で、彼の手の震えは生涯癒えることはありませんでした。

もちろん、アドリアノーブルで思い出されることはミルザ・ヤーヤの非道な行為ではなく、むしろ、バハオラがその都市で成し遂げられた偉大な勝利です。バハオラはアドリアノーブルから、世界の国王や統治者に向けてたくさんの書簡を送り、ご自身の信教を広く宣布されたのです。

バハオラの使命が人類に明かされる漸進的なプロセスの第三段階は、公に向けての宣布に象徴されます。第一段階は、テヘランのシア・チャールで聖霊がバハオラの前に現われ、バハオラがこの時代のための神のメッセージを運ぶ使者であると告げたときに始まりました。その後、その啓示の誕生は10年間知らされないままでしたが、黎明のごとくに、人々の眠れる魂を呼び覚まし、感受性の高い人々を目覚めさせ、バハオラを認識する準備をしたのです。第二段階はレズワンの園で開かれました。その庭園でバハオラは、彼に別れを告げるために集まった人々に、ご自身の使命を宣言されました。その時点で、バハオラの地位を知ったのはごく少数の恩恵を受けた人たちでした。第三段階では、彼の使命の万人に対する宣言が見られまし

た。コンスタンティノープルに始まり、アドリアノープルでかなりの勢いを得たその第三段階は、バハオラにとってアドリアノープルの次の、そして最後の流刑地となったアッカにおいて絶頂期を迎えました。

1. バハオラはコンスタンティノープルにどれくらい滞在されましたか。_____

2. コンスタンティノープルでの滞在期間が短かったのは何故ですか。_____

3. バハオラは首都に滞在された期間、王室と距離を保たれたのは何故ですか。_____

4. ペルシャ大使は、バハオラが宮廷たちや彼らの恥ずべき目的にかかわることを拒否されたことをどのように利用しましたか。_____

5. バハオラの次の追放先はどこでしたか。_____

6. ペルシャ政府はなぜ、バハオラを国境からもっと遠い場所に移したかったのですか。

7. コンスタンティノープルから追放という命令を受けたバハオラはどうされましたか。_____

8. バハオラからの書簡を読んで、スルタンの総理大臣は何と言いましたか。_____

9. バハオラはいつ、アドリアノーブルに到着されましたか。_____

10. バハオラは、アドリアノーブルにどのくらい滞在されましたか。_____

11. アドリアノーブルで起こった最も重要な発展は何ですか。_____

12. 人類に対するバハオラの宣言にはいくつの段階がありましたか。_____

13. 第一段階は何でしたか。_____

14. 第二段階は何でしたか。_____

15. 第三段階は何でしたか。_____

セクション 24

アドリアノーブルでのミルザ・ヤーヤのバハオラに対する公然たる反対は、この小さな亡命者グループに大いなる混乱をもたらしました。彼らの多くが、まだ、バハオラの地位の偉大さを完全に理解していなかったのです。それは、今や、ペルシャとトルコという二つの政府の權威を後ろ盾うしだてにしていた信教の敵に、生まれたばかりの神のこの信教に打撃を与える機会をもたらしたのです。ある朝、突然、バハオラの家は兵隊に包囲され、全員直ちに移動する準備をするよう命じられました。しばらくの間、誰も、次にどこに送られるのか知りませんでした。信者らにとっての最大の恐れはバハオラから引き離されることでした。と言うのも、バハオラご家族は共に一つの場所に追放され、他の者らは分散させられるという噂うわさが飛び交っていたからです。やがて、バハオラは牢獄の都市アッカへ、ミルザ・ヤーヤはキプロス島へ追放されることが明らかになりました。ミルザ・ヤーヤの最も悪辣あくらつな支持者 2人を含め、信者らのほとんどである約70人が、アッカに送られることになり、バハオラの忠実な信者の4人がミルザ・ヤーヤと共にキプロス島へ追放されることとなりました。

バハオラとその家族は1868年8月12日にアドリアノーブルを出発し、陸と海を越える困難な旅の末、8月31日にアッカに到着されました。オスマン帝国はアッカを犯罪人や政治犯の流刑地として使っていたので、その市の住民たちは犯罪人たちの到着には慣れていました。このとき、住民たちは、バハオラの一行は、**国賊**であり、神とその宗教の敵だと聞かされました。スルタンは、アッカの**苛酷**な環境のもとで、一行はやがて死に絶えるに違いないと確信して、バハオラの一行を厳しく監禁するよう命じました。スルタンの指示はモスクで**公**に読み上げられ、このペルシャ人一行は終身刑に処されており、彼らとの接触は厳しく禁止されていると知らされました。

アッカに上陸すると、バハオラの一行は、彼らの**拘置所**となる兵舎に連行されました。最初の夜は食物も飲み水も与えられず、その後は、各自に粗末なパン3個が1日分の食料として配られました。やがて、二人を除き、一行の全員が病気になり、間もなくその内の3人が亡くなりました。看守たちは必要な金を受け取らずに死者を**埋葬**することを拒否しました。バハオラが祈りの際に愛用されていた小さな**絨毯**を売って、用意したお金を看守たちに渡しました。後でわかったことですが、実際には、**土葬**に必要な額の二倍も払っていたにも関わらず、看守たちは約束を守らず、遺体を洗うことも、布を巻くことも、**棺**に納めることもせず、そのまま土中に埋めていました。

監禁の状況は次第に改善されましたが、アッカでの最初の数年はバハオラにとって深刻な苦しみの時期でした。シア・チャールでのバハオラの苦しみは、まったく信教の外部の敵によって課せられたものでしたが、アドリアノーブルでの混乱の性質は内部的なものでした。しかしながら、アッカでの最初の数年の危機は、信教の内と外の両方の勢力がもたらしたものでした。バハオラご自身が、この時期について次のように述べておられます。

このことを知れ。この地に到着したとき、我はこれを**最大なる牢獄**と命名した。我はそれ以前に他の地(テヘラン)において**鎖**と**足枷**を付けられたこともあったが、その地をこの名で呼ぶことはしなかった。このことについて**熟考**せよ、**おお**、**理解力**を有する人々よ!⁴⁷

何人たりともバハオラとその家族との接触はならない、というスルタンの命令にもかかわらず、ペルシャからの多くの信者はバハオラにお会いすることを期待し、アッカまでの遠い道りを、しばしば、徒歩でやってきました。アッカに着いても、バハオラへの面会は叶わないと知ったその**献身的**な信者らは、バハオラの**独房**に向かい、**鉄格子**の窓越しにバハオラのお姿を垣間見て満足しました。バハオラがその神聖なる御手を振られるのを見るだけで、彼らの何ヶ月にもわたる旅は**報われ**、バハオラの恩恵に深く感謝しながら、ほとんどの者は帰路に着きました。

この期間の最も悲しい出来事は、バハオラの子息、ミルザ・メッディの突然の死です。「最も純粋な枝」と呼ばれたミルザ・メッディはある日の夕べ、兵舎の屋上を歩きながら、祈りと瞑想に耽ふけっていましたが、足を踏み外して屋上の明り取りから落下し、階下の床の木柵あかに叩ききつけられました。木片が胸なに突き刺さり、医者が呼ばれましたが、打つ手はなく、22 時間後に彼は息を引き取りました。亡くなる前に、バハオラは「最も純粋な枝」に、何か願いはないかとお尋ねになりました。ミルザ・メッディは、「バハの人々が、あなたの御前に達することができるようになることを願います」と、答えました。それに対してバハオラは、「神はお前の願いを叶えられよう」⁴⁸と、お答えになりました。

確かに、最大なる牢獄でのバハオラの苦難は大変厳しいものでしたが、ここで忘れてはならないことは、バハオラのアッカへの追放は過去の数々の預言の成就であったということです。このアッカの地で真理の太陽は 24 年間、その最高の輝きを放たれたのです。アッカ滞在中、バハオラは近くの町、ハイファのカルメル山を訪れ、バブの廟びようが建てられる場所をアブドル・バハに指示されました。バハオラご自身の永眠の場となるバージは、アッカ郊外にあり、それはこの地上で最も神聖な地点で、世界中の、バハオラの信者が日々祈りの際に向かう地点です。万国正義院の建物は、バブの聖廟せいびようのすぐ近くに建てられています。ハイファとアッカ、この一対の都市はバハイ信教の精神的・行政的な中心地となっています。バハオラはアドリアノーブル滞在の最初の頃に顕された書簡に、以下のような言葉で、ご自分のアッカへの追放あんを暗に言及されておられます。

その地に到着するや、我は光の旗はたで迎えられた。聖霊せいれいは声こゑを響ひびき渡わたらせ、「地上に住むすべてのものは、早晚、これらの旗の下に集合するであろう」と宣言した。⁴⁹

1. 信教の敵は、ミルザ・ヤーヤのもたらす混乱をどう利用しましたか。 _____
2. バハオラの次の追放の地はどこでしたか。 _____
3. ミルザ・ヤーヤはどこに追放されましたか。 _____
4. バハオラと共にアッカへ送られたのは何人でしたか。 _____
5. バハオラの信者の何名かがミルザ・ヤーヤと共にキプロス島に送られ、ミルザ・ヤーヤの支持者 2 名がバハオラと共にアッカに送られたのは、なぜだと思いますか。

6. バハオラは、いつ、アドリアノーブルを出発されましたか。_____

7. バハオラはいつ、アッカに到着されましたか。_____

8. バハオラとその一行の投獄について、スルタンはどのような命令を出しましたか。_____

9. これらの命令は、どのようにしてアッカの住民に知らされましたか。_____

10. バハオラとその一行はアッカ到着後、どこに連れて行かれましたか。_____

11. アッカの牢獄での最初の数日の状況を簡単に述べてください。_____

12. バハオラは、アッカをどのような名で呼ばれましたか。_____

13. アッカ滞在の初期の頃の最も悲しい出来事は何でしたか。_____

14. 最初の巡礼者たちは、どのようにしてアッカへ行きましたか。_____

15. 「最も純粋な枝」が亡くなった状況を、自分の言葉で説明してください。_____

16. バハオラは、アッカとその周辺に何年住まわれましたか。_____

17. ハイファのカルメル山を訪れたとき、バハオラはアブドル・バハに何を指示されましたか。_____

18. この地上で最も聖なる地点は何で、それはどこにありますか。_____

19. 万国正義院の建物はどこにありますか。_____

20. バハイ信教の精神的・行政的中心地はどこにありますか。_____

21. 今日、巡礼者がハイファやアッカを訪問するとき、何をするか知っていますか。地域の友人で、聖地巡礼に行ったことのある人に話を聞いてみるのもよいでしょう。

セクション 25

バハオラはアッカで、ご自分の世界への宣言を続けられました。以下は、バハオラがアドリアノーブルとアッカとから、世界の国王や指導者たちに送られた宣言のいくつかです。

フランス皇帝のナポレオン三世に対して。

おおパリの王よ！鐘かねを鳴らすのを止めるよう、僧侶そうりよたちに指示せよ。真実なる神にかけて言う！最も強大な鐘かねが、最大名さいだいめいなる者の姿をもって現れたのである…。⁵⁰

ロシア皇帝のニコライ・アレクサンドル二世に対して。

この抵抗がたし難い大業の名において、人々の前に立ち上がれ。そして、国民を、崇高にして偉大なる神しょうかんのもとに召喚せよ。⁵¹

英国のヴィクトリア女王に対して。

汝の欲望を捨てよ。そして、日の老いたる者おなる汝の主に汝の心向けよ。我は神のために汝の名を述べ、汝が天と地の創造主におわす神を思い起こすことで、汝の名が高められるようにと望む。⁵²

プロイセン国王のヴィルヘルム一世に対して。

傲慢ごうまんによって聖なる啓示あけぼのの曙あけぼのを認識することを妨げられぬよう、また、この世の欲望という暗幕によって天上と地上の玉座さまたの主しゅから締め出されないよう注意せよ。⁵³

オーストリア皇帝のフランツ・ヨーゼフに対して。

この栄光に満ちた展望てんぼうを見ることができるよう汝の目を開け。そして、汝が昼となく夜となく救いを求めて呼びかける御方を認識せよ。また、この輝かしき地平線上に輝く光に視線すを据えよ。⁵⁴

オスマン帝国のスルタン・アブドル・アジズに対して。

神に対する畏敬いけいの念をなおざりにせず、正しく行動する者らの仲間であれ。信念と正義の香りを放つ大臣らを自分の周りに集め、彼らと協議した上で汝の目に最良と思われるものを選び。そして、寛大さをもって行動する者であれ。⁵⁵

ペルシャのナセルディン・シャーに対して。

我は神に祈る。神は崇高すうこうなり。この投獄めんに免じて、神がその恩恵により、人類の首くさりを鎖くびかせや首枷から解放し、人類が誠意の顔をもって、力に満ち、恵み深き彼のお顔に向かうようなし給え。神はご自身に呼びかける者には誰であれ答え給い、神と語らう者の近くにあり給う。⁵⁶

アメリカの統治者たちとその諸共和国の大統領たちに対して。

汝らは、傷ついた人々を正義の手もて結びつけ、栄華えいがを誇るほこ圧制者あつせいしゃを、命令者におわし、すべてに賢かしこき御方におわす汝の主の戒律しゅの杖かいらつをもって粉砕つえせよ。⁵⁷

ローマ教皇ピウス九世に対して。

神の子(キリスト)が覆い隠おおしていた言葉かくはいまや明らかにされた。この日、その言葉は人の姿で下くだされたのである。父なる主に祝福あれ!まことに、神は最大の主権をもって国々の前に現れた。⁵⁸

キリスト教会の修道士しゅうどうしたちの全集団に対して。

おお、修道士たちよ! 教会や修道院いんとんに隠遁してはならない。わが許しに

よりそこを出て、汝自身や人々のためになることに従事せよ。⁵⁹

セクション 26

「最も純粋な枝」の突然の死から4ヵ月後、バハオラとその信者たちがそれまで住んでいた兵舎をある軍隊が使うことになったため、他の場所へ移されることになりました。彼とご家族はしばらくの間、いくつかの家を転々とさせられましたが、最終的に、現在、アブードの家と呼ばれている家へ移されました。ここでも監視下にあり、周囲にはスルタンの命令で彼らに敵意を見せる住民に包囲されていました。

しかし時が経つにつれ、アッカの人々はペルシャから追放されてきたこの小さな一団の潔白に気づき、監禁状態は緩和されました。この変化はほとんど、アブドル・バハのお陰^{かげ}でした。彼は市の住民と親しく^{まじ}交わり、バハイの真の意図や彼のお父上の教えの精神を彼らに実証されたのです。しばらくすると、バハオラはアッカの市街を離れ、近隣のいろいろな場所を訪問できるようになりました。長い間^{こうはい}荒廃した都市の^{へい}堀の内に監禁されていたバハオラは、いまや彼がとも愛された自然の美しさや緑を楽しむことができるようになったのです。

バハオラが生涯の最後の日々を過ごされたのはアッカ郊外にある、バージの^{だいていたく}大邸宅でした。この邸宅は彼が都市の壁内に監禁されていた頃に建てられましたが、その地域で疫病が流行した時、その家主は家を捨てて出て行ったのです。アブドル・バハは最愛のお父上のために、その家を最初は借り、後に買い取られました。

その頃には、アッカの人々だけでなく、レバノンやシリアの近隣地域の人々の、バハオラやその信者に対する態度も完全に変わりました。スルタンの命令はいまだ有効で、公式にはバハオラは厳重な監視下にある囚人でしたが、実際には、王様のように敬愛され、尊敬されました。地元の役人らは彼の助言や勧告を求めに来ました。これこそが、人の心を変革させるバハオラの啓示の力でした。

バージとアッカの日々、バハオラは、人類が輝かしい世界文明を構築することを可能にする膨大な量の導きを明らかにされました。彼のペンから流れ出た書の中でも最も偉大なものは、1873年頃に、アブードの家で啓示された『ケタバ・アグダス』、つまり、『最も聖なる書』です。シヨーギ・エフェンディは、聖地でバハオラによって顕された書物について説明しておられます。

広範な分野に及んで記された、この時期のバハオラの書について調べて見ると、画然とした三つの分野に区分に分類することができる。一つ目は、アドリアノーブルでなされたその使命の宣布に続くもの、二つ目はその宗教制の法や条例を含むもので、その大部分はケタベ・アグダス、彼の最も聖なる書に記されている。三つ目はこの宗教制の基底をなす基本的な教義や原則を部分的に宣言、また、再確認する書簡である。⁶⁰

バハオラの信教が西洋へ大きく広がるのはバハオラの存命中には起こらず、アブドル・バハの統治の時代まで待たなければなりません。しかし、バハオラの教えは西洋の国々に紹介され、少数ながら、出会う人に驚くべき影響力を与えるアッカの囚人を知る人もいました。1890年の春、バハオラの人生の終わり近くに、英国のケンブリッジから、著名な学者であるエドワード・グランビル・ブラウン氏が彼に会いに来ました。以下は、ブラウン氏の歴史的インタビューの一部です。

…案内人は私が靴を脱ぐのを見届けると、すばやく手を伸ばしてカーテンを開け、私を通ると元通りに閉めてその場を去った。私を通された広い部屋の奥には幅広でゆったりした長椅子があり、ドアの反対側には椅子が2、3脚置かれていた。私は(何も知らされていなかったのもので)、どこに連れて行かれるのか、また誰と会うことになるのか不安で胸が高鳴った。しかし、すぐにその部屋に誰か居ることに気付いた。部屋の隅の壁際に設置されているあの長椅子に、神々しいまでの高貴さを湛えた人物が座っていた。托鉢僧がタージと呼ぶ(しかし、普通のものとは違った高さで形の)フェルトの頭飾りを被り、その下縁部分は小さな白いターバンが巻かれていた。私が見つめたその御顔は、表現することはできないが決して忘れられないものであった。その突き通すような眼差しは、人の魂そのものを見透かすようで、その豊かな眉は力と権威に満ちていた。額とお顔の深いしわは年齢を物語っていたが、ほぼ腰にまで渾然一体として豊かに流れ落ちる長い漆黒のあごひげと髪は、それを偽るかのようであった。私の面前にいる人が誰かと聞くまでもない。私が深く頭を下げるこの人物こそ、王達もうらやみ、皇帝達もため息をつくほどの熱愛を一身に集める御方であった。優しいが威厳のある声が私に座るよう招き、それからこう続けられた。

汝の到達に対して、神に賛美あれ! … 汝は囚人であり、流刑者たる者に会いに来た。… 我はただ、世界の利益と、国々の幸福を願うのみである。にもかかわらず、彼らは我を、争いと反乱の扇動者と見做し、その罪は禁固追放に値するとした。… すべての国々が信仰において一体とな

り、すべての人々が同胞として一体となること、人の子らの間に親愛と和合の絆が強められること、宗教の相違が無くなり、人種の差別が消し去られること、これらのどこに害があるのか。…それでも、それは必ず実現されるであろう。これら無益な闘争、これら破壊的な戦争は無くなり、やがて最大平和が来る。…ヨーロッパに住む汝にもこれが必要ではないか。これはキリストが予示したことはないのか。…しかるに汝らの王や統治者らは人類の幸福につながるもののためよりも、人類の破壊の手段に惜し気もなくその財宝を浪費しているではないか。…これらの闘争や流血や不和はやめなければならず、全人類が一つの親族、一つの家族とならねばならない。…誇りは自国を愛する者にあるのではなく、人類同胞を愛する者にあるのである。…⁶¹

1. バハオラとその信者たちは、どのような事情で兵舎から移されることになったのですか。

2. バハオラと彼のご家族がアッカで移り住むことになった家の名は何ですか。_____

3. アッカでの彼らの暮らしはどのように変わりましたか。_____

4. この変化の原因は何でしたか。_____

5. バハオラが人生の最後を過ごされた大邸宅の名前は何ですか。_____

6. アブドル・バハはどのような事情でバージの大邸宅を取得されましたか。_____

7. アッカ滞在中にバハオラが顕されたもので最も重要な書物は何ですか。_____

8. それはいつどこで啓示されましたか。_____

9. ショーギ・エフェンディの説明によると、この期間中にバハオラが啓示された書の3つのカテゴリーとはどのようなものですか。

a. _____

b. _____

c. _____

10. バハオラの宗教制の法をいくつか挙げましょう。_____

11. 彼の宗教制の教義や原則のいくつかを挙げてください。_____

12. エドワード・グランビル・ブラウンとは誰ですか。_____

13. エドワード・グランビル・ブラウンは、バハオラの御前でひれ伏したとき、その御前にいることについてどう感じたかを説明するためにどのような言葉を使いましたか。

14. エドワード・グランビル・ブラウンの記録した言葉によると、

-- バハオラはご自分の望みは何であると仰いましたか。_____

-- バハオラはすべての国はどのようになるべきであると仰いましたか。_____

-- バハオラは何が強められることを望まれましたか。_____

-- バハオラは何をやめるよう呼びかけられましたか。_____

-- バハオラは何を消し去るよう呼びかけられましたか。_____

-- バハオラは何が来ると予告されましたか。_____

-- バハオラは、私たちは何を誇りとすべきだと仰られましたか。_____

セクション 27

ケタベ・アグダスは分厚い本ではなく、たった 190 段落で構成されています。しかし、中には未来の世界文明の基本的な法律や法令が盛り込まれています。ショーギ・エフェンディは、この本をバハオラの宗教制の母なる書であり、新しい世界秩序の憲章であると述べておられます。みなさんは自分の考えや行動を神の命令と一致させようと努めるとき、人生を通して、繰り返し、ケタベ・アグダスからの文節を勉強することでしょう。今は、最初の五つの文節を暗記する努力をしてみたいと思います。

神が僕らに定め給うた最初の義務は、神の啓示の曙であり、神の法の源泉であり、神の大業の王国と創造の世の双方において神の地位を代表する者を認めることである。この義務を果たした者は何人であれ、すべての善に達した者である。また、この義務を怠った者は、いかなる良き行いの実行者であろうとも、道を踏み外した者である。この最も崇高なる地位、この超越した栄光の頂に達した者に求められることは、世界の望みの的である御方の法のすべてに従うことである。対をなすこれら二つの義務は不可分である。どちらも他を欠いては受け入れられない。聖なる靈感の源である御方はこのように定め給うたのである。

神より洞察力を授けられた者は、次のことを容易に認めるであろう。神の定め給うた教えは世の秩序の維持と、人々の保全にとって最高の手段である。神の教えに顔を背ける者は、卑しく愚かなる者の内に数えられる。まことに、我は汝らに命ずる。自らの邪悪な情欲と腐敗した欲望が命じることを拒否し、最も崇高なる御方のペンが定めた限界内に踏みとどまれ。何となれば、これらは全創造物にとって命の息吹だからである。神聖なる英知と言葉の大海は慈悲深き御方の息の微風により湧き立っている。おお、理解ある人々よ。急ぎ行きて心ゆくまで飲むがよい。神の法を破ることによって神の聖約に違反し、背を向けた者は嘆かわしい過ちを犯した者として神の目に映るのである。神こそはすべてを所有し、最も高遠なり。

おお、世界の人々よ。このことを確信せよ。わが法は、わが僕らに与

えられたわが愛情あふれる摂理のランプであり、わが創造物に対するわが慈悲の鍵である。これは、啓示の主なる汝の主の御心の天から下されたものである。御心によって慈悲深き御方の御口より発せられた言葉の甘美を味わった者は、彼の恩恵に満ちた保護と慈愛の地平線上に輝く法の真実の一つでも立証するためであれば、たとえ地上の富をすべて所有していようとも、それらをすべて放棄するであろう。

言挙げよ。わが法からはわが衣の甘い香りが漂い、これら法の援助により勝利の旗は最も高い頂に立てられよう。わが威力の舌は、わが全能なる栄光の天上より次の言葉をもってわが創造物に語りかけたのである。「わが美を愛するが故に、わが法に従え」。この言葉にはいかなる舌も描写することのできない恵みの香りが満ちている。この言葉より、最愛なる御方の神聖なる芳香を嗅ぐことができた、愛する者は幸いなり。わが命にかけて言う。わが恵み深き恩恵の手より公平さの選り抜きの美酒を飲んだ者は、わが創造の地平線上に輝くわが法の周りを巡回するであろう。

我が単なる法典を汝らに現わしたと思うな。否、まさに我は威力と強大の指をもって選り抜きの美酒の封を切ったのである。啓示のペンが書き記したことが、このことの真を証言する。このことについて瞑想せよ、おお洞察力ある者らよ。⁶²

セクション 28

バハオラの被った一連の追放は、腐敗した宗教関係者と結託した二人の専制君主の命令でなされたのですが、実は、偉大なる神ご自身の手によって導かれたものでした。神の顕示者が、母国から、やがて、彼の信教の精神的、行政的センターが設立される付近であるアッカの岸へと移動されるときに、彼によって放たれた力は想像を絶するものです。バハオラの追放のルートを示す以下の地図は、ブック 2 の学習ですすでにお馴染みのものでしょう。この章であなたが得た洞察に照らして、ここで少し時間をとり、最も注目すべき場所それぞれで起こったことの精神的意義について黙想しましょう。バハオラの生涯にまつわる無数の出来事を黙想する時、バハオラの偉大さと栄光、彼の威力や荘厳さのさらに先を垣間見ながら、彼の言葉を心に思い

起こしましょう。「神は永遠に人間の目より隠されたままであり、神の顕示者を通じて神を知る以外に神を知る方法はない。そして、顕示者がその使命の真実を証明するために提示できる最大の証拠は自らの存在である」。



セクション 29

神の顕示者がこの世に生きておられる間、その並外れた威力は世界中に放散され、すべての創造物の実体に深遠な変化をもたらします。この栄光ある時代にバハオラは約 40 年に渡って、神のお言葉を人類に顕されました。その言葉は存在の世界に無限の可能性を賦与し、その展開は、想像を絶する美しさの文明を生み出すのです。これら 40 年間続いた神の啓示は、1892 年 5 月 29 日に幕を閉じました。

昇天の 9 ヶ月前、バハオラはこの世を離れたいという願いを表明されました。それ以来、彼の口調から、この地上での人生の終焉しゆうえんが近いことが一層明らかとなりました。5 月 8 日の夜、微熱が出て、次の日、熱は上がったものの、その後、下がったように見えました。彼は何人か

の信者や巡礼者との面会を続けておられましたが、間もなく彼の体調が良くないということが明らかになりました。今度は前よりも熱が高くなり、少しずつ症状が悪化しました。5月29日の夜明け、彼の人生の75年目に彼の魂はこの世から昇天しました。

昇天の6日前、彼はバージの大邸宅に集まっていた全ての信者を呼び寄せられました。これが、彼らに面会される最後となりました。バハオラは、息子の一人に支えられて横になり、言われました。「我は汝らに満足している。汝らは多くの奉仕を捧げ、それぞれの仕事を熱心に勤めた。汝らは毎朝、毎晩、ここに来てくれた。神のご加護でこれからも和合の内に過ごすように。汝らが存在の主の大業を高揚するのを、神が助け給わんことを」⁶³ 彼の周りに集まった人々の目には涙があふれました。

彼の昇天の知らせは、直ちに、電報でスルタンに知らされました。そのメッセージは「バハの太陽は沈んだ」という言葉で始まり、続いて、聖なるご遺体は大邸宅の近くに埋められることをスルタンに伝えていました。大邸宅のすぐ西にある小さな部屋が埋葬所として選ばれ、ご遺体は昇天の当日、夕暮れを少し過ぎた頃、そこに納められました。ナビルはこの日々の苦悩をこのような言葉で表しました。「思うに、この塵の世で起こった精神的な動揺は、神のすべての世界を振動させた。…私の、内なる舌も、外なる舌も私たちのその時の状況を表現することはできない。…周りを包み込む混乱の真っ只中、大邸宅の周辺の広場に群がったアッカやその隣接の村々の住民が大声で深い悲しみを口々に表しながら、頭をうち叩き、泣いているのが見られた」⁶⁴。

丸一週間、バハオラの家族に哀悼の意を述べるためにやって来る会葬者の流れが絶えませんでした。イスラム教、キリスト教、ユダヤ教、詩人、牧師、そして、政府の役人などを含め、社会のあらゆる階層の人々がこぞって彼を失ったことを悲しみ、彼の偉大さと高潔さを称えました。そのうちの大勢は、文書で彼への賛辞を送りました。同じような賛辞はその地方の各都市からも寄せられ、そのすべては、バハオラの大業の代表者となられたアブドル・バハに捧げられました。しかし、こうした哀悼の辞も、「この大業を信奉し、ペルシャ、インド、ロシア、イラク、トルコ、パレスチナ、エジプト、シリアにその旗を高く掲げようと決意した何千人もの心から、真理の太陽が沈んだ時に湧き起こった悲しみの大海と、無限の献身の無数の証に比べれば、そのほんの一滴にすぎない」と、守護者は述べておられます。

ここで、上の文章についてしばし熟考してから、グループでペアを組み、バハオラの昇天についてのお話を、順番に自分の言葉で相手に説明してみましょう。

セクション 30

バハオラが亡くなられた後、アブドル・バハは、参堂の書を構成する文章を選ぶ作業をする任にナビルを選ばれました。この書はバハオラとバブの廟で朗誦され、しばしば、彼らの記念日にも使われます。バハオラの昇天は5月29日の早朝に記念されます。まだ馴染みがないとしても、あなた方は、共同体におけるこのような集まりへの参加を通して、この最も美しい書簡に親しむことでしょう。ですから、バハオラの生涯についてのコースを終わるにあたり、この書簡を読み、熟考するのは相応しいことでしょう。

莊嚴なる顕示者におわし、永遠の王にましまし、天と地にあるすべての者の主にまします君よ。最も貴いあなたご自身から発せられた賛美と、最も光輝あふれるあなたの美から輝きわたる栄光とをあなたに捧げまつる。そして私はここに証言いたします。あなたを通じて神のご主権とご支配、神の尊嚴と偉大さは現わされました。また、あなたを通じて古より輝く昼の星は、取り消すことのできないあなたの掟の天上を照らし、目に見えざる者の美は創造界の地平線に輝き出たのであります。更に証言いたします。あなたの筆の一つの動きにより、あなたの、「存在せよ」との命令が実行され、神の隠された秘密が明らかにされ、万物は存在するに至り、すべての啓示が下されました。

再度証言いたします。あなたの美を通じて敬愛される者の美は明らかにされ、あなたのお顔を通じて求められる者のお顔は光り輝きました。そして、あなたの発せられた一言によりあなたはすべての創造物に審判を下し給い、それによりあなたに献身する者は栄光の頂にのぼり、不信仰な者は深い淵に陥りました。

あなたを知る者は神を知る者、あなたの御前に至る者は神の御前に至る者でありますことを証言いたします。それゆえに、あなたを信じ、あなたの御しるしを信じ、ご主権の前にひれ伏し、あなたと会うことの名誉にあずかり、あなたの御心にかない、あなたのおそば近くはべり、あなたの玉座の前に立つ者の幸せは、まことに大いなるものであります。あなたにそむき、あなたを否認し、御しるしを否定し、ご主権に反駁し、

あなたに敵対し、あなたの御前で虚勢を張り、あなたの証言に対し異論を唱え、あなたの統治とご支配を逃れ、あなたのご命令の指により、あなたの清き書簡にその名が記された不信仰な者たちの中に数えられる者に災いあれ。

おおわが神よ、慕いまつる君よ。あなたの御恵みとご慈愛の右手から私の上にご恩恵の息吹を漂わせ給え。そしてそれにより私を自我と現世から引き離し、あなたのおそば近く、あなたの御前の御宮居に引き寄せ給え。あなたは御心のままになし給う御力の御方におわします。まことに、あなたはすべてのものの上に君臨し給う御方にまします。

おお神の美にまします君よ。神によるご記憶と賛美、また神の栄光と光輝とがあなたのもとに捧げられんことを。創造界の目はあなたのように虐げられた者がかつて見たことがなかったことを私はここに証言いたします。あなたは生涯を通じて日々苦難の大海に浸っておられました。ある時は鎖につながれ、またある時は敵の剣に脅かされました。しかもこうした中であなたはなお、全知にして聡明なる神があなたに告げ給うことを遵守するようすべての人々に命じ給いました。

あなたの身に降りかかった虐待に対し、私の精神を捧げまつる。私の魂もまた、あなたが耐えられた逆境に対する償いとなし給え。あなたと、あなたのお顔から発せられた光の輝きにその面を照らされ、あなたの愛のために、命じられたことをすべて遵守した人々を通じて神に嘆願いたします。あなたと創造物との間をさえぎる暗幕を取り除き、現世と来たるべき世の良きものを私に授け給え。まことに、あなたは全能者におわし、最も高貴なる御方にましまし、栄光に満ち給い、常に許し給い、最も憐れみ深き御方にまします。

おお主なるわが神よ。あなたの最も高貴なる名称の続く限り、またあなたの崇高なる属性が持続する限り、神聖なるロートの木とその葉とその枝と幹、そしてその芽とを祝福し給え。それを侵略者の危害や、

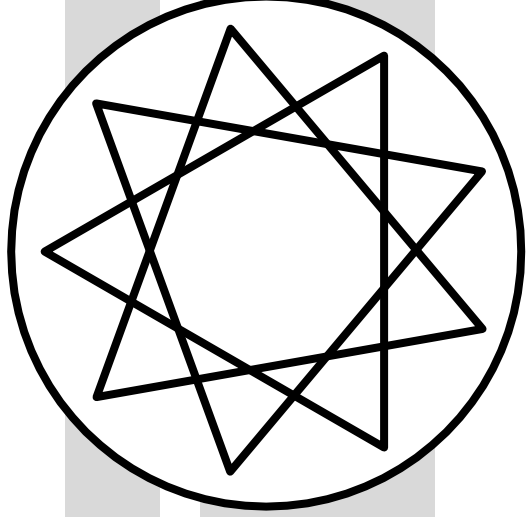
ぼうぎやく ぐんぜい
暴虐の軍勢から守り給え。まことにあなたは全能者におわし、最も力
強き御方にまします。主なるわが神よ、あなたの御前に参じたあなたの
しもべ じじよ
僕らと侍女らを祝福し給え。まことに、あなたは御恵みに満ち給い、
限りなき恩寵の御方におわします。あなたの他に神はいまさず、あな
たは常に許し給い、最も寛大なる御方にまします。⁶⁵

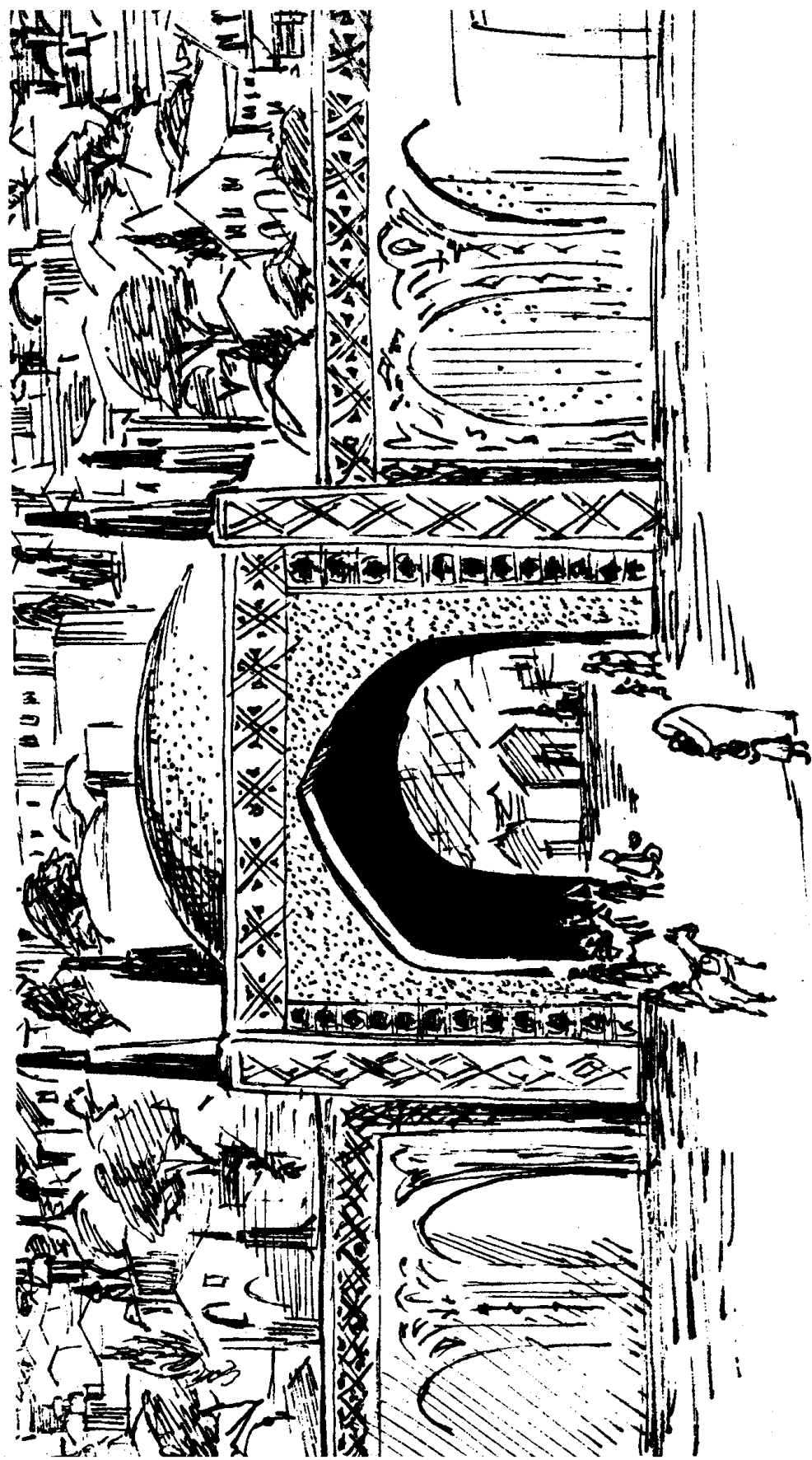
セクション 31

あなた自身の経験から、これからもバハオラの生涯のストーリーを語る機会が数多くあることをご存知でしょう。あなたは、もちろん、友達や隣人たちとの一連の家庭訪問時に探求する幾つかのディープニング・テーマの一つとして、バハオラの生涯を短く、かつ包括的に説明したブック2の学習を終わって以来、多くの機会でそのストーリーを共有したことでしょう。あなたが今、学習したお話は、ブック2で紹介されたものより詳しいもので、彼の生涯の出来事について得た新しい知識は、状況に応じて、バハオラという人物についての話し合いに持ち出すことができるでしょう。しかし、より重要なのは、あなたがそれらの出来事から得た、彼の啓示の本質、彼の使命の性格、彼の出現によって放たれた勢力の規模、そして人類史におけるこの時期の意義についての洞察です。信教のことを初めて知った人との短い会話のときであれ、自分の村や近隣の家庭を訪問して行く説明の機会であれ、いかなる状況であっても、つまるところ、それらの洞察は、あなたがバハオラという人物についてどう話すか、また、聞き手に何を伝えるかに影響を与えます。当然、簡単な説明が求められるときがあるでしょうが、この後に続くページはその点であなたの助けになるかもしれません。

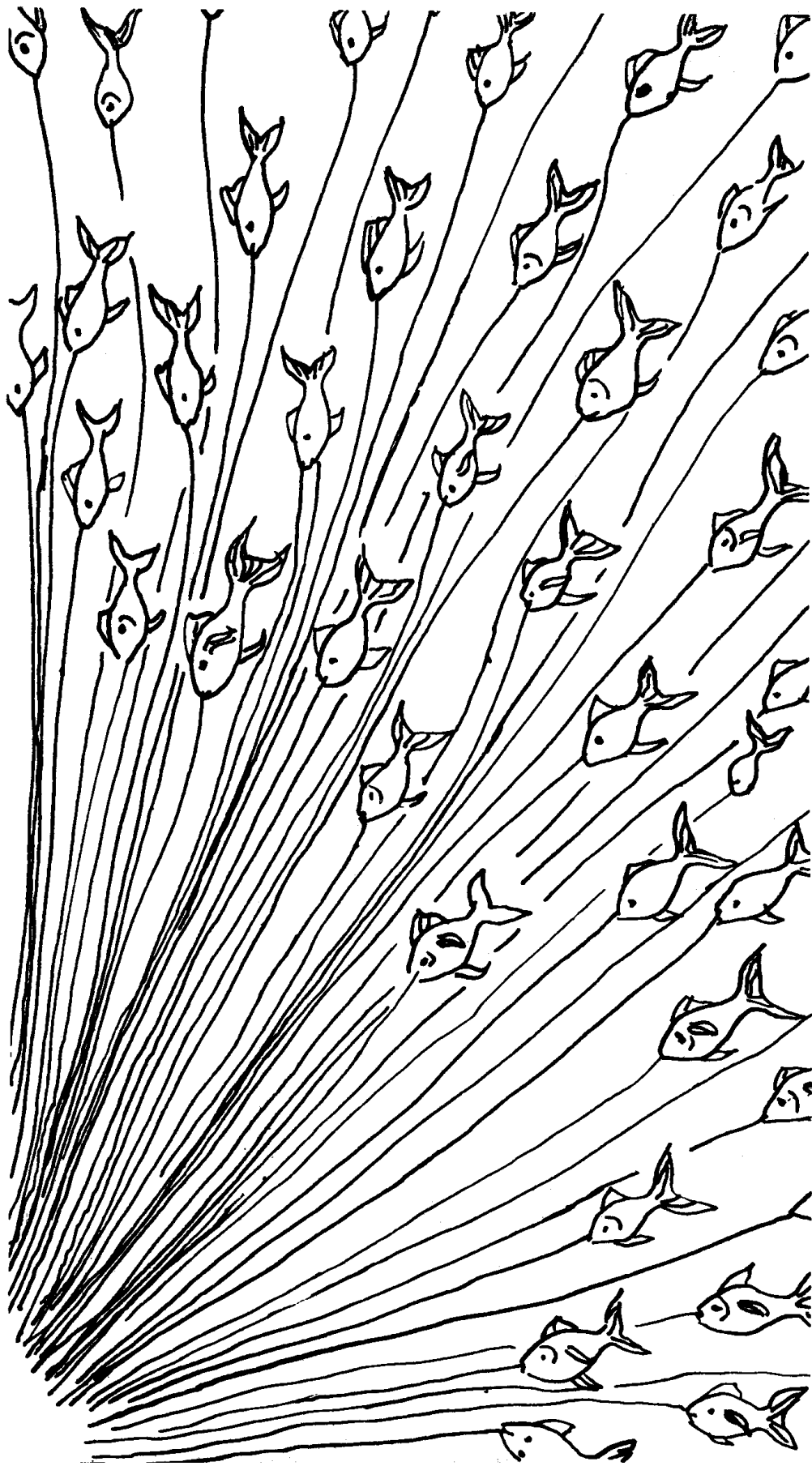
ラオオハミハ

神の栄光





バハオラは1817年11月12日、イランの首都テヘランにお生まれになりました。幼少時より、偉大さの印を見せられました。家庭で幾らか教育を受けられましたが、神から授けられた天来の知識のおかげで、学校へ行く必要はありませんでした。

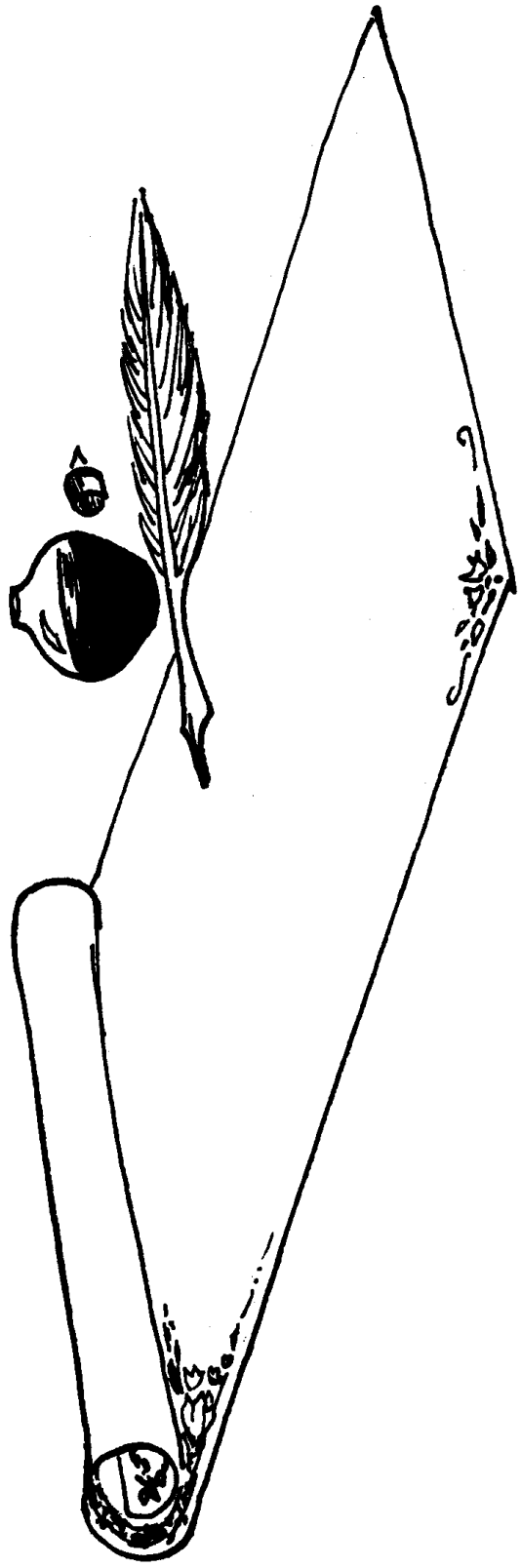


バハオラの父親は、ある夜、夢を見ました。バハオラが大海を泳いでいて、水に照らされた身体は光り輝き、長い黒髪は四方に広がって、無数の魚のそれぞれが一本の髪の毛にすがって、彼の後に続いていたというこの夢は、バハオラを待ち受けている偉大な運命を示す多くの兆しの一つでした。



後に、バハオラが青年だった頃、王の宮廷での高い地位につくよう提案されましたが、彼はそれを断り、貧しい人や病

人、虐げられた人々の救済や、正義の大義のために働くことに時間を捧げることを望まれました。



27 才の時、バハオラは、バブからの巻物を受け取られました。バブは、神の新しい使者で、すべての時代の約束された御方の到来のために人々を準備していました。バハオラはバブのメッセージを受け入れ、バブの最も熱心な支持者の一人と
なられました。



バブの宣言の真実性を受け入れなかった当局は、バブを信じる者を迫害し始め、このようにしてバハオラの受難が始

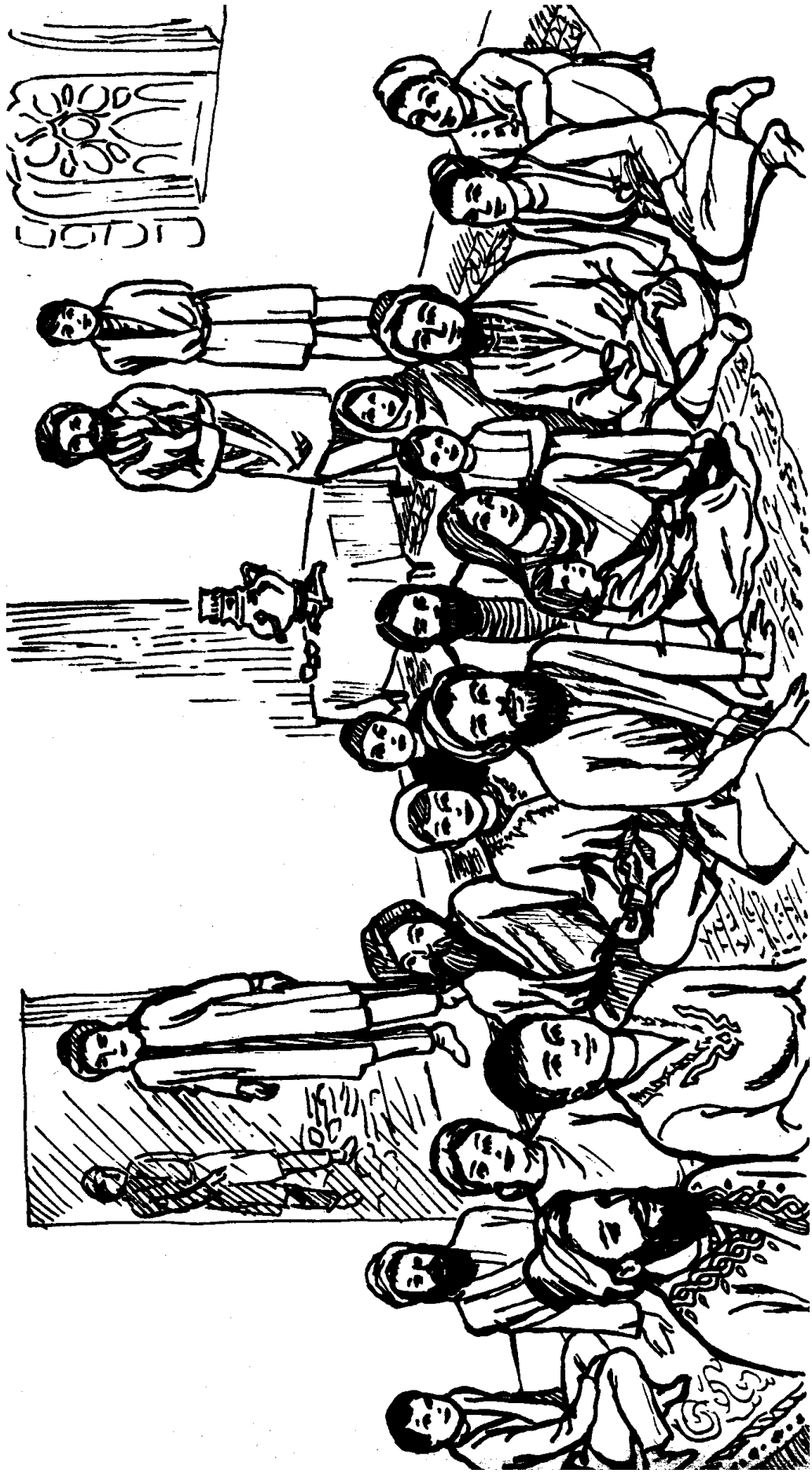
まりました。1852年、バハオラは逮捕され、テヘランで最も酷い牢獄の一つに鎖で繋がれたのです。



この牢獄で、神は、バハオラに、バブによって、そして過去のすべての預言者らによって約束されていた者はバハオラである、と告げられました。この暗黒の地下牢から真理の太陽が昇り、世界を照らし、人類の生活における新しい時代が生まれたのです。



4ヶ月間の投獄の後、政府はバハオラを故国から追放しました。極寒の冬の中、バハオラとご家族はテヘランからバグダッドへの長旅を強いられました。



バグダッドで、バハオラの英知の名声は全地域に広がりました。あらゆる背景をもつ人々が家に押し寄せ、彼の助言や援助を求めました。バハオラの影響力を恐れた政府は、バハオラを故国からさらに遠くへ追放することを決めました。



レズワンの園

1863年4月

バグダッドを去る前に、バハオラは市の郊外の庭園で12日間を過ごされ、その間、バハオラにお別れを告げにくる訪問者の流れが続きました。この庭園で、バハオラは、自分がこの時代のための神の顕示者であることを宣言されたのです。これから何世紀にもわたり、4月のこの12日間は、世界を包み込む彼の使命についてのバハオラの宣言の記念日、レズワンの祝日として祝われます。



スルタン・アブドル・アジズ
オスマン帝国



ニコライ・アレクサンドル二世
ロシア帝国



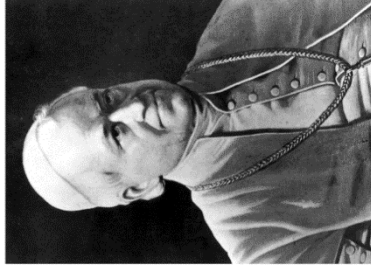
フランツ・ヨーゼフ
オーストリア帝国



ナポレオン三世
フランス



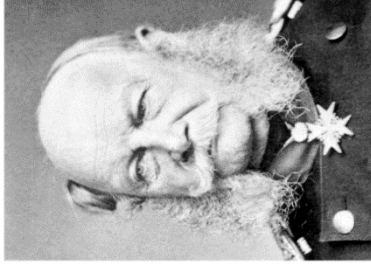
ナセルディン・シヤ
ベルシヤ



ローマ教皇ピウス九世

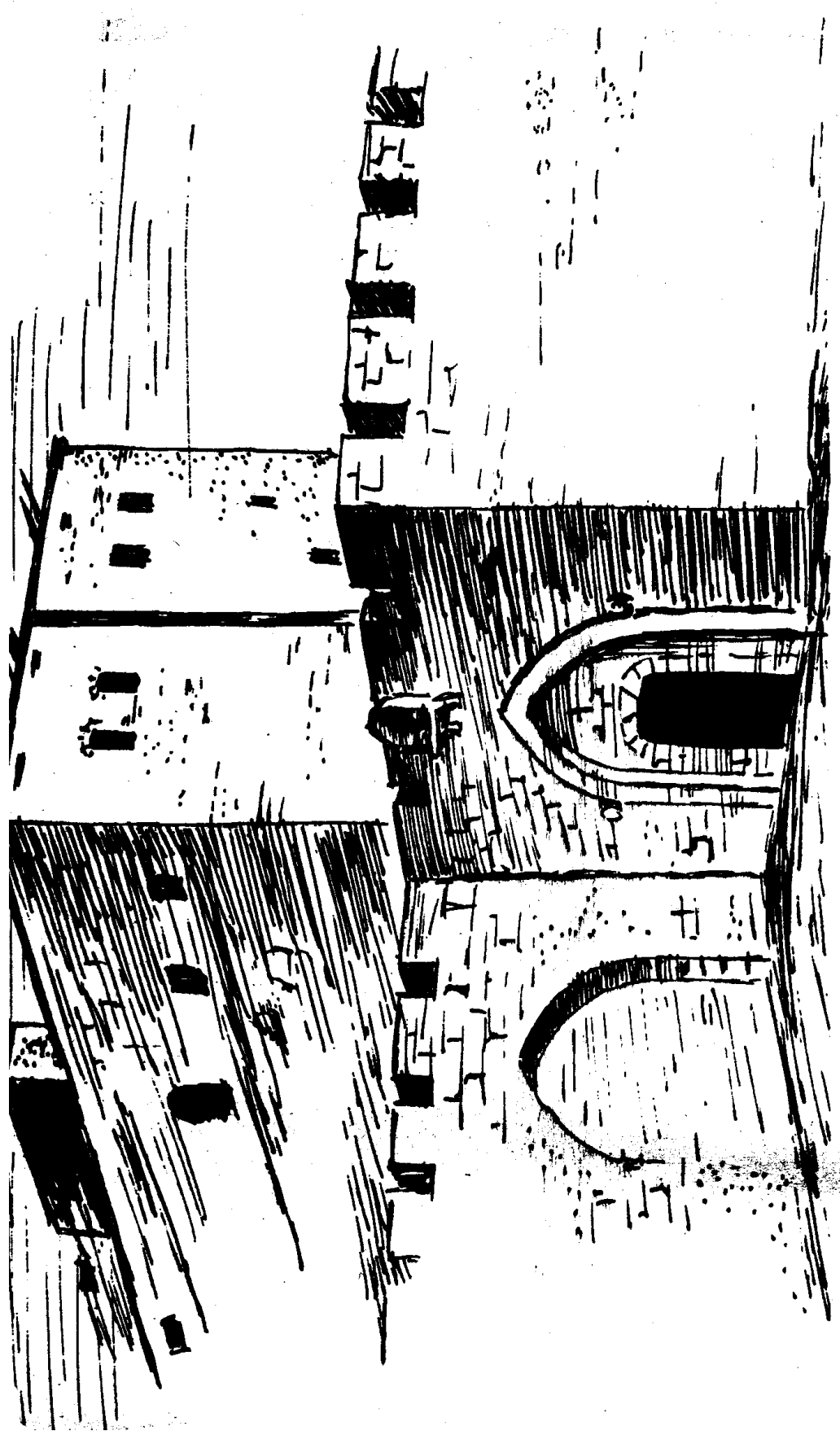


ヴィクトリア女王
英国



ヴィルヘルム一世
プロイセン王国

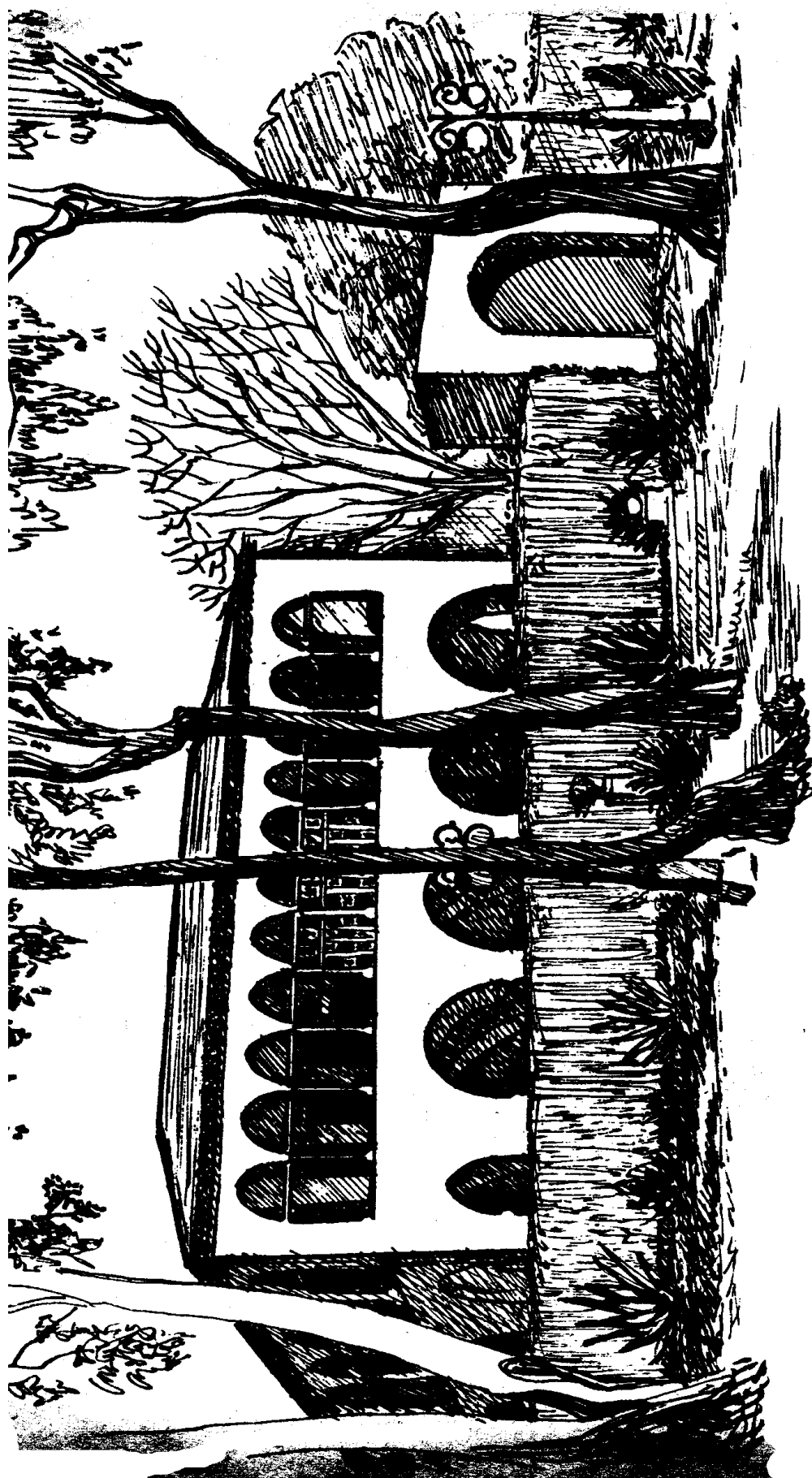
バハオラの、次の流刑地はコンスタンティノープルで、次に、アドリアノープルでした。これらは共に、現在のトルコの都市です。囚人であり流刑者であるバハオラは、アドリアノープルから、世界の王や統治者らに手紙を送り、正義を支持し、自分たちの力を使って悲惨や戦争を終わらせるよう促されました。



アドリアノープルでも前と同じように、バハオラの名声はその地域の住民の間に広まり、政府はさらに遠くの、アッカの
牢獄都市へとバハオラを追放することになりました。その牢獄にはその国の極悪人や扇動者が収監されており、そこに入れば
生きては出られないと言われる場所でした。



投獄の状況は極めて過酷なものでした。バハオラの信奉者の何人かは、アッカまでの長距離を旅してきたにもかかわらず、バハオラとの面会を許されませんでした。彼らは、ただ、監房の窓から手を振られるバハオラのお姿を遠方から見るこ
とができました。



その地域のますます多くの人々がバハオラのカリヤ威厳を認識するにつれ、次第に状況は改善されました。生涯の最後の数年間、バハオラは塙に囲まれた都市の外にあるバージの邸宅に住まわれました。アッカで、バハオラは、彼の最も聖なる書であるアグダスの書を含む、人類への導きの書をたくさん顕されたのです。



1892年5月、バハオラは昇天されました。現在、美しい庭園に囲まれている、バージのバハオラの墓所は、地上で最も神聖な場所です。毎年、世界中から何千もの人々が、敬意を表し、平穏な環境の中で祈り、瞑想するためにバハオラの墓所を訪れています。

参照文献

※「夜明けを告げる人びと」、「神よぎり給う」、「バハオラの宣布 世界各国の国王、為政者への書簡」のページ数は英語版のものです。

1. From a talk given on 18 April 1912, published in *The Promulgation of Universal Peace: Talks Delivered by 'Abdu'l-Bahá during His Visit to the United States and Canada in 1912* (Wilmette: Bahá'í Publishing, 2012), par. 2, p. 34.
2. *The Summons of the Lord of Hosts: Tablets of Bahá'u'lláh* (Wilmette: Bahá'í Publishing, 2006), no. 3.14–15, p. 248.
3. *Ibid.*, no. 3.16–17, pp. 248–49.
4. 「夜明けを告げる人びと」、*The Dawn-Breakers: Nabil's Narrative of the Early Days of the Bahá'í Revelation* (Wilmette: Bahá'í Publishing Trust, 1932, 2018 printing), p. 119.
5. 同上(*Ibid.*, pp. 119–20.)
6. Bahá'u'lláh, *Epistle to the Son of the Wolf* (Wilmette: Bahá'í Publishing Trust, 1988, 2016 printing), p. 11.
7. *Abdul Baha on Divine Philosophy* (Boston: The Tudor Press, 1918), p. 53.
8. 「夜明けを告げる人びと」、*The Dawn-Breakers*, p. 96.
9. 同上(*Ibid.*, p. 104.)
10. 同上(*Ibid.*, pp. 104–5.)
11. 同上(*Ibid.*, pp. 105–6.)
12. 同上(*Ibid.*, p. 106.)
13. 同上(*Ibid.*, p. 107.)
14. 同上(*Ibid.*)
15. 同上(*Ibid.*, pp. 107–8.)
16. *Selections from the Writings of the Báb* (Wilmette: Bahá'í Publishing Trust, 2006, 2014 printing), no. 3:8.1, pp. 106–7.
17. 同上(*Ibid.*, no. 3:27.1, pp. 126–27.)
18. 同上(*Ibid.*, no. 5:21.3, p. 193.)
19. 「夜明けを告げる人びと」(p. 113.)
20. 同上(*Ibid.*, p. 116.)
21. 落穂集、129
22. From a talk given by 'Abdu'l-Bahá on 22 May 1912, published in *The Promulgation of Universal Peace*, par. 6, pp. 193–94.
23. 「夜明けを告げる人びと」(pp. 607–8.)
24. 「バハオラの書簡(ケタベ・アグダス後の啓示)」、タラザトの書簡(飾り)

25. 同上、ローヘ・ダンニヤ(世界の書簡)
26. *Epistle to the Son of the Wolf*, pp. 20–21.
27. 「夜明けを告げる人びと」(p. 632.)
28. *Epistle to the Son of the Wolf*, p. 21.
29. 同上(Ibid., p. 22.)
30. *The Summons of the Lord of Hosts*, no. 1.6, pp. 6–7.
31. 落穂集、29
32. From a letter dated 24 June 1936 written on behalf of Shoghi Effendi, in “Crisis and Victory: A Compilation of Extracts from the Bahá’í Writings”, compiled by the Research Department of the Universal House of Justice, published in *The Compilation of Compilations* (Maryborough: Bahá’í Publications Australia, 1991), vol. 1, no. 287, p. 148.
33. H. M. Balyuzi, *Bahá’u’lláh: The King of Glory* (Oxford: George Ronald, 1991, 2018 printing), p. 106.
34. バハオラ、「神よぎり給う」にてショーギ・エフェンディによって引用、*God Passes By* (Wilmette: Bahá’í Publishing Trust, 1974, 2019 printing), pp. 169–70.
35. バハオラ、「確信の書」
36. バハオラ、「神よぎり給う」にて引用、*God Passes By*, pp. 178–79.
37. ナビル・アザム、「神よぎり給う」にて引用、*God Passes By*, pp. 215–16.
38. *Epistle to the Son of the Wolf*, p. 22.
39. バハオラ、「神よぎり給う」にて引用、*God Passes By*, p. 226.
40. 「確信の書」
41. バハオラ、「かくされたる言葉」、p. 2.
42. バハオラ、「神よぎり給う」にて引用、*God Passes By*, p. 147.
43. バハオラ、「アグダスの書」
44. ナビル・アザム、「神よぎり給う」にて引用、*God Passes By*, pp. 240–41.
45. 落穂集、14
46. 「神よぎり給う」、*God Passes By*, p. 252.
47. バハオラ、「神よぎり給う」にて引用、*God Passes By*, pp. 292–93.
48. H. M. Balyuzi, *Bahá’u’lláh: The King of Glory*, pp. 317–19.
49. バハオラ、「神よぎり給う」にて引用、*God Passes By*, p. 292.
50. 「バハオラの宣布 世界各国の国王、為政者への書簡」*The Proclamation of Bahá’u’lláh to the Kings and Leaders of the World* (Haifa: Bahá’í World Centre, 1967, 1972 printing), p. 17.
51. 同上(Ibid., p. 28.)
52. 同上(Ibid., p. 33.)

53. 同上(Ibid., p. 39.)
54. 同上(Ibid., p. 43.)
55. 同上(Ibid., p. 47.)
56. 同上(Ibid., p. 60.)
57. 同上(Ibid., p. 63.)
58. 同上(Ibid., p. 84.)
59. 同上(Ibid., p. 95.)
60. 「神よぎり給う」、*God Passes By*, p. 325.
61. Edward Granville Browne, recording the words of Bahá'u'lláh, quoted by H. M. Balyuzi, *Bahá'u'lláh: The King of Glory*, pp. 378–80.
62. バハオラ、「アグダスの書」
63. バハオラ、「神よぎり給う」にて引用、*God Passes By*, pp. 350–51.
64. ナビル・アザム、「神よぎり給う」にて引用、*God Passes By*, pp. 351–52.
65. バハオラ、「バハイ 祈りの書」(2015年版)、p.332